2018 年度（平成 30 年度）

学生による授業評価アンケート
実施報告書

福山大学大学教育センター
教育開発部門

目次

はじめに ..... - 1 -
1. アンケート調査の目的 ..... - 2 -
2. アンケート調査の概要 ..... - 2 -
3. 全学、学部・センターのアンケート調査結果 ..... - 4 -
(1) 全学、学部・センターの集計結果一覧 ..... - 4 -
(2) アンケート回答率について ..... - 9 -
(3) 調査結果の内容（学生による授業評価結果について） ..... - 10 -
① 【質問 1】授業準備について ..... - 10 -
② 【質問 2】話し方について ..... - 11 -
③ 【質問 3】授業の計画性について ..... - 12 -
④ 【質問 4】授業時間について ..... - 14 -
⑤ 【質問 5】講義の工夫について ..... - 15 -
⑥ 【質問 6】質問への誠意について ..... - 16 -
⑦ 【質問 7】講義の満足度について ..... - 18 -
(4) 調査結果の内容（学生の自己点検について） ..... - 19 -
① 【質問 8】関連学習について ..... - 19 -
② 【質問 9】集中力について ..... - 21 -
③ 【質問 10】出席状況について ..... - 22 -
④ 【質問 11】知識の深まりについて ..... - 23 -
⑤ 【質問 12】質問への積極性について ..... - 24 -
⑥ 【質問 13】意欲の高まりについて ..... - 26 -
⑦ 【質問 14】学修の成果について ..... - 27 -
4. 全学、学部・センターの全体総括 ..... - 29 -
5. 学科の授業評価アンケート結果 ..... - 30 -
(1) 学科の集計結果一覧 ..... - 30 -
6. 学科、センターの個別総括 ..... - 33 -
① 経済学部経済学科 ..... - 34 -
② 経済学部国際経済学科 ..... - 36 -
③ 経済学部税務会計学科 ..... - 39 -
④ 人間文化学部心理学科 ..... - 42 -
⑤ 人間文化学部人間文化学科 ..... - 44 -
⑥ 人間文化学部メディア・映像学科 ..... - 46 -

⑦　工学部スマートシステム学科 - 49 -
⑧　工学部建築学科 - 52 -
⑨　工学部情報工学科 - 55 -
⑩　工学部機械システム工学科 - 58 -
⑪　生命工学部生物工学科 - 60 -
⑫　生命工学部生命栄養科学科 - 62 -
⑬　生命工学部海洋生物科学科 - 64 -
⑭　薬学部薬学科 - 67 -
⑮　大学教育センター - 69 -
⑯　共同利用センター - 74 -
7.　平成 30 年度（前期）授業評価アンケート実施科目一覧 - 76 -
8.　平成 30 年度（後期）授業評価アンケート実施科目一覧 - 84 -

はじめに

福山大学は、次の 6 つを教育目標として掲げ、この目標を達成するべく、日々、教育の改革と改善に取り組んでいる。

福山大学教育目標

(1) 真理の探究と道理の実践
(2) 豊かな品性と強い意志の涵養
(3) 生命と自然の尊重
(4) 個性の発揮と信頼に基づく人間関係の構築
(5) 可能性への挑戦
(6) 地域社会の発展への貢献

教育とは、学修者の行動に価値ある変化をもたらすプロセスであり、「何を教えたか？」ではなく、「学修者が、何ができるようになったか？」が問われる。通常、教育者は、教育の効果を試験の結果、すなわち学修成果として認識し把握している。

しかしながら、真に教育を改善するためには、学修者からの忌憚のないフィードバックを得ることは必要不可欠である。このため福山大学では、自己評価委員会が平成 16 年度に実施して以来、本学のすべての教員が毎年、学生による授業評価を受けている。平成 23 年度より大学教育センターが担当することになり、学生による授業評価だけでなく学生自身の学修の点検も加えたアンケート調査を実施している。

平成 30 年度も、大学教育センター教育開発部門が「学生による授業評価アンケート」を実施した。このアンケート調査結果が、教員と学生がそれぞれの目標とする教育と学修の成果向上の機会となることを願っている。

平成 31 年 3 月 31 日

大学教育センター　センター長　大塚 豊

同　教育開発部門長　佐藤　英治

1. アンケート調査の目的

学生が主体的に学ぶ授業の展開を目指して、学生が授業をどのように受講しているのか、授業の何を期待しているのかを教員が理解し、各教員の授業改善に資するために本アンケートを実施する。また、全学的な教育改革の成果を検討する貴重な資料とする。さらに、学生が自己評価し、自身の学習姿勢を点検して改善に役立てるために本アンケートを実施する。

2. アンケート調査の概要

（1）実施期間

前期：平成 30 年 6 月 25 日（火）～ 平成 30 年 7 月 14 日（土）

後期：平成 30 年 12 月 17 日（月）～平成 31 年 1 月 12 日（土）

（2）調査科目の選定

本学に勤務する教員（非常勤講師を含む）を対象に、前期 2 科目、後期 2 科目（原則、演習・実習を除く）について、アンケート調査を行った。また、必要に応じて、演習・実習についてもアンケート調査を実施した。全学で、前期 456 科目（受講者数延べ 29135 人）、後期 400 科目（受講者数延べ 25645 人）について実施した。調査科目を p.76～90 に示す。

（3）アンケート調査内容

アンケートの調査項目は、教員の授業評価に関する 7 項目、学生自身の学修点検に関する 7 項目、合計 14 項目について調査した。各設問に対する回答は、設問項目を強く肯定する回答から強く否定する回答までの 5 つの選択肢より選択することとした。各設問を以下に示す。

【質問 1】授業準備：授業の準備が適切になされていると思いますか？

【質問 2】話し方：教員の話し方は明瞭ですか？

【質問 3】計画性：授業はシラバス通りに行われていますか？

【質問 4】授業時間：授業をあまりに遅く始めたり、早く終わったりしないで、90 分間の授業時間を守っていますか？

【質問 5】講義の工夫：教員は、科目内容を理解しやすくするように工夫していると思いますか？

【質問 6】質問への誠意：教員は、あなたの質問に誠意をもって答えていますか？

【質問 7】講義の満足度：この科目に対する総合的なあなたの満足度を 5 段階で示してください。

【質問 8】関連学習：この授業に関して、1 回の講義あたり平均してどのくらい予習・復習、あるいは関連の学習をしましたか？

【質問 9】集中力：授業中に私語、居眠り、携帯電話の操作、あるいは別のことを考えることなどはありますか？

【質問 10】出席状況：授業には特別な事情（公認欠席、忌引きなど）を除き、出席していますか？

【質問 11】知識の深まり：この科目を受講して、あなたの知識は深まっていますか？

【質問 12】質問への積極性：授業内容について、質問したいと思うことはありますか？また、実際に質問しますか？

【質問 13】意欲の高まり：この科目を受講して、講義内容を更に詳しく学びたいと思いますか？

【質問 14】学修の成果：この科目であなたが得た成果を５段階で自己評価してください。

（4）調査結果の集計

アンケート調査及び結果の集計は学修支援システム「セレッソ」を使用して行った。集計後、各回答数に係数（強く肯定する回答には 5、強く否定する回答には 1 ）を乗じ全回答数で除することで、平均点を算出した。強く否定する回答にも係数 1 を与えているため、最高点は 5.0、最低点は 1.0、標準点は 3.0 となる。なお、質問 3 では「シラバスを読んでいない」、質問 12 は「質問したことがない」という選択肢を増やし、6 段階評価とした。なお、これらの選択肢については、その回答を平均点の算出には用いていない。

集計は、全学、学部・センター、学科、科目単位で行った。本報告書では、全学、学部・センター、学科単位での集計結果を掲載した。なお、所属教員が 1 名の国際センター、IR 室、社会連携センターについては、本集計表から除外した。集計結果で表示している全学の各種値は、上記のセンターおよび IR 室の回答も含めて計算しているため、全学の各種値は学部・センターの合計値とは一致していない（表 3－（1）－1～表 3－（1）－4 など)。また、各種集計結果は四捨五入して表示しているため、集計結果と個々の数値の合計が一致していない箇所も存在する（100.0%表示をしているが、各%を合計すると 100.1%となる、など)。ご承知おきいただきたい。

（5）学生へのフィードバック方法

アンケート調査の結果は、アンケート調査終了後の授業中や定期試験時に学生にフィードバックした。あるいはセレッソを使用して学生にフィードバックした。

（6）アンケート実施後の教員による報告書提出

授業担当教員に集計結果返却後、 各教員は 1 ヶ月以内に報告書（p. 4 の報告書書式を参照）を学科長に提出し、学科長は学科教員の報告書を取りまとめて大学教育センター長に提出した。

（7）アンケート実施後の学科による総括

年度末に前期および後期の調査結果を踏まえて学科単位で授業評価アンケートを総括し、学科長から大学教育センター長に提出した。

平成３０年度前後期　授業評価アンケート結果に対する報告書

担当教員	氏　　名	所属学部・学科	
		学部	学科
講 義 名		科目分類　（不要な方を消去する） 共通教育科目　　専門科目	受講者数 名

お手数ですがこの科目のアンケート集計結果を各質問毎に記載してください

質問１	質問２	質問３	質問４	質問５	質問６	質問７
授業準備	話し方	計画性	授業時間	講義の工夫	質問への誠意	満足度
質問８	質問９	質問10	質問11	質問12	質問13	質問14
関連学習	集中力	出席状況	知識の深まり	質問への積極性	意欲の高まり	学修の成果

◆アンケート結果の学生へのフィードバック方法

◆この講義に対する学生の評価結果について　（アンケートの質問１～質問８が該当します）

○高く評価された事項

○改善を求められている事項

○今後の授業改善の計画

◆この講義を受講した学生の自己点検結果について（アンケートの質問９～質問15が該当します）

○学修成果という点でこの結果をどのように考えますか

○学生の学修成果を望ましい方向に進展させる方策はありますか

3.　全学、学部・センターのアンケート調査結果

（1）全学、学部・センターの集計結果一覧

全学、学部・センター単位の前期集計結果を表 3－（1）－1、表 3－（1）－2 に、後期集計結果を表 3－（1）－3、表 3－（1）－4 に示す。

表3－(1)－1 【前期・学部等】平成30年度授業評価アンケート集計結果（質問1～7）

		係数	全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
受講者数			29135	5524	3348	3056	3624	8931	4118	452
回答者数			16861	2566	1849	2080	2462	4859	2734	253
回答率			57.9%	46.5%	55.2%	68.1%	67.9%	54.4%	66.4%	56.0%
【質問1】 授業準備 授業の準備が適切になされていると思いますか？	適切である	5	11406	1724	1268	1295	1692	3357	1840	190
	ほぼ適切である	4	4084	585	433	580	642	1167	617	47
	どちらとも言えない	3	1061	196	110	164	115	250	210	12
	やや不適切である	2	226	39	30	29	12	64	49	2
	不適切である	1	84	22	8	12	1	21	18	2
	平均点		4.57	4.54	4.58	4.50	4.63	4.60	4.54	4.66
【質問2】 話し方 教員の話し方は明瞭ですか？	聞き取りやすい	5	9763	1528	1102	1107	1438	2764	1616	173
	ほぼ聞き取りやすい	4	4642	608	488	629	774	1399	671	55
	どちらとも言えない	3	1491	249	147	222	185	389	280	15
	やや聞き取りにくい	2	742	124	90	95	58	236	131	7
	大変聞き取りにくい	1	223	57	22	27	7	71	36	3
	平均点		4.36	4.34	4.38	4.30	4.45	4.35	4.35	4.53
【質問3】 計画性 授業はシラバス通りに行われていますか？	行われている	5	9023	1554	1047	1164	1281	2284	1504	151
	ほぼ行われている	4	3293	520	417	494	598	696	515	45
	どちらとも言えない	3	950	220	122	145	124	144	182	10
	やや異なっている	2	187	43	27	27	13	32	40	4
	全く異なっている	1	70	19	6	6	6	17	15	1
	シラバスを読んでいない	－	3338	210	230	244	440	1686	478	42
	平均点		4.55	4.51	4.53	4.52	4.55	4.64	4.53	4.62
【質問4】 授業時間 授業をあまりに遅く始めたり、早く終わったりしないで、90分間の授業時間を守っていますか？	守っている	5	12286	1829	1327	1408	1808	3756	1925	187
	ほぼ守っている	4	3631	542	421	524	568	929	579	56
	どちらとも言えない	3	687	130	82	107	68	130	161	9
	やや守っていない	2	164	45	11	26	12	22	47	1
	守っていない	1	93	20	8	15	6	22	22	0
	平均点		4.65	4.60	4.65	4.58	4.69	4.72	4.59	4.70
【質問5】 講義の工夫 教員は、科目内容を理解しやすくするように工夫していると思いますか？	思う	5	9470	1484	1058	1015	1436	2703	1586	164
	やや思う	4	4885	628	540	691	750	1453	739	61
	どちらとも言えない	3	1760	320	170	255	215	483	285	22
	あまり思わない	2	542	86	59	92	50	159	90	5
	全く思わない	1	204	48	22	27	11	61	34	1
	平均点		4.36	4.33	4.38	4.24	4.44	4.35	4.37	4.51
【質問6】 質問への誠意 教員は、あなたの質問に誠意をもって答えていますか？	誠意をもって答える	5	6287	1321	790	749	924	1152	1205	125
	ほぼ誠意をもって答える	4	2059	380	285	307	328	355	373	26
	どちらとも言えない	3	991	210	121	161	128	160	188	19
	やや誠意が感じられない	2	152	51	10	33	7	29	20	2
	誠意が感じられない	1	82	18	4	17	2	22	19	0
	質問したことがない	-	7290	586	639	813	1073	3141	929	81
	平均点	4.50	4.50	4.48	4.53	4.37	4.56	4.51	4.51	4.59
【質問7】 講義の満足度 この科目に対する総合的なあなたの満足度を5段階で示してください	満足	5	7552	1281	822	771	1129	2147	1254	123
	ほぼ満足	4	6088	775	681	849	1010	1797	877	78
	どちらとも言えない	3	2480	372	275	353	276	705	443	45
	やや不満である	2	525	92	50	83	43	150	101	5
	不満である	1	216	46	21	24	4	60	59	2
	平均点		4.20	4.23	4.21	4.09	4.31	4.20	4.16	4.25
【質問1】～【質問7】の平均			4.46	4.43	4.46	4.37	4.52	4.48	4.44	4.55

表3－(1)－2 【前期・学部等】平成30年度授業評価アンケート集計結果(質問8～14)

		係数	全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
受講者数			29135	5524	3348	3056	3624	8931	4118	452
回答者数			16861	2566	1849	2080	2462	4859	2734	253
回答率			57.9%	46.5%	55.2%	68.1%	67.9%	54.4%	66.4%	56.0%
【質問8】 関連学習 この授業に関して、1回の講義あたり平均してどのくらい予習・復習、あるいは関連の学習をしましたか？	3時間以上	5	862	307	86	102	53	210	89	12
	2～3時間未満	4	935	189	142	96	99	296	102	8
	1～2時間未満	3	2890	446	391	310	361	877	449	45
	30分～1時間未満	2	4877	644	528	633	847	1304	843	66
	30分未満	1	7297	980	702	939	1102	2172	1251	122
	平均点		2.00	2.30	2.12	1.94	1.84	1.98	1.88	1.90
【質問9】 集中力 授業中に私語、居眠り、携帯電話の操作、あるいは別のことを考えることなどはありますか？	全くない	5	5673	890	428	476	711	2098	964	93
	ほとんどない	4	6455	887	712	855	1067	1896	926	94
	どちらとも言えない	3	3020	539	418	471	463	549	524	42
	しばしばある	2	1409	197	251	215	205	252	265	15
	毎回ある	1	304	53	40	63	16	64	55	9
	平均点		3.94	3.92	3.67	3.70	3.91	4.18	3.91	3.98
【質問10】 出席状況 授業には特別な事情(公認欠席、忌引きなど)を除き、出席していますか？	全出席	5	11405	1296	1218	1158	1532	4231	1766	174
	ほぼ出席	4	3854	866	439	615	648	513	698	55
	ときどき欠席する	3	1146	291	142	214	196	90	189	18
	やや欠席が多い	2	322	88	34	67	59	13	56	3
	欠席が大変多い	1	134	25	16	26	27	12	25	3
	平均点		4.55	4.29	4.52	4.35	4.46	4.84	4.51	4.56
【質問11】 知識の深まり この科目を受講して、あなたの知識は深まっていますか？	大いに深まっている	5	6485	1004	689	725	962	1933	1051	102
	やや深まっている	4	7440	1002	816	945	1209	2200	1116	122
	どちらとも言えない	3	2243	422	270	304	236	555	426	24
	あまり深まっていない	2	532	97	58	87	45	136	105	1
	全く深まっていない	1	161	41	16	19	10	35	36	4
	平均点		4.16	4.10	4.14	4.09	4.25	4.21	4.11	4.25
【質問12】 質問への積極性 授業内容について、質問したいと思うことはありますか？また、実際に質問しますか？	学修が十分進んでおり、質問の必要がない	5	5337	936	651	599	728	1344	976	77
	しばしば質問する	4	1793	379	221	231	257	315	347	37
	ときどき質問する	3	2789	476	351	364	447	565	518	61
	質問はあるが、ほとんど質問していない	2	5571	683	544	775	843	1922	723	65
	学修に取り組んでいないため、質問すべきことがみつからない	1	1371	92	82	111	187	713	170	13
	平均点		3.25	3.54	3.44	3.21	3.20	2.93	3.45	3.40
【質問13】 意欲の高まり この科目を受講して、講義内容を更に詳しく学びたいと思いますか？	大いに思う	5	5753	941	606	686	898	1640	877	87
	やや思う	4	6551	870	693	822	1051	2031	974	94
	どちらとも言えない	3	3302	564	393	411	412	858	587	59
	あまり思わない	2	903	124	116	117	72	255	210	5
	全く思わない	1	352	67	41	44	29	75	86	8
	平均点		3.98	3.97	3.92	3.96	4.10	4.01	3.86	3.98
【質問14】 学修の成果 この科目であなたが得た成果を5段階で自己評価してください。	十分に成果はあがっている	5	5588	979	585	594	814	1604	903	87
	少し成果はあがっている	4	7727	1035	819	1022	1266	2290	1156	115
	どちらとも言えない	3	2813	419	367	364	332	751	522	46
	あまり成果はあがっていない	2	529	82	55	72	41	166	111	2
	全く成果はあがっていない	1	204	51	23	28	9	48	42	3
	平均点		4.07	4.09	4.02	4.00	4.15	4.08	4.01	4.11
【質問8】～【質問14】の平均			3.70	3.75	3.69	3.61	3.70	3.75	3.68	3.74

表3－(1)－3 【後期・学部等】平成30年度授業評価アンケート集計結果（質問1～7）

		係数	全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
受講者数			25645	4680	2906	3032	3759	7064	3500	365
回答者数			13138	1913	1277	1658	2392	3393	2164	191
回答率			51.2%	40.9%	43.9%	54.7%	63.6%	48.0%	61.8%	52.3%
【質問1】 授業準備 授業の準備が適切になされていると思いますか？	適切である	5	9035	1318	891	1118	1560	2392	1521	141
	ほぼ適切である	4	3195	444	286	436	653	790	497	40
	どちらとも言えない	3	699	116	78	74	141	158	123	5
	やや不適切である	2	146	22	14	21	28	41	15	3
	不適切である	1	63	13	8	9	10	12	8	2
	平均点		4.60	4.58	4.60	4.59	4.56	4.62	4.62	4.65
【質問2】 話し方 教員の話し方は明瞭ですか？	聞き取りやすい	5	7867	1147	814	979	1341	1996	1390	132
	ほぼ聞き取りやすい	4	3703	481	338	489	762	993	533	45
	どちらとも言えない	3	1003	177	84	131	179	235	172	12
	やや聞き取りにくい	2	442	77	27	49	94	140	51	0
	大変聞き取りにくい	1	123	31	14	10	16	29	18	2
	平均点		4.43	4.38	4.50	4.43	4.39	4.41	4.49	4.60
【質問3】 計画性 授業はシラバス通りに行われていますか？	行われている	5	7256	1138	754	1065	1256	1643	1219	119
	ほぼ行われている	4	2704	423	264	358	618	494	468	30
	どちらとも言えない	3	704	128	84	93	124	107	146	9
	やや異なっている	2	137	30	22	23	15	25	19	3
	全く異なっている	1	45	6	9	4	4	12	9	1
	シラバスを読んでいない	－	2292	188	144	115	375	1112	303	29
	平均点		4.57	4.54	4.53	4.59	4.54	4.64	4.54	4.62
【質問4】 授業時間 授業をあまりに遅く始めたり、早く終わったりしないで、90分間の授業時間を守っていますか？	守っている	5	9581	1394	938	1197	1701	2584	1519	156
	ほぼ守っている	4	2895	411	278	376	590	668	496	28
	どちらとも言えない	3	477	81	40	62	79	85	117	3
	やや守っていない	2	133	19	18	13	17	39	24	3
	守っていない	1	52	8	3	10	5	17	8	1
	平均点		4.66	4.65	4.67	4.65	4.66	4.70	4.61	4.75
【質問5】 講義の工夫 教員は、科目内容を理解しやすくするように工夫していると思いますか？	思う	5	7688	1136	781	947	1273	1978	1366	125
	やや思う	4	3823	499	354	501	788	1016	567	48
	どちらとも言えない	3	1150	190	102	147	236	272	176	12
	あまり思わない	2	360	58	25	48	80	100	46	2
	全く思わない	1	117	30	15	15	15	27	9	4
	平均点		4.42	4.39	4.46	4.40	4.35	4.42	4.49	4.51
【質問6】 質問への誠意 教員は、あなたの質問に誠意をもって答えていますか？	誠意をもって答える	5	5167	1022	615	692	872	762	1067	92
	ほぼ誠意をもって答える	4	1711	279	175	232	380	235	352	29
	どちらとも言えない	3	756	158	80	106	145	118	125	11
	やや誠意が感じられない	2	101	18	16	25	13	13	16	0
	誠意が感じられない	1	55	11	7	7	7	14	8	1
	質問したことがない	-	5348	425	384	596	975	2251	596	58
	平均点		4.52	4.53	4.54	4.48	4.48	4.50	4.57	4.59
【質問7】 講義の満足度 この科目に対する総合的なあなたの満足度を5段階で示してください	満足	5	6242	995	636	741	1049	1527	1140	97
	ほぼ満足	4	4773	574	431	638	925	1354	712	73
	どちらとも言えない	3	1701	267	160	224	336	406	266	19
	やや不満である	2	297	56	31	34	64	71	37	0
	不満である	1	125	21	19	21	18	35	9	2
	平均点		4.27	4.29	4.28	4.23	4.22	4.26	4.36	4.38
【質問1】～【質問7】の平均			4.49	4.48	4.51	4.48	4.46	4.51	4.53	4.58

表3－(1)－4 【後期・学部等】平成30年度授業評価アンケート集計結果（質問8～14）

		係数	全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
受講者数			25645	4680	2906	3032	3759	7064	3500	365
回答者数			13138	1913	1277	1658	2392	3393	2164	191
回答率			51.2%	40.9%	43.9%	54.7%	63.6%	48.0%	61.8%	52.3%
【質問8】 関連学習 この授業に関して、1回の講義あたり平均してどのくらい予習・復習、あるいは関連の学習をしましたか？	3時間以上	5	687	189	64	86	67	170	97	6
	2～3時間未満	4	697	163	74	51	89	202	96	13
	1～2時間未満	3	2066	350	260	248	327	520	326	21
	30分～1時間未満	2	3880	520	340	527	816	895	692	56
	30分未満	1	5808	691	539	746	1093	1606	953	95
	平均点		1.98	2.29	2.05	1.92	1.84	1.95	1.93	1.84
【質問9】 集中力 授業中に私語、居眠り、携帯電話の操作、あるいは別のことを考えることなどはありますか？	全くない	5	4422	654	303	431	746	1508	690	65
	ほとんどない	4	5044	675	471	646	1060	1295	762	82
	どちらとも言えない	3	2211	390	250	350	379	358	412	32
	しばしばある	2	1170	152	206	181	193	163	247	8
	毎回ある	1	291	42	47	50	14	69	53	4
	平均点		3.92	3.91	3.61	3.74	3.97	4.18	3.83	4.03
【質問10】 出席状況 授業には特別な事情（公認欠席、忌引きなど）を除き、出席していますか？	全出席	5	8033	927	720	858	1293	2788	1242	122
	ほぼ出席	4	3616	700	377	529	725	533	654	50
	ときどき欠席する	3	1030	206	136	178	236	55	193	14
	やや欠席が多い	2	327	51	38	70	93	13	53	2
	欠席が大変多い	1	132	29	6	23	45	4	22	3
	平均点		4.45	4.28	4.38	4.28	4.31	4.79	4.41	4.50
【質問11】 知識の深まり この科目を受講して、あなたの知識は深まっていますか？	大いに深まっている	5	5102	790	498	632	907	1297	852	79
	やや深まっている	4	5955	747	571	766	1124	1624	961	88
	どちらとも言えない	3	1631	289	158	205	287	363	286	20
	あまり深まっていない	2	335	64	32	44	62	83	47	0
	全く深まっていない	1	115	23	18	11	12	26	18	4
	平均点		4.19	4.16	4.17	4.18	4.19	4.20	4.19	4.25
【質問12】 質問への積極性 授業内容について、質問したいと思うことはありますか？また、実際に質問しますか？	学修が十分進んでおり、質問の必要がない	5	4373	711	459	575	738	986	769	69
	しばしば質問する	4	1480	305	188	180	242	248	282	23
	ときどき質問する	3	2052	334	230	291	383	321	437	43
	質問はあるが、ほとんど質問していない	2	4195	487	332	542	852	1289	599	46
	学修に取り組んでいないため、質問すべきことがみつからない	1	1038	76	68	70	177	549	77	10
	平均点		3.30	3.57	3.50	3.39	3.21	2.95	3.49	3.50
【質問13】 意欲の高まり この科目を受講して、講義内容を更に詳しく学びたいと思いますか？	大いに思う	5	4555	735	441	570	824	1132	753	66
	やや思う	4	5310	630	508	681	1040	1503	815	79
	どちらとも言えない	3	2425	416	231	318	403	539	438	37
	あまり思わない	2	625	101	66	61	93	163	120	5
	全く思わない	1	223	31	31	28	32	56	38	4
	平均点		4.02	4.01	3.99	4.03	4.06	4.03	3.98	4.04
【質問14】 学修の成果 この科目であなたが得た成果を5段階で自己評価してください。	十分に成果はあがっている	5	4456	740	448	537	759	1120	745	71
	少し成果はあがっている	4	6144	764	575	796	1201	1634	1009	92
	どちらとも言えない	3	2082	328	202	269	363	514	346	24
	あまり成果はあがっていない	2	337	62	34	40	55	92	49	1
	全く成果はあがっていない	1	119	19	18	16	14	33	15	3
	平均点		4.10	4.12	4.10	4.08	4.10	4.10	4.12	4.19
【質問8】～【質問14】の平均			3.71	3.76	3.69	3.66	3.67	3.74	3.71	3.76

（2）アンケート回答率について

回答率をグラフに、実数を表 3－（2）－1、表 3－（2）－2 に示した。全学平均では、前期が 57.9%、後期が 51.2%であった（平成 29 年度の全学平均：前期 69.0%、後期 56.8%、平成 28 年度の全学平均：前期 82.0%、後期 63.0%）。平成 30 年度の授業評価アンケートの対象科目は、前後期それぞれ各教員 2 科目、平成 29 年度は全授業科目、平成 28 年度は今年と同様、前後期それぞれ各教員 2 科目として実施した。平成 29 年度の回答率の低下は、平成 28 年度と比べて授業評価アンケートの対象科目が増加したことによるものと推察していたが、どうもそうではないようである。データには示していないが、科目間でアンケートの回答率は大きく異なっていた。また、学部・センター間でも回答率は異なっていた（40～60%台）。今後は、教員による学生へのアンケート依頼方法についても再検討を行い、より多くの学生に協力してもらえるよう改善を図っていきたい。

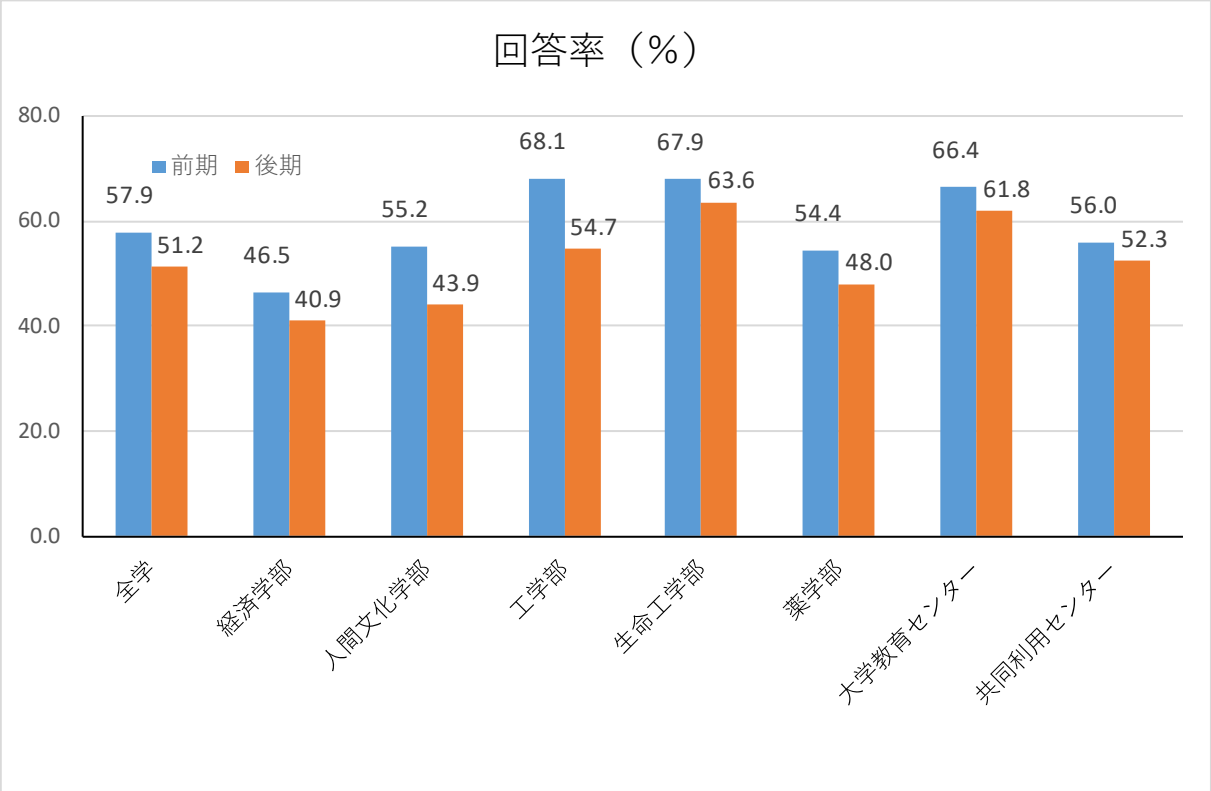

表3－（2）－1　学生による授業評価アンケート（前期）＜回答率＞

	全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
受講者数	29135	5524	3348	3056	3624	8931	4118	452
回答者数	16861	2566	1849	2080	2462	4859	2734	253
回答率（%）	57.9	46.5	55.2	68.1	67.9	54.4	66.4	56.0

表3－（2）－2　学生による授業評価アンケート（後期）＜回答率＞

	全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
受講者数	25645	4680	2906	3032	3759	7064	3500	365
回答者数	13138	1913	1277	1658	2392	3393	2164	191
回答率（%）	51.2	40.9	43.9	54.7	63.6	48.0	61.8	52.3

（3）調査結果の内容（学生による授業評価結果について）

①　【質問 1】授業準備について

教員の「授業準備」は、すべての学部・センターにおいて前後期とも 4.5 以上と高く評価されており、適切に実施されていると考えられた。最高評価（回答の 5）の割合は、共同利用センターが最も高く（前期 75.1%、後期 73.8%）、他学部・センターではほぼ同程度（60～70%台）であった（表 3－（3）－①－1、表 3－（3）－①－2）。

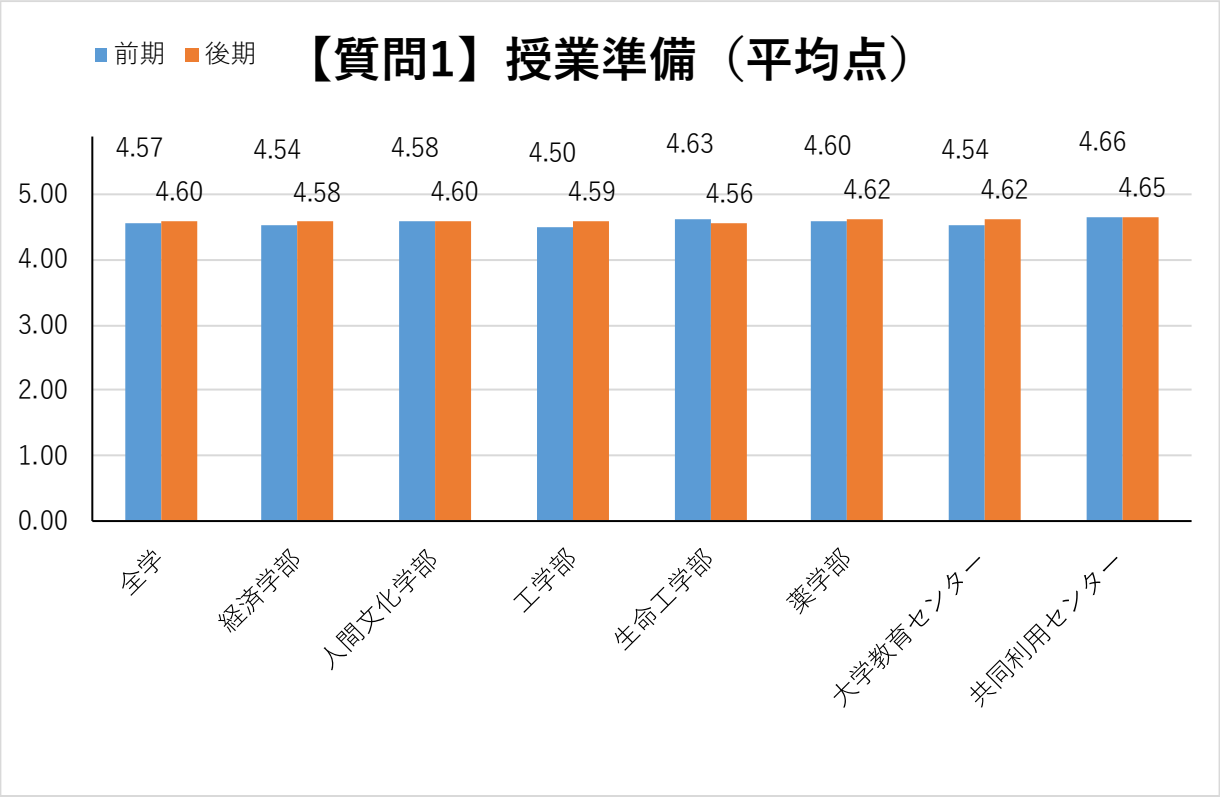

表3－（3）－①－1　学生による授業評価アンケート（前期）＜授業準備＞回答の割合

	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
【質問1】授業準備 授業の準備が適切になされていると思いますか？	適切である	5	67.6%	67.2%	68.6%	62.3%	68.7%	69.1%	67.3%	75.1%
	ほぼ適切である	4	24.2%	22.8%	23.4%	27.9%	26.1%	24.0%	22.6%	18.6%
	どちらともいえない	3	6.3%	7.6%	5.9%	7.9%	4.7%	5.1%	7.7%	4.7%
	やや不適切である	2	1.3%	1.5%	1.6%	1.4%	0.5%	1.3%	1.8%	0.8%
	不適切である	1	0.5%	0.9%	0.4%	0.6%	0.0%	0.4%	0.7%	0.8%
	計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表3－（3）－①－2　学生による授業評価アンケート（後期）＜授業準備＞回答の割合

	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
【質問1】授業準備 授業の準備が適切になされていると思いますか？	適切である	5	68.8%	68.9%	69.8%	67.4%	65.2%	70.5%	70.3%	73.8%
	ほぼ適切である	4	24.3%	23.2%	22.4%	26.3%	27.3%	23.3%	23.0%	20.9%
	どちらともいえない	3	5.3%	6.1%	6.1%	4.5%	5.9%	4.7%	5.7%	2.6%
	やや不適切である	2	1.1%	1.2%	1.1%	1.3%	1.2%	1.2%	0.7%	1.6%
	不適切である	1	0.5%	0.7%	0.6%	0.5%	0.4%	0.4%	0.4%	1.0%
	計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

② 【質問 2】話し方について

教員の「話し方」は、すべての学部・センターにおいて前後期とも 4.3 以上と高く評価されており、適切に実施されていると考えられた。最高評価（回答の 5）の割合は、共同利用センターが最も高く（前期 68.4%、後期 69.1%）、他学部・センターでは同程度（50～60%台）であった（表 3－（3）－②－1、表 3－（3）－②－2）。

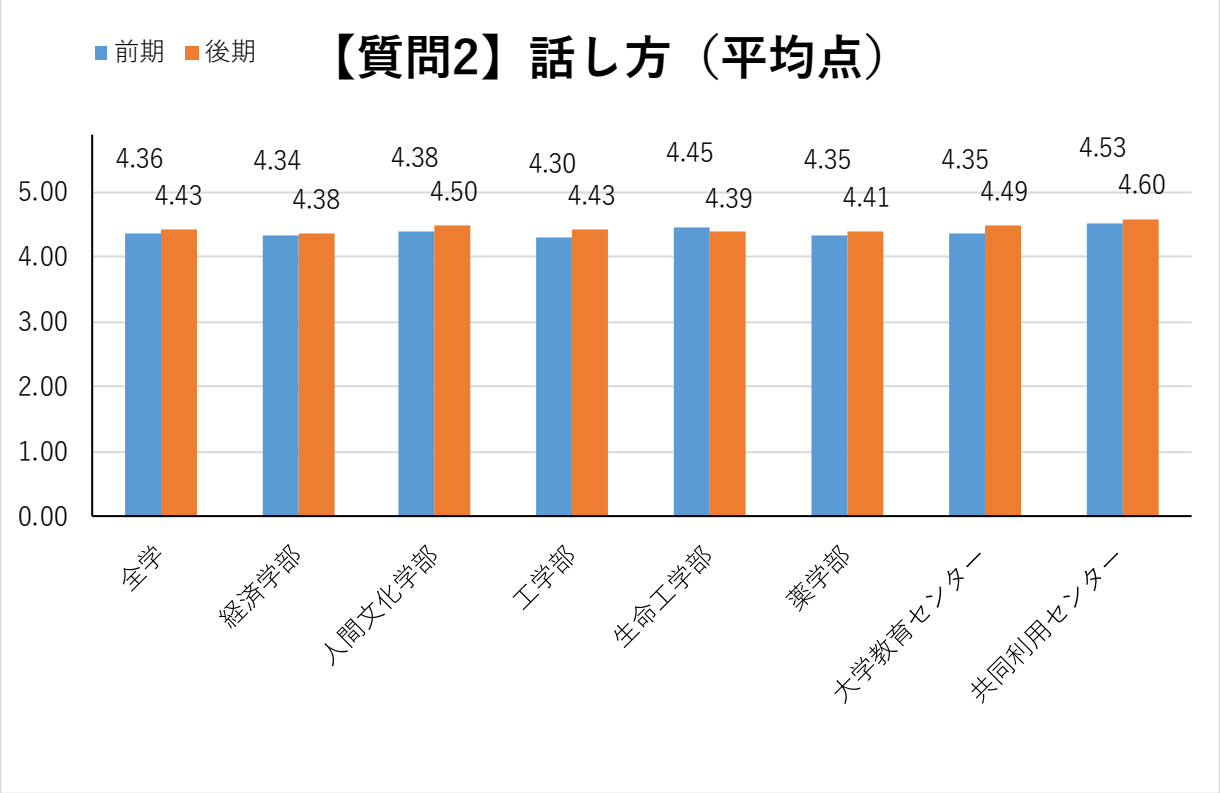

表3－（3）－②－1　学生による授業評価アンケート（前期）＜話し方＞回答の割合

	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
【質問2】話し方 教員の話し方は明確ですか？	聞き取りやすい	5	57.9%	59.5%	59.6%	53.2%	58.4%	56.9%	59.1%	68.4%
	ほぼ聞き取りやすい	4	27.5%	23.7%	26.4%	30.2%	31.4%	28.8%	24.5%	21.7%
	どちらともいえない	3	8.8%	9.7%	8.0%	10.7%	7.5%	8.0%	10.2%	5.9%
	やや聞き取りにくい	2	4.4%	4.8%	4.9%	4.6%	2.4%	4.9%	4.8%	2.8%
	大変聞き取りにくい	1	1.3%	2.2%	1.2%	1.3%	0.3%	1.5%	1.3%	1.2%
	計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表3－（3）－②－2　学生による授業評価アンケート（後期）＜話し方＞回答の割合

	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
【質問2】話し方 教員の話し方は明確ですか？	聞き取りやすい	5	59.9%	60.0%	63.7%	59.0%	56.1%	58.8%	64.2%	69.1%
	ほぼ聞き取りやすい	4	28.2%	25.1%	26.5%	29.5%	31.9%	29.3%	24.6%	23.6%
	どちらともいえない	3	7.6%	9.3%	6.6%	7.9%	7.5%	6.9%	7.9%	6.3%
	やや聞き取りにくい	2	3.4%	4.0%	2.1%	3.0%	3.9%	4.1%	2.4%	0.0%
	大変聞き取りにくい	1	0.9%	1.6%	1.1%	0.6%	0.7%	0.9%	0.8%	1.0%
	計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

③　【質問 3】授業の計画性について

「授業の計画性」は、すべての学部・センターにおいて前後期とも 4.5 以上と高く評価されており、適切に実施されていると考えられた。最高評価（回答の 5）の割合は、前期では経済学部が最も高く（60.6%）、

後期では工学部が最も高かった（64.2%）、他学部・センターではほぼ同程度（50～60%台）であったが、薬学部で若干低い傾向が認められた（表 3－（3）－③－1、表 3－（3）－③－2）。

シラバスを読んでいない学生の割合は、全学平均で前期 19.8%、後期 17.4%であった。学部・センター別では、薬学部（前期 34.7%、後期 32.8%）に多く認められた。薬学部は最高評価（回答の 5）の割合が比較的低いが、これはシラバスを読んでいない学生が多いことが要因の 1 つと考えられた。

シラバスに記載されている授業のねらいや目的、授業の流れを把握しながら学習することは、授業内容の理解をより深める効果があることから、初回授業時や授業を進めながら適宜、シラバスを用いた授業説明を行うなどの対応策が必要と考えられる。

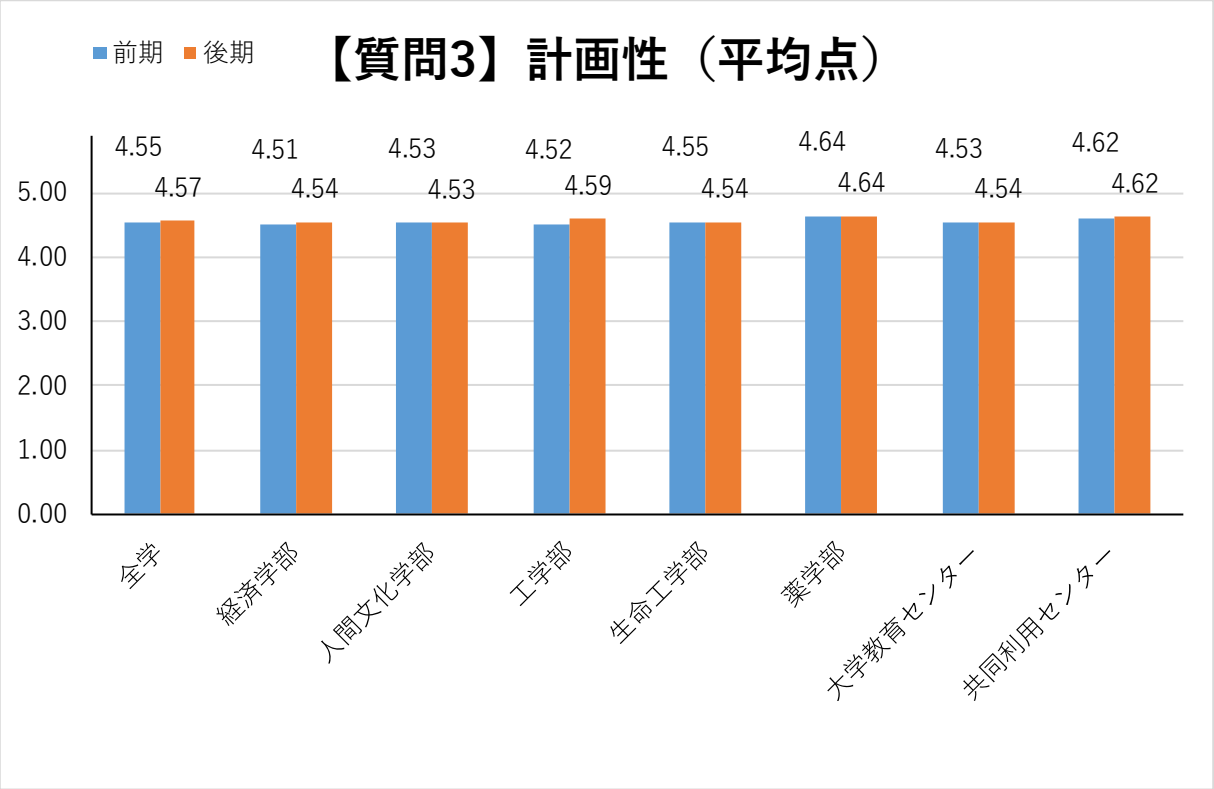

表3－（3）－③－1　学生による授業評価アンケート（前期）＜計画性＞回答の割合

	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
【質問3】計画性 授業はシラバス通り行われていますか？	行われている	5	53.5%	60.6%	56.6%	56.0%	52.0%	47.0%	55.0%	59.7%
	ほぼ行われている	4	19.5%	20.3%	22.6%	23.8%	24.3%	14.3%	18.8%	17.8%
	どちらともいえない	3	5.6%	8.6%	6.6%	7.0%	5.0%	3.0%	6.7%	4.0%
	やや異なっている	2	1.1%	1.7%	1.5%	1.3%	0.5%	0.7%	1.5%	1.6%
	全く異なっている	1	0.4%	0.7%	0.3%	0.3%	0.2%	0.3%	0.5%	0.4%
	シラバスを読んでいない	－	19.8%	8.2%	12.4%	11.7%	17.9%	34.7%	17.5%	16.6%
	計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表3－（3）－③－2　学生による授業評価アンケート（後期）＜計画性＞回答の割合

	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
【質問3】計画性 授業はシラバス通り行われていますか？	行われている	5	55.2%	59.5%	59.0%	64.2%	52.5%	48.4%	56.3%	62.3%
	ほぼ行われている	4	20.6%	22.1%	20.7%	21.6%	25.8%	14.6%	21.6%	15.7%
	どちらともいえない	3	5.4%	6.7%	6.6%	5.6%	5.2%	3.2%	6.7%	4.7%
	やや異なっている	2	1.0%	1.6%	1.7%	1.4%	0.6%	0.7%	0.9%	1.6%
	全く異なっている	1	0.3%	0.3%	0.7%	0.2%	0.2%	0.4%	0.4%	0.5%
	シラバスを読んでいない	－	17.4%	9.8%	11.3%	6.9%	15.7%	32.8%	14.0%	15.2%
	計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

④　【質問 4】授業時間について

「授業時間」の遵守については、すべての学部・センターにおいて前後期とも 4.5 以上と高く評価されており、適切に実施されていると考えられた。最高評価（回答の 5）の割合は、前期では薬学部が最も高く（77.3%）、後期では共同利用センターが最も高かった（81.7%）。他学部・センターでは同程度（60～70%台）であった（表 3－（3）－④－1、表 3－（3）－④－2）。

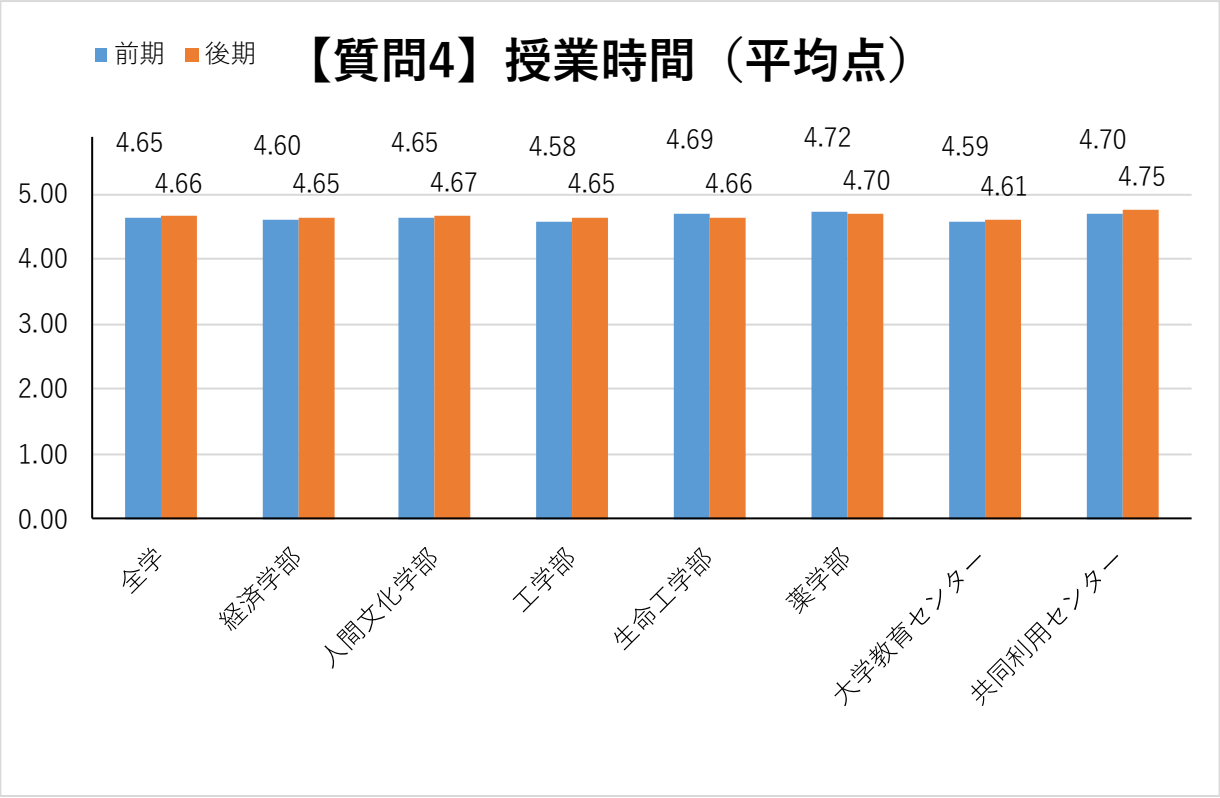

表3－（3）－④－1　学生による授業評価アンケート（前期）＜授業時間＞回答の割合

	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
【質問4】授業時間 授業をあまりに遅く始めたり、早く終わったりしないで、90分間の授業時間を守っていますか？	守っている	5	72.9%	71.3%	71.8%	67.7%	73.4%	77.3%	70.4%	73.9%
	ほぼ守っている	4	21.5%	21.1%	22.8%	25.2%	23.1%	19.1%	21.2%	22.1%
	どちらともいえない	3	4.1%	5.1%	4.4%	5.1%	2.8%	2.7%	5.9%	3.6%
	やや守っていない	2	1.0%	1.8%	0.6%	1.3%	0.5%	0.5%	1.7%	0.4%
	守っていない	1	0.6%	0.8%	0.4%	0.7%	0.2%	0.5%	0.8%	0.0%
	計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表3－（3）－④－2　学生による授業評価アンケート（後期）＜授業時間＞回答の割合

	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
【質問4】授業時間 授業をあまりに遅く始めたり、早く終わったりしないで、90分間の授業時間を守っていますか？	守っている	5	72.9%	72.9%	73.5%	72.2%	71.1%	76.2%	70.2%	81.7%
	ほぼ守っている	4	22.0%	21.5%	21.8%	22.7%	24.7%	19.7%	22.9%	14.7%
	どちらともいえない	3	3.6%	4.2%	3.1%	3.7%	3.3%	2.5%	5.4%	1.6%
	やや守っていない	2	1.0%	1.0%	1.4%	0.8%	0.7%	1.1%	1.1%	1.6%
	守っていない	1	0.4%	0.4%	0.2%	0.6%	0.2%	0.5%	0.4%	0.5%
	計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

⑤　【質問 5】講義の工夫について

「講義の工夫」については、すべての学部・センターにおいて前後期とも 4.0 以上と高く評価されており、適切に実施されていると考えられた。最高評価（回答の 5）の割合は、共同利用センターが最も高かった（前期 64.8%、後期 65.4%）。他学部・センターでは 40～50%台であった（表 3－（3）－⑤－1、表 3－（3）－⑤－2）。

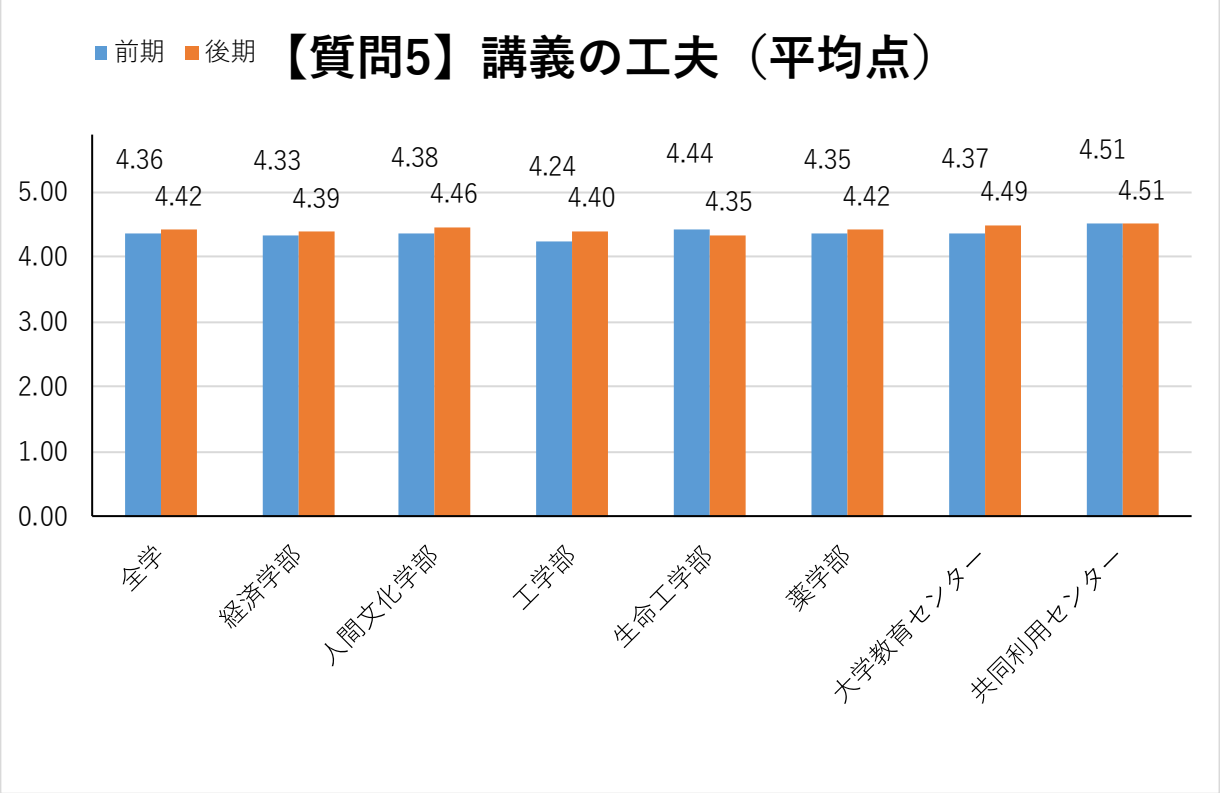

表3－（3）－⑤－1　学生による授業評価アンケート（前期）＜講義の工夫＞回答の割合

	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
【質問5】講義の工夫 教員は、科目内容を理解しやすくするように工夫していると思いますか？	思う	5	56.2%	57.8%	57.2%	48.8%	58.3%	55.6%	58.0%	64.8%
	やや思う	4	29.0%	24.5%	29.2%	33.2%	30.5%	29.9%	27.0%	24.1%
	どちらともいえない	3	10.4%	12.5%	9.2%	12.3%	8.7%	9.9%	10.4%	8.7%
	あまり思わない	2	3.2%	3.4%	3.2%	4.4%	2.0%	3.3%	3.3%	2.0%
	全く思わない	1	1.2%	1.9%	1.2%	1.3%	0.4%	1.3%	1.2%	0.4%
	計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表3－（3）－⑤－2　学生による授業評価アンケート（後期）＜講義の工夫＞回答の割合

	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
【質問5】講義の工夫 教員は、科目内容を理解しやすくするように工夫していると思いますか？	思う	5	58.5%	59.4%	61.2%	57.1%	53.2%	58.3%	63.1%	65.4%
	やや思う	4	29.1%	26.1%	27.7%	30.2%	32.9%	29.9%	26.2%	25.1%
	どちらともいえない	3	8.8%	9.9%	8.0%	8.9%	9.9%	8.0%	8.1%	6.3%
	あまり思わない	2	2.7%	3.0%	2.0%	2.9%	3.3%	2.9%	2.1%	1.0%
	全く思わない	1	0.9%	1.6%	1.2%	0.9%	0.6%	0.8%	0.4%	2.1%
	計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

⑥　【質問 6】質問への誠意について

「質問への誠意」については、すべての学部・センターにおいて前後期ともおよそ 4.5 以上と高く評価されており、適切に実施されていると考えられた。最高評価（回答の 5）の割合は、経済学部が最も高かっ

た（前期 51.5%、後期 53.4%）、他学部・センターでは、薬学部（20%台）を除いて 30～40%台であった（表 3－（3）－⑥－1、表 3－（2）－⑥－2）。

質問したことがない学生の割合は、全学平均で前期 43.2%、後期 40.7%であった。学部別では、薬学部に多く認められた（前期 64.6%、後期 66.3%）。薬学部は最高評価（回答の 5）の割合が比較的低いが、これは質問したことがない学生が多いことが要因の 1 つと考えられた。

質問をしやすい雰囲気づくり、セレッソなどの ICT を利用したコミュニケーションの活用など、今後の改善が必要である。

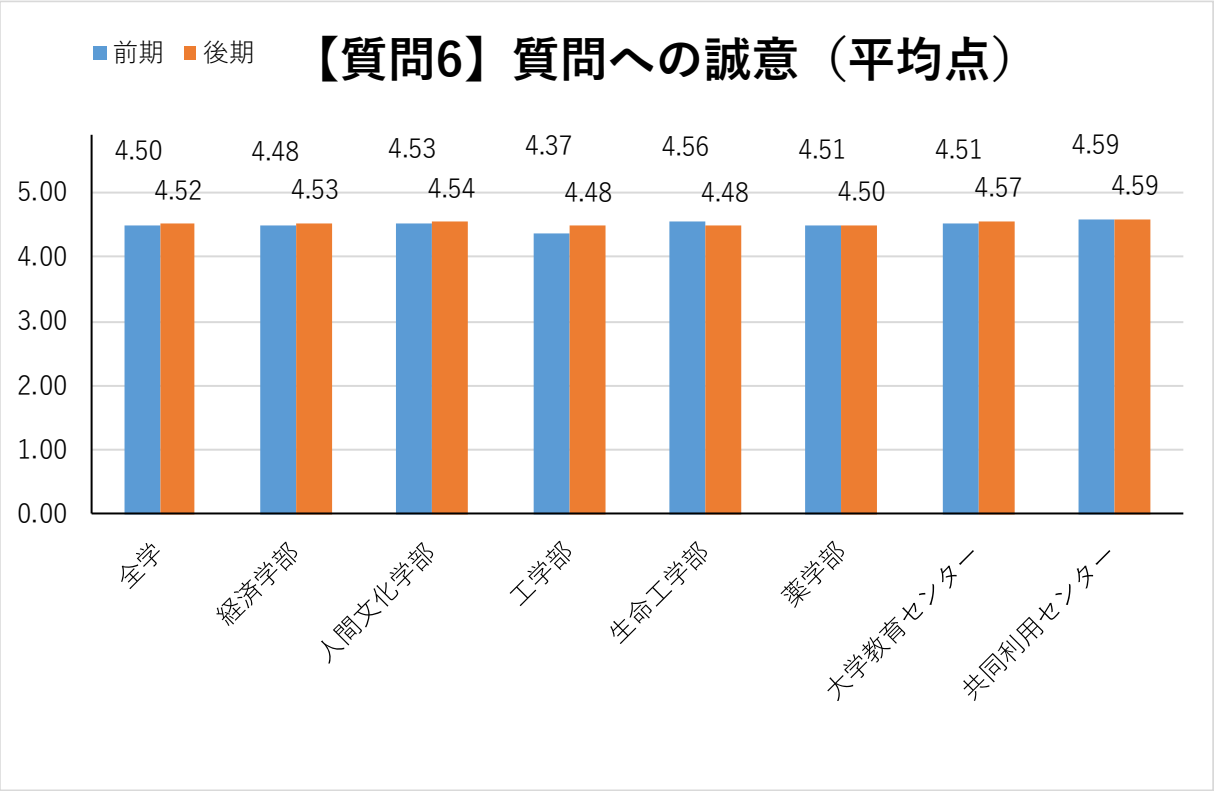

表3－（3）－⑥－1　学生による授業評価アンケート（前期）＜質問への誠意＞回答の割合

	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
【質問6】 質問への誠意 教員は、あなたの質問に誠意をもって答えていますか？	誠意をもって答える	5	37.3%	51.5%	42.7%	36.0%	37.5%	23.7%	44.1%	49.4%
	ほぼ誠意をもって答える	4	12.2%	14.8%	15.4%	14.8%	13.3%	7.3%	13.6%	10.3%
	どちらとも言えない	3	5.9%	8.2%	6.5%	7.7%	5.2%	3.3%	6.9%	7.5%
	やや誠意が感じられない	2	0.9%	2.0%	0.5%	1.6%	0.3%	0.6%	0.7%	0.8%
	誠意が感じられない	1	0.5%	0.7%	0.2%	0.8%	0.1%	0.5%	0.7%	0.0%
	質問したことがない	－	43.2%	22.8%	34.6%	39.1%	43.6%	64.6%	34.0%	32.0%
	計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表3－（3）－⑥－2　学生による授業評価アンケート（後期）＜質問への誠意＞回答の割合

	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
【質問6】 質問への誠意 教員は、あなたの質問に誠意をもって答えていますか？	誠意をもって答える	5	39.3%	53.4%	48.2%	41.7%	36.5%	22.5%	49.3%	48.2%
	ほぼ誠意をもって答える	4	13.0%	14.6%	13.7%	14.0%	15.9%	6.9%	16.3%	15.2%
	どちらとも言えない	3	5.8%	8.3%	6.3%	6.4%	6.1%	3.5%	5.8%	5.8%
	やや誠意が感じられない	2	0.8%	0.9%	1.3%	1.5%	0.5%	0.4%	0.7%	0.0%
	誠意が感じられない	1	0.4%	0.6%	0.5%	0.4%	0.3%	0.4%	0.4%	0.5%
	質問したことがない	－	40.7%	22.2%	30.1%	35.9%	40.8%	66.3%	27.5%	30.4%
	計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

⑦　【質問 7】講義の満足度について

「講義の満足度」については、すべての学部・センターにおいて前後期とも 4.0 以上と高く評価されており、適切に実施されていると考えられた。ただし、講義に対する満足度は、授業評価 7 項目の中で最も低い評価でもあるため、今後のさらなる改善への取り組みは必要である。講義の満足度は、講義の内容、方法、時間、難易度、話し方などのさまざまな要因が関与しているので、個々の授業において担当教員がアンケート結果を解析し、改善していく必要がある。

最高評価（回答の 5）の割合は、前期では経済学部が最も高く（49.9%）、後期では大学教育センターが最も高かった（52.7%）。他学部・センターでは 30～50%台であった（表 3－（3）－⑦－1、表 3－（3）－⑦－2）。

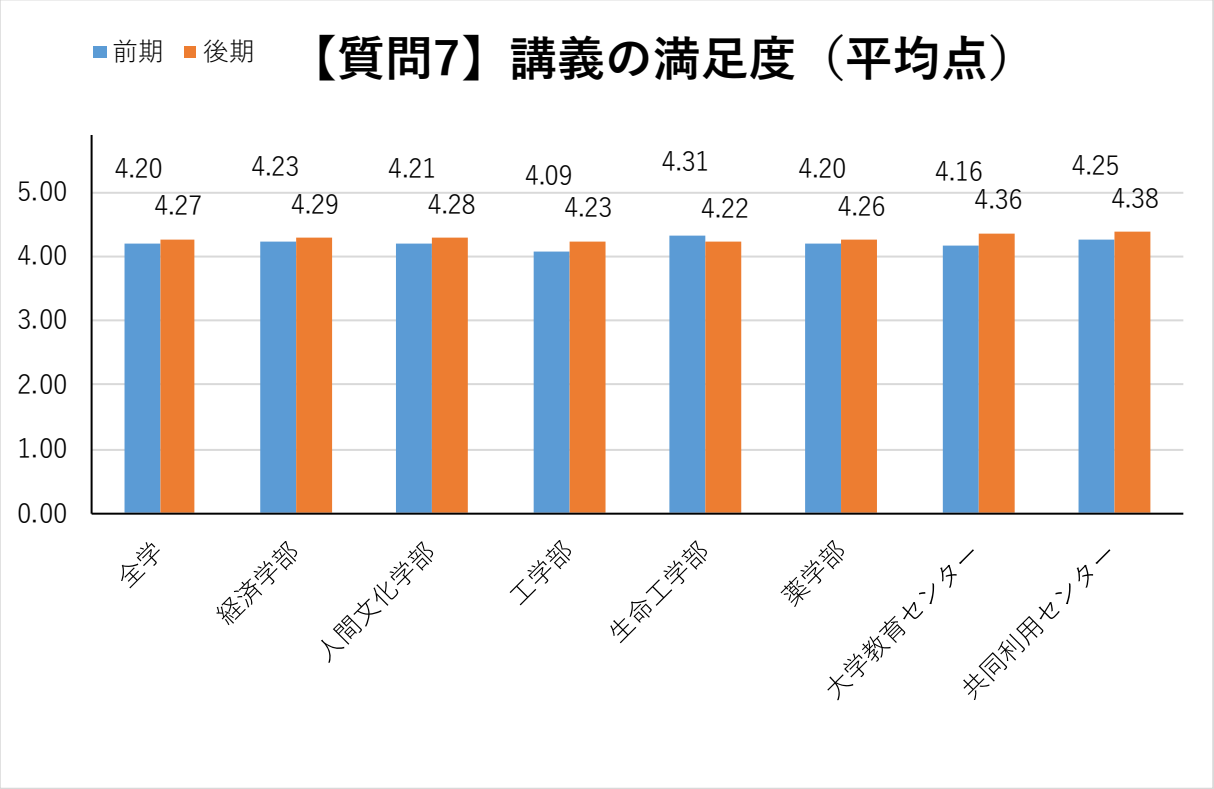

表3－（3）－⑦－1　学生による授業評価アンケート（前期）＜講義の満足度＞回答の割合

	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター
【質問7】　講義の満足度 この科目に対する総合的なあなたの満足度を5段階で示してください	満足	5	44.8%	49.9%	44.5%	37.1%	45.9%	44.2%	45.9%
	ほぼ満足	4	36.1%	30.2%	36.8%	40.8%	41.0%	37.0%	32.1%
	どちらとも言えない	3	14.7%	14.5%	14.9%	17.0%	11.2%	14.5%	16.2%
	やや不満である	2	3.1%	3.6%	2.7%	4.0%	1.7%	3.1%	3.7%
	不満である	1	1.3%	1.8%	1.1%	1.2%	0.2%	1.2%	2.2%
	計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表3－（3）－⑦－2　学生による授業評価アンケート（後期）＜講義の満足度＞回答の割合

	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
【質問7】　講義の満足度 この科目に対する総合的なあなたの満足度を5段階で示してください	満足	5	47.5%	52.0%	49.8%	44.7%	43.9%	45.0%	52.7%	50.8%
	ほぼ満足	4	36.3%	30.0%	33.8%	38.5%	38.7%	39.9%	32.9%	38.2%
	どちらとも言えない	3	12.9%	14.0%	12.5%	13.5%	14.0%	12.0%	12.3%	9.9%
	やや不満である	2	2.3%	2.9%	2.4%	2.1%	2.7%	2.1%	1.7%	0.0%
	不満である	1	1.0%	1.1%	1.5%	1.3%	0.8%	1.0%	0.4%	1.0%
	計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

（4）調査結果の内容（学生の自己点検について）

①　【質問 8】関連学習について

「関連学習（授業に関する予習や復習、あるいは関連の学習)」については、すべての学部・センターにおいて前後期とも 2.0 前後という低い値であった。また、関連学習の時間が 30 分未満の学生は、全学で 40%台、学部・センターでは 30～40%台であった（表 3－（4）－①－1、表 3－（4）－①－2)。

関連学習の実施によって、単位の実質化を図る必要性がある。宿題を課す、あるいは授業開始時に前回授業内容の確認試験を行うなどの手法を導入し、予習や復習の習慣づけを行うことから始めることが必要である。また、セレッソを有効活用して、担当教員が e- Learning コンテンツを作成することなども、関連学習のサポートとして有用であると考えられる。

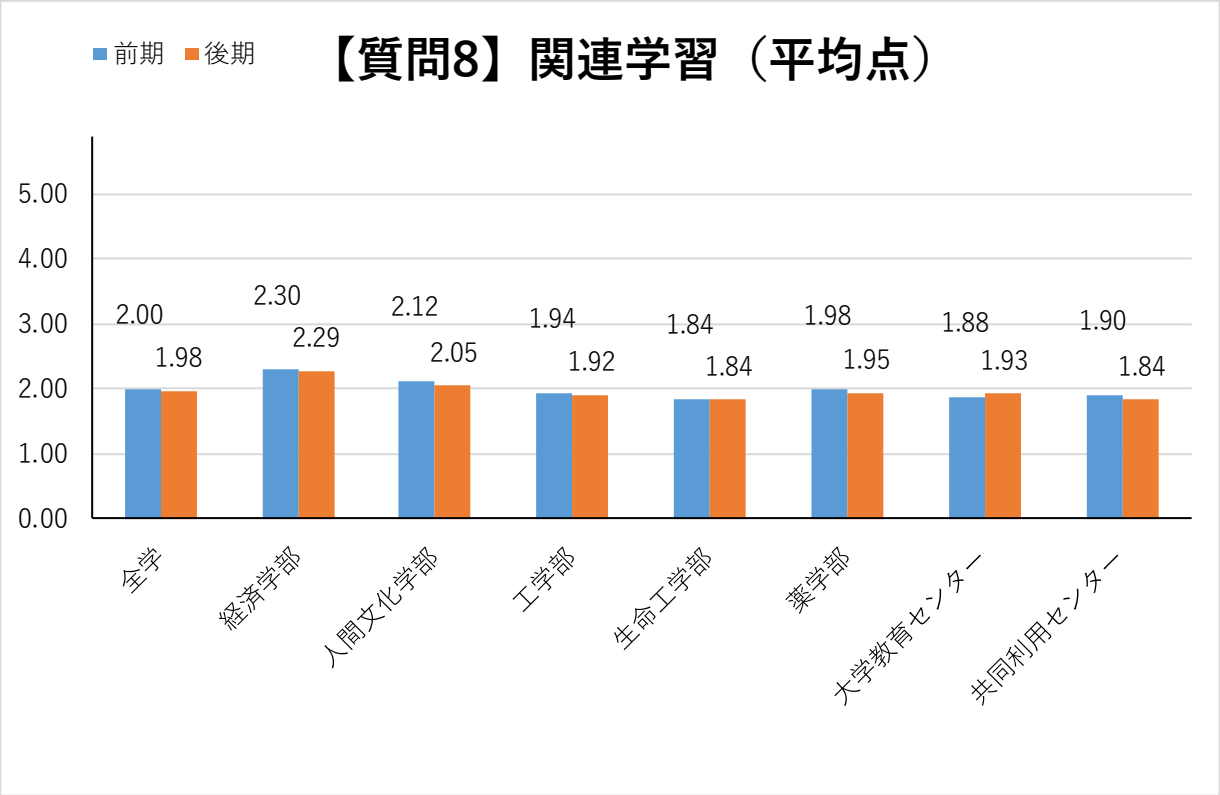

表3－（4）－①－1　学生による授業評価アンケート（前期）＜関連学習＞回答の割合

	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
【質問8】 関連学習 この授業に関して、１回の講義あたり平均してどのくらい予習・復習、あるいは関連の学習をしましたか？	３時間以上	5	5.1%	12.0%	4.7%	4.9%	2.2%	4.3%	3.3%	4.7%
	２～３時間未満	4	5.5%	7.4%	7.7%	4.6%	4.0%	6.1%	3.7%	3.2%
	１～２時間未満	3	17.1%	17.4%	21.1%	14.9%	14.7%	18.0%	16.4%	17.8%
	３０分～１時間未満	2	28.9%	25.1%	28.6%	30.4%	34.4%	26.8%	30.8%	26.1%
	３０分未満	1	43.3%	38.2%	38.0%	45.1%	44.8%	44.7%	45.8%	48.2%
	計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表3－（4）－①－2　学生による授業評価アンケート（後期）＜関連学習＞回答の割合

	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
【質問8】 関連学習 この授業に関して、１回の講義あたり平均してどのくらい予習・復習、あるいは関連の学習をしましたか？	３時間以上	5	5.2%	9.9%	5.0%	5.2%	2.8%	5.0%	4.5%	3.1%
	２～３時間未満	4	5.3%	8.5%	5.8%	3.1%	3.7%	6.0%	4.4%	6.8%
	１～２時間未満	3	15.7%	18.3%	20.4%	15.0%	13.7%	15.3%	15.1%	11.0%
	３０分～１時間未満	2	29.5%	27.2%	26.6%	31.8%	34.1%	26.4%	32.0%	29.3%
	３０分未満	1	44.2%	36.1%	42.2%	45.0%	45.7%	47.3%	44.0%	49.7%
	計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

② 【質問 9】集中力について

「集中力」については、すべての学部・センターにおいて前後期ともおよそ 4.0 前後であり、おおむね良好であった。

最高評価（回答の 5）の割合は、薬学部が最も高く（前期 43.2%、後期 44.4%）、他学部・センターでは 20～30%台であった（表 3－（4）－②－1、表 3－（4）－②－2）。

まだ改善の余地はあるので、授業担当教員には、学生の自己評価が上がるよう、さらなる授業改善・工夫が求められる。

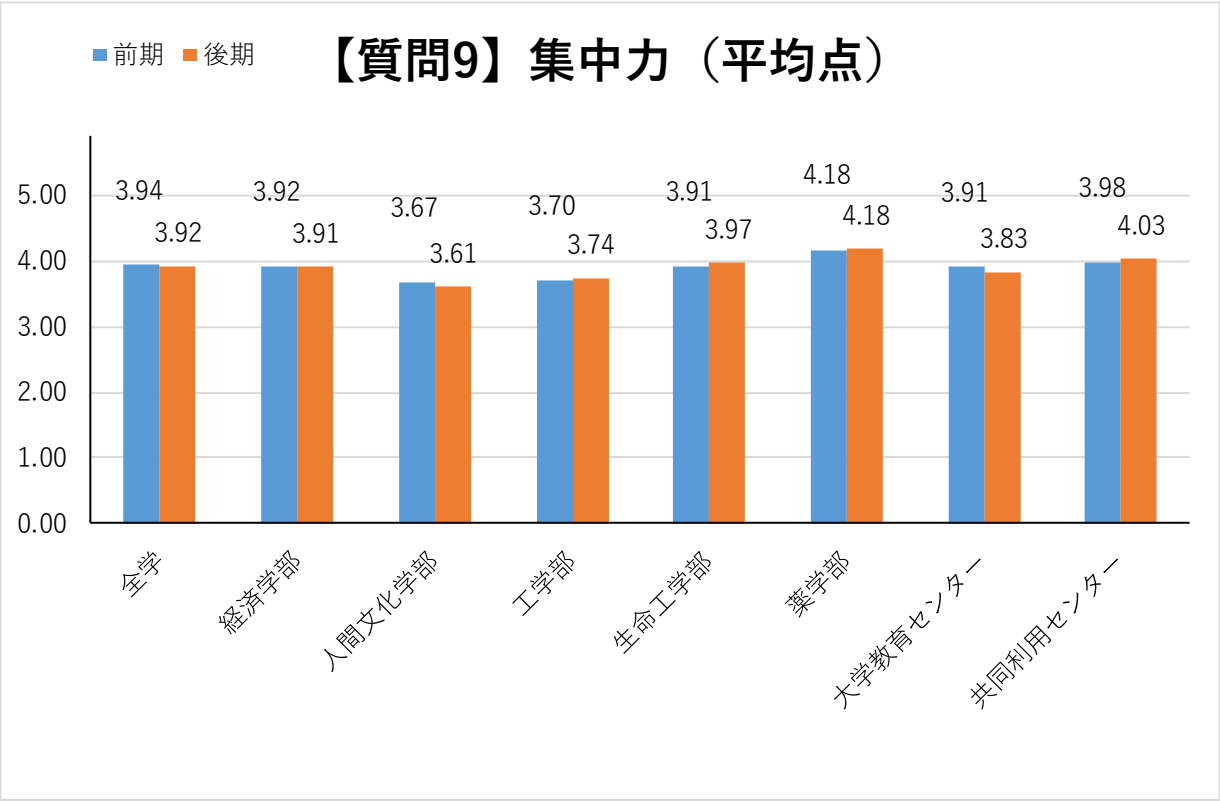

表3－（4）－②－1　学生による授業評価アンケート（前期）＜集中力＞回答の割合

	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
【質問9】 集中力 授業中に私語、居眠り、携帯電話の操作、あるいは別のことを考えることなどはありますか？	全くない	5	33.6%	34.7%	23.1%	22.9%	28.9%	43.2%	35.3%	36.8%
	ほとんどない	4	38.3%	34.6%	38.5%	41.1%	43.3%	39.0%	33.9%	37.2%
	どちらとも言えない	3	17.9%	21.0%	22.6%	22.6%	18.8%	11.3%	19.2%	16.6%
	しばしばある	2	8.4%	7.7%	13.6%	10.3%	8.3%	5.2%	9.7%	5.9%
	毎回ある	1	1.8%	2.1%	2.2%	3.0%	0.6%	1.3%	2.0%	3.6%
	計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表3－（4）－②－2　学生による授業評価アンケート（後期）＜集中力＞回答の割合

	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
【質問9】 集中力 授業中に私語、居眠り、携帯電話の操作、あるいは別のことを考えることなどはありますか？	全くない	5	33.7%	34.2%	23.7%	26.0%	31.2%	44.4%	31.9%	34.0%
	ほとんどない	4	38.4%	35.3%	36.9%	39.0%	44.3%	38.2%	35.2%	42.9%
	どちらとも言えない	3	16.8%	20.4%	19.6%	21.1%	15.8%	10.6%	19.0%	16.8%
	しばしばある	2	8.9%	7.9%	16.1%	10.9%	8.1%	4.8%	11.4%	4.2%
	毎回ある	1	2.2%	2.2%	3.7%	3.0%	0.6%	2.0%	2.4%	2.1%
	計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

③　【質問 10】出席状況について

「出席状況」については、すべての学部・センターにおいて前後期とも 4.0 以上で評価されており、学生の高い自己評価となっている。出席確認を厳密に行って授業回数の 1/5 以上欠席した学生については担任へ連絡を入れるというシステムが有効に機能しているものと考えられる。

最高評価（回答の 5）の割合は、薬学部が最も高く（前期 87.1%、後期 82.2%）、他学部・センターでは 40～60%台であった（表 3－（4）－③－1、表 3－（4）－③－2）。

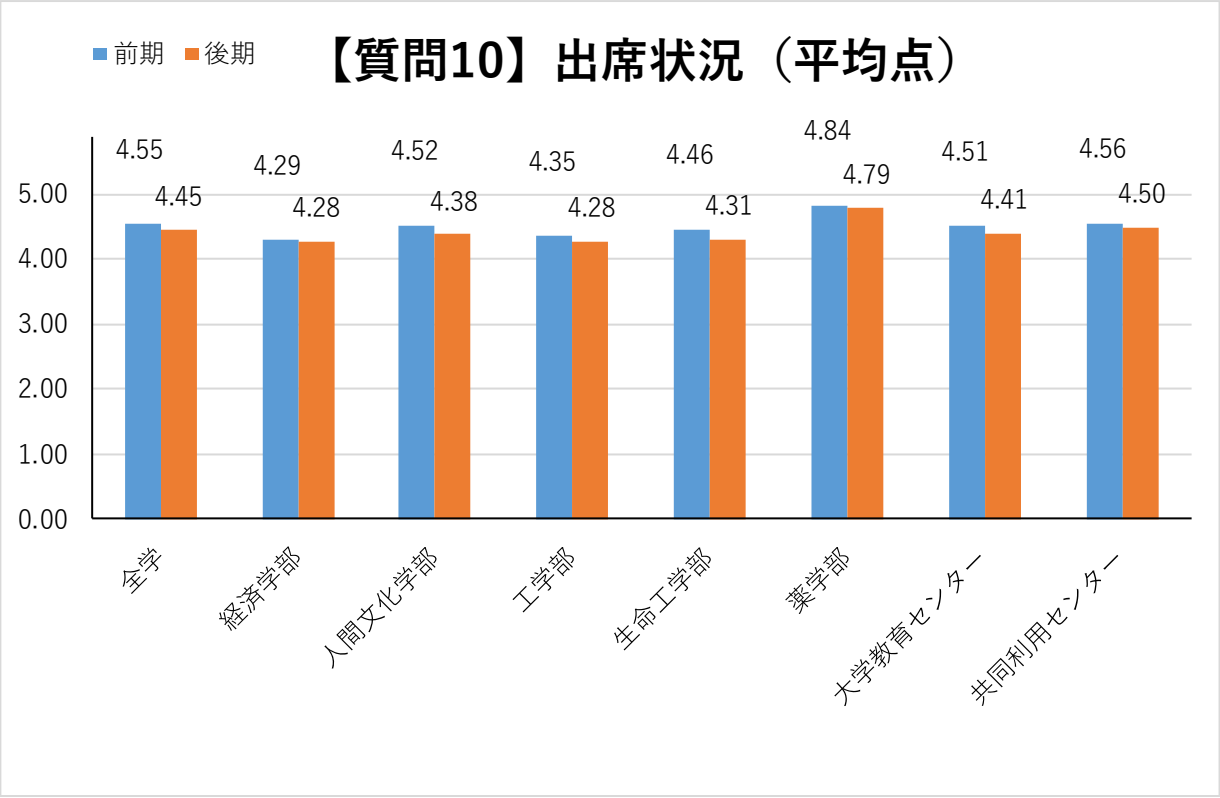

表3－（4）－③－1　学生による授業評価アンケート（前期）＜出席状況＞回答の割合

	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
【質問10】 出席状況 授業には特別な事情（公認欠席、忌引きなど）を除き、出席していますか？	全出席	5	67.6%	50.5%	65.9%	55.7%	62.2%	87.1%	64.6%	68.8%
	ほぼ出席	4	22.9%	33.7%	23.7%	29.6%	26.3%	10.6%	25.5%	21.7%
	ときどき欠席する	3	6.8%	11.3%	7.7%	10.3%	8.0%	1.9%	6.9%	7.1%
	やや欠席が多い	2	1.9%	3.4%	1.8%	3.2%	2.4%	0.3%	2.0%	1.2%
	欠席が大変多い	1	0.8%	1.0%	0.9%	1.3%	1.1%	0.2%	0.9%	1.2%
	計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表3－（4）－③－2　学生による授業評価アンケート（後期）＜出席状況＞回答の割合

	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
【質問10】 出席状況 授業には特別な事情（公認欠席、忌引きなど）を除き、出席していますか？	全出席	5	61.1%	48.5%	56.4%	51.7%	54.1%	82.2%	57.4%	63.9%
	ほぼ出席	4	27.5%	36.6%	29.5%	31.9%	30.3%	15.7%	30.2%	26.2%
	ときどき欠席する	3	7.8%	10.8%	10.6%	10.7%	9.9%	1.6%	8.9%	7.3%
	やや欠席が多い	2	2.5%	2.7%	3.0%	4.2%	3.9%	0.4%	2.4%	1.0%
	欠席が大変多い	1	1.0%	1.5%	0.5%	1.4%	1.9%	0.1%	1.0%	1.6%
	計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

④　【質問 11】知識の深まりについて

「知識の深まり」については、すべての学部・センターにおいて前後期とも 4.0 以上で評価されており、学生の高い自己評価となっている。

最高評価（回答の 5）の割合は、共同利用センターが最も高かったが（前期 40.3%、後期 41.4%）、他学部・センターでもおよそ 40%前後であり、組織間での大きな相違は認められなかった。（表 3－（4）－④－1、表 3－（4）－④－2）。

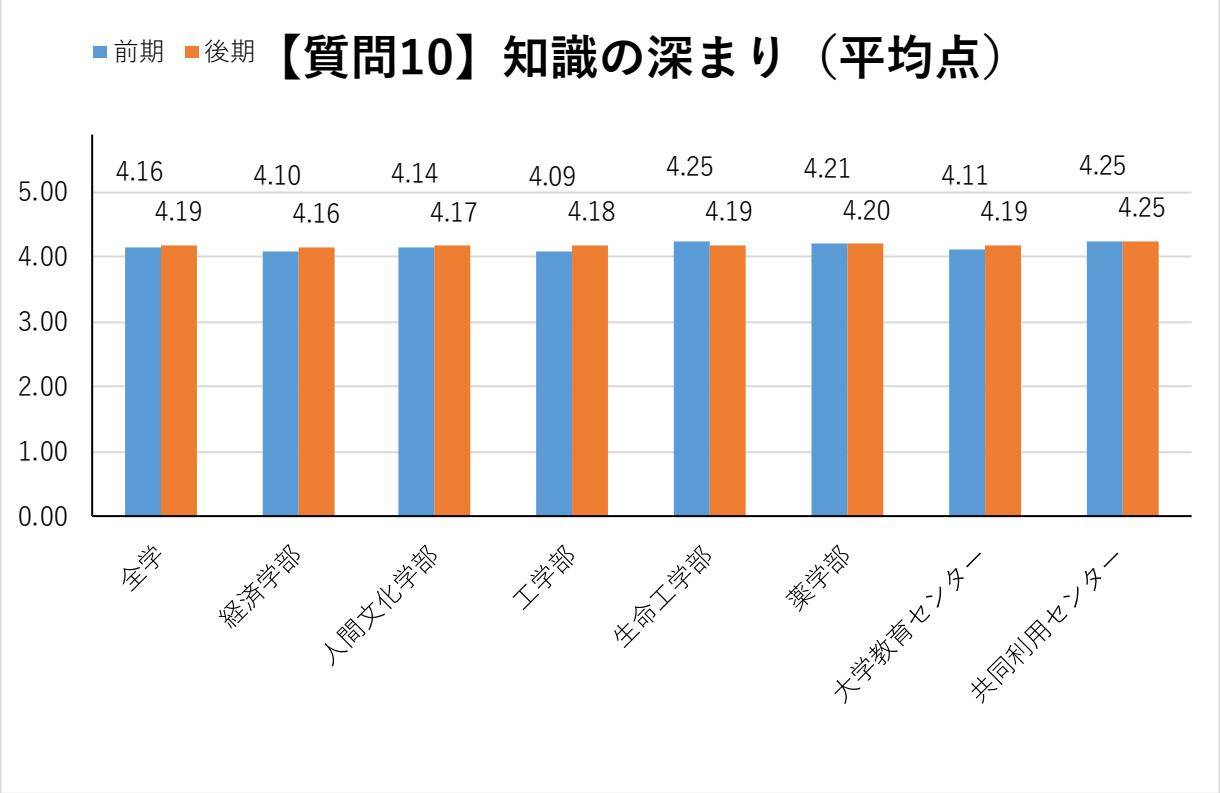

表3－（4）－④－1　学生による授業評価アンケート（前期）＜知識の深まり＞回答の割合

	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
【質問11】知識の深まり この科目を受講して、あなたの知識は深まっていますか？	大いに深まっている	5	38.5%	39.1%	37.3%	34.9%	39.1%	39.8%	38.4%	40.3%
	やや深まっている	4	44.1%	39.0%	44.1%	45.4%	49.1%	45.3%	40.8%	48.2%
	どちらとも言えない	3	13.3%	16.4%	14.6%	14.6%	9.6%	11.4%	15.6%	9.5%
	あまり深まっていない	2	3.2%	3.8%	3.1%	4.2%	1.8%	2.8%	3.8%	0.4%
	全く深まっていない	1	1.0%	1.6%	0.9%	0.9%	0.4%	0.7%	1.3%	1.6%
	計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表3－（4）－④－2　学生による授業評価アンケート（後期）＜知識の深まり＞回答の割合

	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
【質問11】知識の深まり この科目を受講して、あなたの知識は深まっていますか？	大いに深まっている	5	38.8%	41.3%	39.0%	38.1%	37.9%	38.2%	39.4%	41.4%
	やや深まっている	4	45.3%	39.0%	44.7%	46.2%	47.0%	47.9%	44.4%	46.1%
	どちらとも言えない	3	12.4%	15.1%	12.4%	12.4%	12.0%	10.7%	13.2%	10.5%
	あまり深まっていない	2	2.5%	3.3%	2.5%	2.7%	2.6%	2.4%	2.2%	0.0%
	全く深まっていない	1	0.9%	1.2%	1.4%	0.7%	0.5%	0.8%	0.8%	2.1%
	計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

⑤　【質問 12】質問への積極性について

「質問への積極性」については、すべての学部・センターにおいて前後期ともおよそ 3.0 台で評価されており、まだ改善の余地が残っている。質問 6 で記載したように、より質問しやすい環境づくりが必要

である。

最高評価（回答の 5）の割合は、経済学部が最も高かったが（前期 36.5%、後期 37.2%）、他学部・センターでもおよそ 30%前後であり、組織間での大きな相違は認められなかった（表 3－（4）－⑤－1、表 3－（4）－⑤－2）。

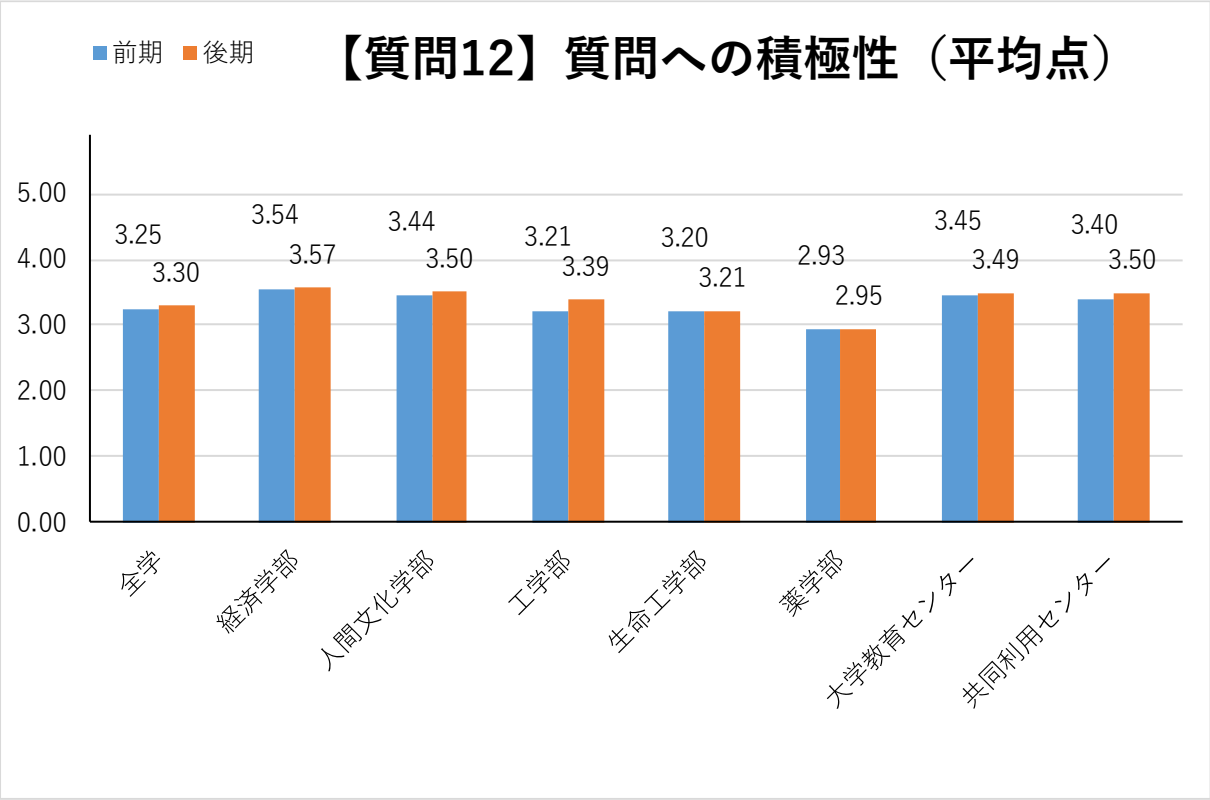

表3－（4）－⑤－1　学生による授業評価アンケート（前期）＜質問への積極性＞回答の割合

	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
【質問12】 質問への積極性 授業内容について、質問したいと思うことはありますか？また、実際に質問しますか？	学修が十分進んでおり、質問の必要がない	5	31.7%	36.5%	35.2%	28.8%	29.6%	27.7%	35.7%	30.4%
	しばしば質問する	4	10.6%	14.8%	12.0%	11.1%	10.4%	6.5%	12.7%	14.6%
	ときどき質問する	3	16.5%	18.6%	19.0%	17.5%	18.2%	11.6%	18.9%	24.1%
	質問はあるが、ほとんど質問していない	2	33.0%	26.6%	29.4%	37.3%	34.2%	39.6%	26.4%	25.7%
	学修に取り組んでいないため、質問すべきことがみつからない	1	8.1%	3.6%	4.4%	5.3%	7.6%	14.7%	6.2%	5.1%
	計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表3－（4）－⑤－2　学生による授業評価アンケート（後期）＜質問への積極性＞回答の割合

	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
【質問12】 質問への積極性 授業内容について、質問したいと思うことはありますか？また、実際に質問しますか？	学修が十分進んでおり、質問の必要がない	5	33.3%	37.2%	35.9%	34.7%	30.9%	29.1%	35.5%	36.1%
	しばしば質問する	4	11.3%	15.9%	14.7%	10.9%	10.1%	7.3%	13.0%	12.0%
	ときどき質問する	3	15.6%	17.5%	18.0%	17.6%	16.0%	9.5%	20.2%	22.5%
	質問はあるが、ほとんど質問していない	2	31.9%	25.5%	26.0%	32.7%	35.6%	38.0%	27.7%	24.1%
	学修に取り組んでいないため、質問すべきことがみつからない	1	7.9%	4.0%	5.3%	4.2%	7.4%	16.2%	3.6%	5.2%
	計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

⑥　【質問 13】意欲の高まりについて

「意欲の高まり」については、すべての学部・センターにおいて前後期ともおよそ 4.0 前後で評価されており、おおむね良好であった。

最高評価（回答の 5）の割合は、すべての学部・センターで同程度であった（35%前後）（表 3－（4）－⑥－1、表 3－（4）－⑥－2）。

まだ改善の余地はあるので、授業担当教員には、学生の自己評価が上がるよう、さらなる授業改善・工夫が求められる。

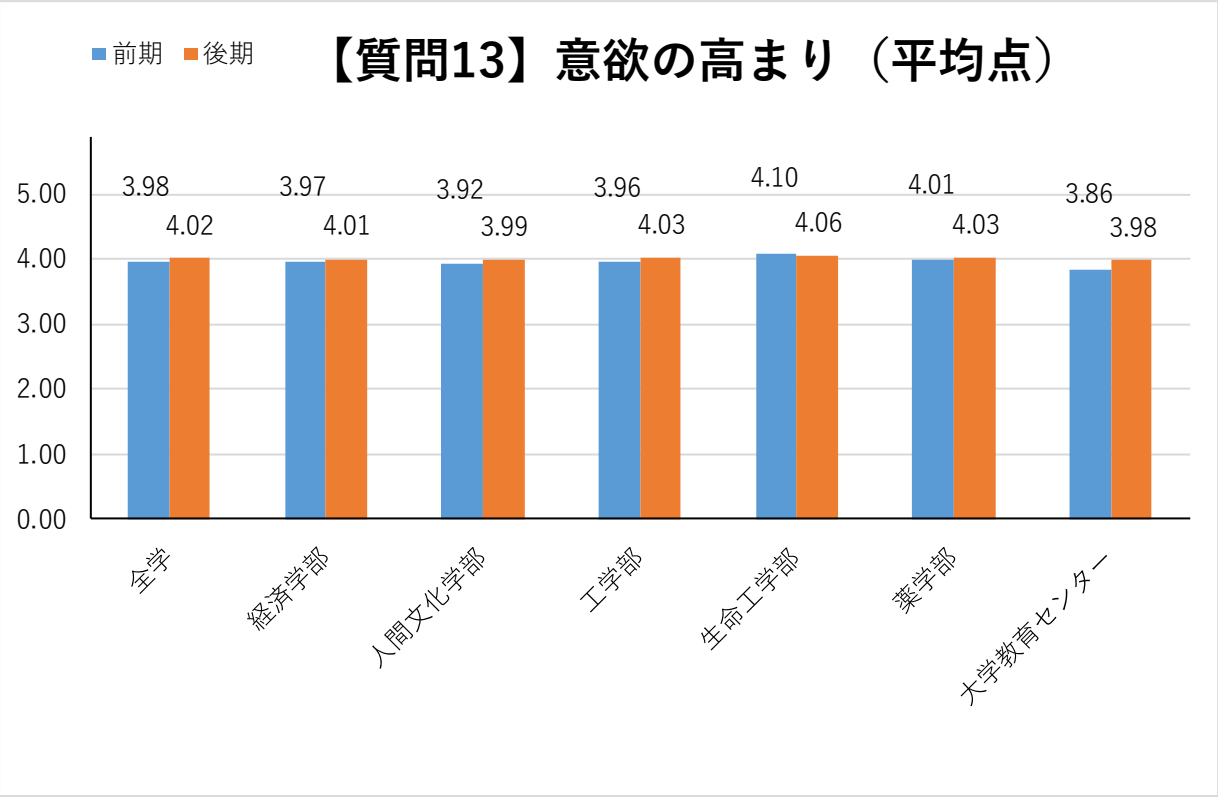

表3－（4）－⑥－1　学生による授業評価アンケート（前期）＜意欲の高まり＞回答の割合

	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター
【質問13】 意欲の高まり この科目を受講して、講義内容を更に詳しく学びたいと思いますか？	大いに思う	5	34.1%	36.7%	32.8%	33.0%	36.5%	33.8%	32.1%
	やや思う	4	38.9%	33.9%	37.5%	39.5%	42.7%	41.8%	35.6%
	どちらともいえない	3	19.6%	22.0%	21.3%	19.8%	16.7%	17.7%	21.5%
	あまり思わない	2	5.4%	4.8%	6.3%	5.6%	2.9%	5.2%	7.7%
	全く思わない	1	2.1%	2.6%	2.2%	2.1%	1.2%	1.5%	3.1%
	計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表3－（4）－⑥－2　学生による授業評価アンケート（前期）＜意欲の高まり＞回答の割合

	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター
【質問13】 意欲の高まり この科目を受講して、講義内容を更に詳しく学びたいと思いますか？	大いに思う	5	34.7%	38.4%	34.5%	34.4%	34.4%	33.4%	34.8%
	やや思う	4	40.4%	32.9%	39.8%	41.1%	43.5%	44.3%	37.7%
	どちらともいえない	3	18.5%	21.7%	18.1%	19.2%	16.8%	15.9%	20.2%
	あまり思わない	2	4.8%	5.3%	5.2%	3.7%	3.9%	4.8%	5.5%
	全く思わない	1	1.7%	1.6%	2.4%	1.7%	1.3%	1.7%	1.8%
	計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

⑦ 【質問 14】学修の成果について

「学修の成果」については、すべての学部・センターにおいて前後期とも 4.0 以上で評価されており、学生の高い自己評価となっている。最高評価（回答の 5）の割合は、経済学部が最も高く（前期 38.2%、後期 38.7%）、他学部・センターではおよそ 30%台であった（表 3－（4）－⑦－1、表 3－（4）－⑦－2）。

ただ、ほとんどの学部で「大いに思う」ではなく「やや思う」という回答が最も多かった。もう一歩の努力が学生および教員に求められる。

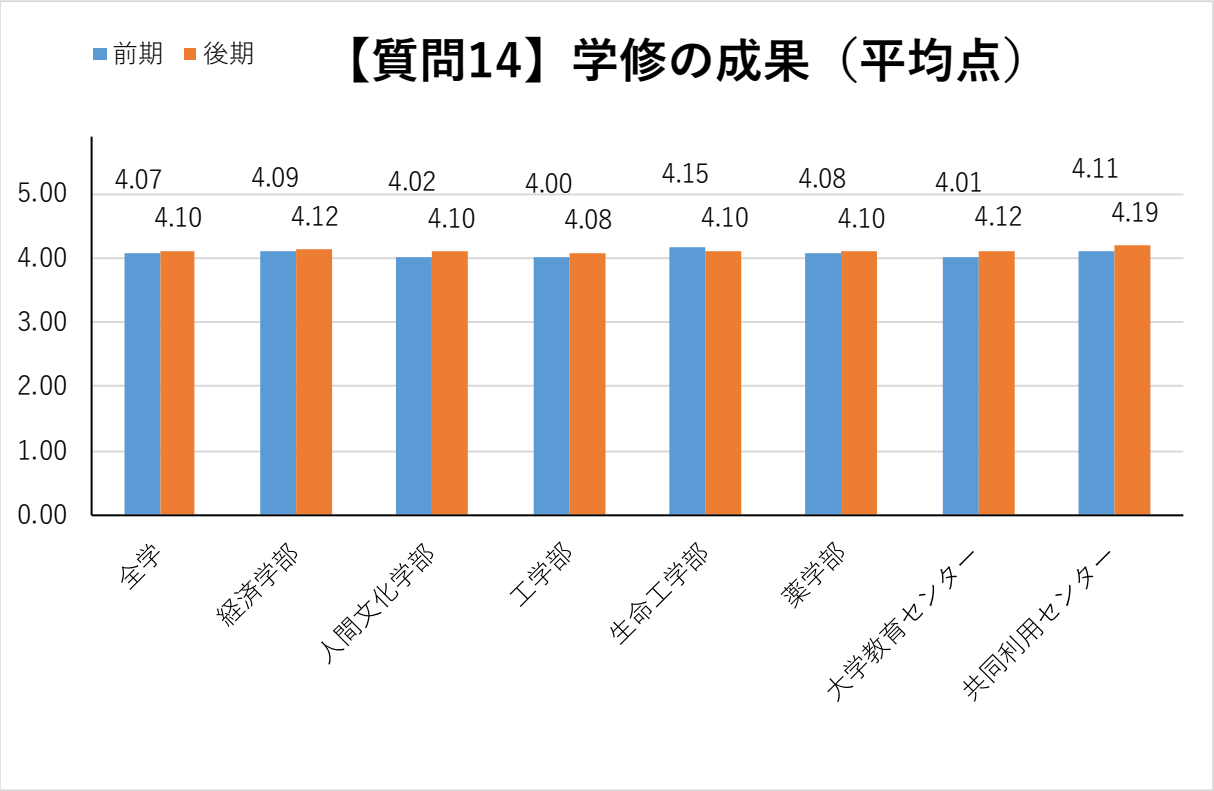

表3－（4）－⑦－1　学生による授業評価アンケート（前期）＜学修の成果＞回答の割合

	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
【質問14】学修の成果 この科目であなたが得た成果を５段階で自己評価してください。	大いに思う	5	33.1%	38.2%	31.6%	28.6%	33.1%	33.0%	33.0%	34.4%
	やや思う	4	45.8%	40.3%	44.3%	49.1%	51.4%	47.1%	42.3%	45.5%
	どちらともいえない	3	16.7%	16.3%	19.8%	17.5%	13.5%	15.5%	19.1%	18.2%
	あまり思わない	2	3.1%	3.2%	3.0%	3.5%	1.7%	3.4%	4.1%	0.8%
	全く思わない	1	1.2%	2.0%	1.2%	1.3%	0.4%	1.0%	1.5%	1.2%
	計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表3－（4）－⑦－1　学生による授業評価アンケート（後期）＜学修の成果＞回答の割合

	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
【質問14】学修の成果 この科目であなたが得た成果を５段階で自己評価してください。	大いに思う	5	33.9%	38.7%	35.1%	32.4%	31.7%	33.0%	34.4%	37.2%
	やや思う	4	46.8%	39.9%	45.0%	48.0%	50.2%	48.2%	46.6%	48.2%
	どちらともいえない	3	15.8%	17.1%	15.8%	16.2%	15.2%	15.1%	16.0%	12.6%
	あまり思わない	2	2.6%	3.2%	2.7%	2.4%	2.3%	2.7%	2.3%	0.5%
	全く思わない	1	0.9%	1.0%	1.4%	1.0%	0.6%	1.0%	0.7%	1.6%
	計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

4.　全学、学部・センターの全体総括

全学レベル、学部・センターレベルでの授業評価アンケート結果を分析すると、本学では全体的に以下の特徴が認められる。

(1) 学生による授業評価結果（質問 1～質問 7）

- 全学レベルにおいても学部・センターレベルにおいても、質問 1～質問 7 の各平均点は 4.0 以上である。
- 全学レベルにおいても学部・センターレベルにおいても、質問 1～質問 7 の平均点を平均した値（学生による総合的な授業評価）は、4.5 前後である。

以上の結果は、学生の授業に対する評価は、全体としては極めて高い状況にあることを示している。今後も、自己点検・評価を繰り返しながら、さらなる向上を目指して授業に取り組んでいきたい。

(2) 学生の自己点検（質問 8～14）

- 全学レベルにおいても学部・センターレベルにおいても、質問 8 の関連学習については平均点が 2.0 前後である。
- 全学レベルにおいても学部・センターレベルにおいても、質問 10 の出席状況については平均点が 4.3 以上である。
- 全学レベルにおいても学部・センターレベルにおいても、質問 12 の質問への積極性については、他の質問に比べて平均点が低い傾向にある。
- その他の質問項目については、平均点は 4.0 前後であり、おおむね良好である。

以上の結果は、授業には真面目に出席しているものの、質問への積極性にはやや欠けるという本学の学生像を示している。質問への積極性に関しては、教員がハード面（ICT を用いた質問方法の工夫等）やソフト面（学生と教員の距離感を近づけるコミュニケーションの工夫等）の両方を通して、より質問しやすい環境づくりをすることが必要である。

全体的には、おおむね良好ではあるものの、関連学習に関しては改善が必要である。課題レポート、小テスト、e-Learning、反転授業等、授業外での学修を促す手段はあるが、一方、学科によっては授業数・授業コマ数が多すぎて、学生が関連学習まで手が回らない可能性も考えられる。この問題解決には、各教員による授業の工夫に加えて、カリキュラムの精査も必要かもしれない。

学科・センターレベルの詳細な分析と総括は、「5.　学科の授業評価アンケート結果（p.30～33）」および「6. 学科、センターの個別総括（p.33～75）」を参照いただきたい。今後も、学科・センターレベルの授業改善を通して、全学的な授業の向上を目指していきたい。

5. 学科の授業評価アンケート結果

（1）学科の集計結果一覧

学科の前期集計結果を表 5－（1）－1、表 5－（1）－2 に、後期集計結果を表 5－（1）－3、表 5－（1）－4 に示す。なお、全学の各種値は、各センターと RI 室を含めた値のため、本表の全学科の合計値とは一致していない。

表5－(1)－1 【前期・学科】平成30年度授業評価アンケート集計結果（質問1～7）

		係数	全学	経済学科	国際経済学科	税務会計学科	心理学科	人間文化学科	メディア・映像学科	スマートシステム学科	建築学科	情報工学科	機械システム工学科	生物工学科	生命栄養科学科	海洋生物科学科	薬学科
受講者数			29135	3115	1366	1043	1104	1392	852	671	1317	600	468	832	921	1871	8931
回答者数			16861	1453	665	448	613	659	577	426	978	357	319	737	503	1222	4859
回答率			57.9%	46.6%	48.7%	43.0%	55.5%	47.3%	67.7%	63.5%	74.3%	59.5%	68.2%	88.6%	54.6%	65.3%	54.4%
【質問1】 授業準備 授業の準備が適切になされていると思いますか？	適切である	5	11406	958	467	299	428	435	405	255	616	224	200	456	338	898	3357
	ほぼ適切である	4	4084	341	140	104	141	157	135	121	287	94	78	242	130	270	1167
	どちらとも言えない	3	1061	113	45	38	35	49	26	40	64	35	25	39	28	48	250
	やや不適切である	2	226	25	11	3	6	17	7	5	11	4	9	0	6	6	64
	不適切である	1	84	16	2	4	3	1	4	5	0	0	7	0	1	0	21
	平均点		4.57	4.51	4.59	4.54	4.61	4.53	4.61	4.45	4.54	4.51	4.43	4.57	4.59	4.69	4.60
【質問2】 話し方 教員の話し方は明瞭ですか？	聞き取りやすい	5	9763	840	423	265	376	356	370	220	525	221	141	418	275	745	2764
	ほぼ聞き取りやすい	4	4642	354	146	108	158	173	157	134	310	86	99	247	168	359	1399
	どちらとも言えない	3	1491	150	59	40	46	67	34	51	97	34	40	53	45	87	389
	やや聞き取りにくい	2	742	71	29	24	28	49	13	15	35	14	31	18	13	27	236
	大変聞き取りにくい	1	223	38	8	11	5	14	3	6	11	2	8	1	2	4	71
	平均点		4.36	4.30	4.42	4.32	4.42	4.23	4.52	4.28	4.33	4.43	4.05	4.44	4.39	4.48	4.35
【質問3】 計画性 授業はシラバス通りに行われていますか？	行われている	5	9023	846	441	267	363	356	328	207	609	188	160	339	244	698	2284
	ほぼ行われている	4	3293	299	119	102	115	174	128	112	242	73	67	205	98	295	696
	どちらとも言えない	3	950	141	49	30	35	43	44	37	66	18	24	48	24	52	144
	やや異なっている	2	187	27	9	7	7	17	3	11	9	1	6	6	4	3	32
	全く異なっている	1	70	17	2	0	1	3	2	4	0	0	2	3	3	0	17
	シラバスを読んでいない	–	3338	123	45	42	92	66	72	55	52	77	60	136	130	174	1686
	平均点		4.55	4.45	4.59	4.55	4.60	4.46	4.54	4.37	4.57	4.60	4.46	4.45	4.54	4.61	4.64
【質問4】 授業時間 授業をあまりに遅く始めたり、早く終わったりしないで、90分間の授業時間を守っていますか？	守っている	5	12286	1027	509	293	475	453	399	275	664	257	212	504	361	943	3756
	ほぼ守っている	4	3631	300	118	124	110	158	153	116	260	75	73	208	119	241	929
	どちらとも言えない	3	687	83	26	21	24	38	20	28	43	24	12	21	14	33	130
	やや守っていない	2	164	28	9	8	2	6	3	2	11	1	12	4	6	2	22
	守っていない	1	93	15	3	2	2	4	2	5	0	0	10	0	3	3	22
	平均点		4.65	4.58	4.69	4.56	4.72	4.59	4.64	4.54	4.61	4.65	4.46	4.64	4.65	4.73	4.72
【質問5】 講義の工夫 教員は、科目内容を理解しやすくするように工夫していると思いますか？	思う	5	9470	805	418	261	362	349	347	190	516	162	147	370	275	791	2703
	やや思う	4	4885	376	140	112	164	204	172	150	313	115	113	280	151	319	1453
	どちらとも言えない	3	1760	182	79	59	62	73	35	57	107	62	29	71	56	88	483
	あまり思わない	2	542	58	19	9	18	27	14	22	34	14	22	13	18	19	159
	全く思わない	1	204	32	9	7	7	6	9	7	8	4	8	3	3	5	61
	平均点		4.36	4.28	4.41	4.36	4.40	4.31	4.45	4.16	4.32	4.17	4.16	4.36	4.35	4.53	4.35
【質問6】 質問への誠意 教員は、あなたの質問に誠意をもって答えていますか？	誠意をもって答える	5	6287	689	394	238	275	267	248	138	350	140	121	212	183	529	1152
	ほぼ誠意をもって答える	4	2059	232	79	69	74	103	108	64	157	45	41	101	65	162	355
	どちらとも言えない	3	991	122	40	48	32	50	39	35	76	26	24	43	19	66	160
	やや誠意が感じられない	2	152	38	8	5	2	5	3	12	14	1	6	3	1	3	29
	誠意が感じられない	1	82	14	3	1	1	2	1	1	7	1	8	1	1	0	22
	質問したことがない	-	7290	358	141	87	229	232	178	176	374	144	119	377	234	462	3141
	平均点	4.50	4.50	4.41	4.63	4.49	4.61	4.47	4.50	4.30	4.37	4.51	4.31	4.44	4.59	4.60	4.51
【質問7】 講義の満足度 この科目に対する総合的なあなたの満足度を5段階で示してください	満足	5	7552	698	369	214	279	270	273	142	389	138	102	293	195	641	2147
	ほぼ満足	4	6088	455	179	141	207	256	218	177	411	126	135	335	204	471	1797
	どちらとも言えない	3	2480	205	87	80	103	108	64	80	138	73	62	99	93	84	705
	やや不満である	2	525	60	24	8	18	18	14	18	34	17	14	9	11	23	150
	不満である	1	216	35	6	5	6	7	8	9	6	3	6	1	0	3	60
	平均点		4.20	4.18	4.32	4.23	4.20	4.16	4.27	4.00	4.17	4.06	3.98	4.23	4.16	4.41	4.20
【質問1】～【質問7】の平均			4.46	4.39	4.52	4.44	4.51	4.39	4.50	4.30	4.42	4.42	4.26	4.45	4.47	4.58	4.48

表5－(1)－2 【前期・学科】平成30年度授業評価アンケート集計結果（質問8～14）

		係数	全学	経済学科	国際経済学科	税務会計学科	心理学科	人間文化学科	メディア・映像学科	スマートシステム学科	建築学科	情報工学科	機械システム工学科	生物工学科	生命栄養科学科	海洋生物科学科	薬学科
受講者数			29135	3115	1366	1043	1104	1392	852	671	1317	600	468	832	921	1871	8931
回答者数			16861	1453	665	448	613	659	577	426	978	357	319	737	503	1222	4859
回答率			57.9%	46.6%	48.7%	43.0%	55.5%	47.3%	67.7%	63.5%	74.3%	59.5%	68.2%	88.6%	54.6%	65.3%	54.4%
【質問8】 関連学習 この授業に関して、1回の講義あたり平均してどのくらい予習・復習、あるいは関連の学習をしましたか？	3時間以上	5	862	143	123	41	31	22	33	22	61	8	11	6	18	29	210
	2～3時間未満	4	935	113	45	31	48	39	55	15	56	16	9	30	29	40	296
	1～2時間未満	3	2890	243	123	80	159	128	104	59	168	52	31	111	82	168	877
	30分～1時間未満	2	4877	380	134	130	174	177	177	143	276	112	102	290	128	429	1304
	30分未満	1	7297	574	240	166	201	293	208	187	417	169	166	300	246	556	2172
	平均点		2.00	2.22	2.51	2.22	2.24	1.97	2.18	1.92	2.05	1.83	1.74	1.85	1.90	1.82	1.98
【質問9】 集中力 授業中に私語、居眠り、携帯電話の操作、あるいは別のことを考えることなどはありますか？	全くない	5	5673	505	236	149	136	161	131	102	239	75	60	197	178	336	2098
	ほとんどない	4	6455	507	227	153	236	238	238	174	406	147	128	330	216	521	1896
	どちらとも言えない	3	3020	305	140	94	143	153	122	100	201	85	85	146	75	242	549
	しばしばある	2	1409	106	52	39	90	94	67	38	99	39	39	55	32	118	252
	毎回ある	1	304	30	10	13	8	13	19	12	33	11	7	9	2	5	64
	平均点		3.94	3.93	3.94	3.86	3.66	3.67	3.68	3.74	3.74	3.66	3.61	3.88	4.07	3.87	4.18
【質問10】 出席状況 授業には特別な事情（公認欠席、忌引きなど）を除き、出席していますか？	全出席	5	11405	709	336	251	419	413	386	259	525	182	192	436	411	685	4231
	ほぼ出席	4	3854	525	213	128	136	172	131	113	281	125	96	200	80	368	513
	ときどき欠席する	3	1146	159	85	47	44	58	40	39	125	29	21	57	10	129	90
	やや欠席が多い	2	322	45	24	19	11	9	14	11	33	16	7	36	1	22	13
	欠席が大変多い	1	134	15	7	3	3	7	6	4	14	5	3	8	1	18	12
	平均点		4.55	4.29	4.27	4.35	4.56	4.48	4.52	4.44	4.30	4.30	4.46	4.38	4.79	4.37	4.84
【質問11】 知識の深まり この科目を受講して、あなたの知識は深まっていますか？	大いに深まっている	5	6485	545	296	163	252	220	217	116	403	116	90	208	166	588	1933
	やや深まっている	4	7440	582	232	188	258	288	270	194	437	163	151	417	267	525	2200
	どちらとも言えない	3	2243	244	106	72	80	117	73	84	104	59	57	86	58	92	555
	あまり深まっていない	2	532	56	21	20	16	28	14	24	27	19	17	21	10	14	136
	全く深まっていない	1	161	26	10	5	7	6	3	8	7	0	4	5	2	3	35
	平均点		4.16	4.08	4.18	4.08	4.19	4.04	4.19	3.91	4.23	4.05	3.96	4.09	4.16	4.38	4.21
【質問12】 質問への積極性 授業内容について、質問したいと思うことはありますか？また、実際に質問しますか？	学修が十分進んでおり、質問の必要がない	5	5337	532	256	148	200	250	201	123	289	104	83	199	103	426	1344
	しばしば質問する	4	1793	213	98	68	74	60	87	44	105	39	43	45	58	154	315
	ときどき質問する	3	2789	261	118	97	110	129	112	77	159	67	61	111	94	242	565
	質問はあるが、ほとんど質問していない	2	5571	396	172	115	200	182	162	159	382	123	111	327	182	334	1922
	学修に取り組んでいないため、質問すべきことがみつからない	1	1371	51	21	20	29	38	15	23	43	24	21	55	66	66	713
	平均点		3.25	3.54	3.60	3.47	3.35	3.46	3.51	3.20	3.22	3.21	3.18	3.01	2.90	3.44	2.93
【質問13】 意欲の高まり この科目を受講して、講義内容を更に詳しく学びたいと思いますか？	大いに思う	5	5753	494	294	153	230	202	174	98	378	122	88	198	140	560	1640
	やや思う	4	6551	509	190	171	200	236	257	185	375	122	140	346	234	471	2031
	どちらとも言えない	3	3302	329	138	97	133	153	107	96	166	78	71	156	106	150	858
	あまり思わない	2	903	72	30	22	36	54	26	34	46	26	11	20	19	33	255
	全く思わない	1	352	49	13	5	14	14	13	13	13	9	9	17	4	8	75
	平均点		3.98	3.91	4.09	3.99	3.97	3.85	3.96	3.75	4.08	3.90	3.90	3.93	3.97	4.26	4.01
【質問14】 学修の成果 この科目であなたが得た成果を5段階で自己評価してください。	十分に成果はあがっている	5	5588	528	295	156	217	199	169	102	309	97	86	198	119	497	1604
	少し成果はあがっている	4	7727	596	245	194	256	290	273	209	500	160	153	393	283	590	2290
	どちらとも言えない	3	2813	250	95	74	117	138	112	84	142	79	59	125	85	122	751
	あまり成果はあがっていない	2	529	46	19	17	16	21	18	20	18	16	18	15	14	12	166
	全く成果はあがっていない	1	204	33	11	7	7	11	5	11	9	5	3	6	2	1	48
	平均点		4.07	4.06	4.19	4.06	4.08	3.98	4.01	3.87	4.11	3.92	3.94	4.03	4.00	4.28	4.08
【質問8】～【質問14】の平均			3.70	3.72	3.83	3.72	3.72	3.63	3.72	3.55	3.67	3.55	3.54	3.60	3.68	3.78	3.75

表5－(1)－3 【後期・学科】平成30年度授業評価アンケート集計結果（質問1～7）

		係数	全学	経済学科	国際経済学科	税務会計学科	心理学科	人間文化学科	メディア・映像学科	スマートシステム学科	建築学科	情報工学科	機械システム工学科	生物工学科	生命栄養科学科	海洋生物科学科	薬学科
受講者数			25645	2637	861	1182	1483	855	568	493	1395	598	546	986	738	2035	7064
回答者数			13138	1093	440	380	564	374	339	212	849	278	319	703	437	1252	3393
回答率			51.2%	41.4%	51.1%	32.1%	38.0%	43.7%	59.7%	43.0%	60.9%	46.5%	58.4%	71.3%	59.2%	61.5%	48.0%
【質問1】 授業準備 授業の準備が適切になされていると思いますか？	適切である	5	9035	735	304	279	372	264	255	133	602	188	195	473	250	837	2392
	ほぼ適切である	4	3195	262	99	83	138	83	65	66	205	65	100	187	130	336	790
	どちらとも言えない	3	699	72	31	13	40	22	16	11	27	16	20	34	41	66	158
	やや不適切である	2	146	13	4	5	12	2	0	2	11	5	3	7	12	9	41
	不適切である	1	63	11	2	0	2	3	3	0	4	4	1	2	4	4	12
	平均点		4.60	4.55	4.59	4.67	4.54	4.61	4.68	4.56	4.64	4.54	4.52	4.60	4.40	4.59	4.62
【質問2】 話し方 教員の話し方は明瞭ですか？	聞き取りやすい	5	7867	619	279	249	329	252	233	110	531	164	174	421	208	712	1996
	ほぼ聞き取りやすい	4	3703	292	103	86	166	83	89	75	241	76	97	214	144	404	993
	どちらとも言えない	3	1003	113	35	29	43	27	14	24	49	26	32	50	46	83	235
	やや聞き取りにくい	2	442	49	17	11	15	9	3	1	25	10	13	15	34	45	140
	大変聞き取りにくい	1	123	20	6	5	11	3	0	2	3	2	3	3	5	8	29
	平均点		4.43	4.32	4.44	4.48	4.40	4.53	4.63	4.37	4.50	4.40	4.34	4.47	4.18	4.41	4.41
【質問3】 計画性 授業はシラバス通りに行われていますか？	行われている	5	7256	620	270	248	312	235	207	117	600	178	170	357	203	696	1643
	ほぼ行われている	4	2704	250	95	78	135	65	64	53	183	62	60	167	116	335	494
	どちらとも言えない	3	704	85	25	18	35	28	21	21	26	18	28	36	30	58	107
	やや異なっている	2	137	21	5	4	17	3	2	11	5	5	2	7	2	6	25
	全く異なっている	1	45	4	1	1	7	1	1	0	2	0	2	2	1	1	12
	シラバスを読んでいない	－	2292	113	44	31	58	42	44	10	33	15	57	134	85	156	1112
	平均点		4.57	4.49	4.59	4.63	4.44	4.60	4.61	4.37	4.68	4.57	4.50	4.53	4.47	4.57	4.64
【質問4】 授業時間 授業をあまりに遅く始めたり、早く終わったりしないで、90分間の授業時間を守っていますか？	守っている	5	9581	762	344	288	403	280	255	149	625	199	224	513	281	907	2584
	ほぼ守っている	4	2895	259	77	75	135	75	68	42	194	67	73	169	125	296	668
	どちらとも言えない	3	477	54	14	13	16	13	11	15	25	10	12	17	23	39	85
	やや守っていない	2	133	12	4	3	10	4	4	3	3	1	6	3	7	7	39
	守っていない	1	52	6	1	1	0	2	1	3	2	1	4	1	1	3	17
	平均点		4.66	4.61	4.73	4.70	4.65	4.68	4.69	4.56	4.69	4.66	4.59	4.69	4.55	4.67	4.70
【質問5】 講義の工夫 教員は、科目内容を理解しやすくするように工夫していると思いますか？	思う	5	7688	630	270	236	314	242	225	111	521	149	166	384	194	695	1978
	やや思う	4	3823	291	103	105	179	88	87	69	242	78	112	235	141	412	1016
	どちらとも言えない	3	1150	113	48	29	46	33	23	24	60	35	28	60	64	112	272
	あまり思わない	2	360	40	11	7	16	6	3	5	21	10	12	22	32	26	100
	全く思わない	1	117	19	8	3	9	5	1	3	5	6	1	2	6	7	27
	平均点		4.42	4.35	4.40	4.48	4.37	4.49	4.57	4.32	4.48	4.27	4.35	4.39	4.11	4.41	4.42
【質問6】 質問への誠意 教員は、あなたの質問に誠意をもって答えていますか？	誠意をもって答える	5	5167	552	256	214	234	195	186	77	377	120	118	226	143	503	762
	ほぼ誠意をもって答える	4	1711	165	55	59	87	54	34	30	129	28	45	130	65	185	235
	どちらとも言えない	3	756	104	29	25	34	24	22	28	42	18	18	48	30	67	118
	やや誠意が感じられない	2	101	11	5	2	7	3	6	5	6	8	6	3	3	7	13
	誠意が感じられない	1	55	9	1	1	6	0	1	0	1	2	4	2	1	4	14
	質問したことがない	-	5348	252	94	79	196	98	90	72	294	102	128	294	195	486	2251
	平均点		4.52	4.47	4.62	4.60	4.46	4.60	4.60	4.28	4.58	4.45	4.40	4.41	4.43	4.54	4.50
【質問7】 講義の満足度 この科目に対する総合的なあなたの満足度を5段階で示してください	満足	5	6242	542	243	210	250	200	186	81	420	118	122	291	152	606	1527
	ほぼ満足	4	4773	357	108	109	198	127	106	85	312	103	138	300	147	478	1354
	どちらとも言えない	3	1701	144	69	54	87	34	39	41	91	46	46	92	112	132	406
	やや不満である	2	297	35	15	6	18	7	6	1	19	6	8	15	16	33	71
	不満である	1	125	15	5	1	11	6	2	4	7	5	5	5	10	3	35
	平均点		4.27	4.26	4.29	4.37	4.17	4.36	4.38	4.12	4.32	4.16	4.14	4.22	3.95	4.32	4.26
【質問1】～【質問7】の平均			4.49	4.44	4.52	4.56	4.43	4.55	4.59	4.37	4.55	4.44	4.41	4.47	4.30	4.50	4.51

表5－(1)－4 【後期・学科】平成30年度授業評価アンケート集計結果（質問8～14）

		係数	全学	経済学科	国際経済学科	税務会計学科	心理学科	人間文化学科	メディア・映像学科	スマートシステム学科	建築学科	情報工学科	機械システム工学科	生物工学科	生命栄養科学科	海洋生物科学科	薬学科
受講者数			25645	2637	861	1182	1483	855	568	493	1395	598	546	986	738	2035	7064
回答者数			13138	1093	440	380	564	374	339	212	849	278	319	703	437	1252	3393
回答率			51.2%	41.4%	51.1%	32.1%	38.0%	43.7%	59.7%	43.0%	60.9%	46.5%	58.4%	71.3%	59.2%	61.5%	48.0%
【質問8】 関連学習 この授業に関して、1回の講義あたり平均してどのくらい予習・復習、あるいは関連の学習をしましたか？	3時間以上	5	687	107	47	35	26	13	25	4	55	14	13	18	15	34	170
	2～3時間未満	4	697	85	44	34	24	22	28	5	31	3	12	20	17	52	202
	1～2時間未満	3	2066	190	95	65	92	92	76	45	96	47	60	89	59	179	520
	30分～1時間未満	2	3880	291	112	117	131	115	94	67	251	97	112	249	137	430	895
	30分未満	1	5808	420	142	129	291	132	116	91	416	117	122	327	209	557	1606
	平均点		1.98	2.24	2.41	2.29	1.87	2.11	2.27	1.89	1.89	1.92	2.00	1.80	1.84	1.86	1.95
【質問9】 集中力 授業中に私語、居眠り、携帯電話の操作、あるいは別のことを考えることなどはありますか？	全くない	5	4422	376	142	136	124	87	92	60	223	71	77	212	167	367	1508
	ほとんどない	4	5044	405	148	122	198	140	133	89	322	120	115	319	174	567	1295
	どちらとも言えない	3	2211	209	97	84	122	73	55	42	172	62	74	102	54	223	358
	しばしばある	2	1170	81	42	29	94	62	50	16	105	22	38	66	40	87	163
	毎回ある	1	291	22	11	9	26	12	9	5	27	3	15	4	2	8	69
	平均点		3.92	3.94	3.84	3.91	3.53	3.61	3.73	3.86	3.72	3.84	3.63	3.95	4.06	3.96	4.18
【質問10】 出席状況 授業には特別な事情（公認欠席、忌引きなど）を除き、出席していますか？	全出席	5	8033	542	188	197	308	221	191	126	415	134	183	371	332	590	2788
	ほぼ出席	4	3616	398	164	138	172	101	104	59	285	99	86	229	77	419	533
	ときどき欠席する	3	1030	116	61	29	60	44	32	16	98	29	35	63	21	152	55
	やや欠席が多い	2	327	24	17	10	22	7	9	9	35	14	12	31	4	58	13
	欠席が大変多い	1	132	13	10	6	2	1	3	2	16	2	3	9	3	33	4
	平均点		4.45	4.31	4.14	4.34	4.35	4.43	4.39	4.41	4.23	4.26	4.36	4.31	4.67	4.18	4.79
【質問11】 知識の深まり この科目を受講して、あなたの知識は深まっていますか？	大いに深まっている	5	5102	437	195	158	184	156	158	66	368	100	98	255	140	512	1297
	やや深まっている	4	5955	433	171	143	271	169	131	106	382	111	167	340	206	578	1624
	どちらとも言えない	3	1631	164	55	70	82	37	39	31	76	56	42	82	72	133	363
	あまり深まっていない	2	335	43	14	7	17	6	9	6	19	8	11	23	15	24	83
	全く深まっていない	1	115	16	5	2	10	6	2	3	4	3	1	3	4	5	26
	平均点		4.19	4.13	4.22	4.18	4.07	4.24	4.28	4.07	4.29	4.07	4.10	4.17	4.06	4.25	4.20
【質問12】 質問への積極性 授業内容について、質問したいと思うことはありますか？また、実際に質問しますか？	学修が十分進んでおり、質問の必要がない	5	4373	416	157	138	205	120	134	60	323	93	99	217	81	440	986
	しばしば質問する	4	1480	164	66	75	69	68	51	18	86	28	48	57	55	130	248
	ときどき質問する	3	2052	180	83	71	83	81	66	41	136	52	62	94	71	218	321
	質問はあるが、ほとんど質問していない	2	4195	295	114	78	168	87	77	82	265	99	96	276	178	398	1289
	学修に取り組んでいないため、質問すべきことがみつからない	1	1038	38	20	18	39	18	11	11	39	6	14	59	52	66	549
	平均点		3.30	3.57	3.51	3.62	3.41	3.49	3.65	3.16	3.46	3.37	3.38	3.14	2.85	3.38	2.95
【質問13】 意欲の高まり この科目を受講して、講義内容を更に詳しく学びたいと思いますか？	大いに思う	5	4555	395	189	151	166	133	142	65	333	88	84	229	115	480	1132
	やや思う	4	5310	362	134	134	220	162	126	94	332	120	135	309	185	546	1503
	どちらとも言えない	3	2425	251	84	81	112	58	61	42	138	57	81	124	105	174	539
	あまり思わない	2	625	64	25	12	44	15	7	7	31	7	16	31	25	37	163
	全く思わない	1	223	21	8	2	22	6	3	4	15	6	3	10	7	15	56
	平均点		4.02	3.96	4.07	4.11	3.82	4.07	4.17	3.99	4.10	4.00	3.88	4.02	3.86	4.15	4.03
【質問14】 学修の成果 この科目であなたが得た成果を5段階で自己評価してください。	十分に成果はあがっている	5	4456	410	181	149	175	133	140	53	311	93	80	222	101	436	1120
	少し成果はあがっている	4	6144	434	177	153	259	174	142	110	399	118	169	358	211	632	1634
	どちらとも言えない	3	2082	200	61	67	99	55	48	39	115	59	56	101	105	157	514
	あまり成果はあがっていない	2	337	34	19	9	18	7	9	4	18	6	12	18	16	21	92
	全く成果はあがっていない	1	119	15	2	2	13	5	0	6	6	2	2	4	4	6	33
	平均点		4.10	4.09	4.17	4.15	4.00	4.13	4.22	3.94	4.17	4.06	3.98	4.10	3.89	4.17	4.10
【質問8】～【質問14】の平均			3.71	3.75	3.77	3.80	3.58	3.73	3.82	3.62	3.69	3.64	3.62	3.64	3.60	3.71	3.74

6. 学科、センターの個別総括

平成 30 年度の授業評価アンケートついて、学科長・センター長が総括し、報告書を作成した。今後、この自己点検・評価を基に、さらなる授業改善が期待される。

① 経済学部経済学科

平成 31 年 3 月 6 日

大学教育センター
大塚　豊　センター長　殿

経済学部経済学科
学科長　　早川　達二

平成 30 年度「学生による授業評価アンケート」の集計結果を踏まえ、本学科の授業とその成果について点検したので報告いたします。

【1】 実施期間　前期：平成 30 年 6 月 25 日（月）～平成 30 年 7 月 14 日（土）
後期：平成 30 年 12 月 17 日（月）～平成 31 年 1 月 12 日（土）

【2】 対象科目の選定

本学に勤務する教員（非常勤講師を含む）1 人当たり前期・後期のいずれも 2 科目（原則、実習、演習を除く）のアンケートを実施する方針に従い、経済学科では前期 37 科目、後期 29 科目について調査を行った。

【3】 アンケート調査内容

アンケート調査の設問項目は、教員の授業評価に関する 7 項目、学生自身の学習点検に関する 7 項目、合計 14 項目について調査した。各設問に対する回答は、設問項目を強く肯定する回答から強く否定する回答までの 5 つの選択肢より選択することとした。

【4】 調査結果の集計

アンケート調査および集計は Cerezo を利用して行った。

【5】 調査結果に対する点検

◇「授業評価アンケート」について

評価結果の分析：教員の授業評価に関する 7 項目は、教員の授業技術的設問と講義内容の妥当性を問う設問で構成されている。経済学科の教員の板書、話し方、計画性等の授業技術は十分に高いレベルを有していると判断できる。

分析結果を踏まえた改善方策：経済学科の教員の授業技術について、学生は標準以上の評価をしているが、今後も改善努力を継続する予定ある。全般的に評価が高くても、常に改善の余地が存在する。

◇「学生の自己点検」について

点検結果の分析：多くの科目で 「関連学習の準備」の自己評価が顕著に低くなっている。学生の自己点検の部分にはまだ改善の余地があると言える。

分析結果を踏まえた改善方策 : 全学的に取り組んでいる準備学習の充実への努力を継続する必要がある。また、学生に対してアルバイトの時間が過多にならないように指導して、準備学習のための時間とエネルギーを確保することが肝要である。

【6】　教員へのフィードバックについて

アンケート集計結果は、学科教員全員に対して全ての集計結果をフィードバックしている。対象科目担当教員には、それを基に授業アンケート実施報告書の提出を求めた。

【7】　学生へのフィードバックについて

学生に対するフィードバックは講義最終回、定期試験実施時、または Cerezo を通じて当該授業科目担当教員が行った。その詳細を提出された報告書に記載している。

【8】　学科教員からの提案、意見

各教員より提出された授業アンケート実施報告書（添付）より、有用な提案や提起された問題を以下に要約する。

＜意見・提案＞

(1) 学生の反応に合わせた改善に努め、学生の満足度を高めていきたいが、学内業務の負担過多によって、教員の時間の余裕も限られている。
(2) 集中力に関しては後ろの方に座っている学生の多くがスマホを見ており、注意しても一時スマホから目を離すのみである。これをどのように改善するかを考えているが正解が見つからない。座席指定により改善できる余地はある。
(3) 授業開始当初と、授業終了前での「学生ができるようになったこと」の比較を明確にできれば、より学生の学習意欲を引き出せるのではないかと思われる。

【9】　総　括

今回のアンケート調査では、本学科における授業の実施と学生の学修成果の実態を表す結果が得られたと考えている。上述のように、授業改善に向けた課題も明らかになった。一般に、アンケートの評点は非常に高いので、改善点を見つけにくい面もある。評点にもっとメリハリがあった方が、授業改善のためには効果的なアンケートとなる。

② 経済学部国際経済学科

平成 31 年 2 月 28 日

大学教育センター
大塚　豊　センター長　殿

経済学部国際経済学科
学科長　　足立　浩一

【1】 実施期間　前期：平成 30 年 6 月 25 日（月）～平成 30 年 7 月 14 日（土）
後期：平成 30 年 12 月 17 日（月）～平成 31 年 1 月 12 日（土）

【2】 対象科目の選定

本学に勤務する教員（非常勤講師を含む）1 人当たり前期・後期のいずれも 2 科目（原則、実習、演習を除く）のアンケートを実施する方針に従い、国際経済学科では前期 21 科目、後期 17 科目について調査を行った。

【3】 アンケート調査内容

アンケート調査の設問項目は、教員の授業評価に関する 7 項目、学生自身の学習点検に関する 7 項目、合計 14 項目について調査した。各設問に対する回答は、設問項目を強く肯定する回答から強く否定する回答までの 5 つの選択肢より選択することとした。

【4】 調査結果の集計

アンケート調査および集計は Cerezo を利用して行った。

【5】 調査結果に対する点検

◇「授業評価アンケート」について

評価結果の分析：国際経済学科全体の評価としては、前期は質問 9「集中力」質問 10「出席状況」以外の質問については、全学平均よりも高かった。一方、後期に関しては、質問 1「授業準備」質問 5「講義の工夫」質問 9「集中力」質問 10「出席状況」が全学平均よりも低いという結果となった。質問 7「講義の満足度」は前期 4.32、後期 4.29 といずれも高いポイントとなった。回答人数の少ない授業において高い評価を受ける傾向が強く、また、回答率が 50%を切る科目が存在するため、学生への回答依頼を徹底する必要がある。

◇「学生の自己点検」について

点検結果の分析： 質問 13「意欲の高まり」や質問 14「学修の成果」では全学及び経済学部平均を上回っており、学生に一定の評価を受けている。一方で、前後期ともに質問 9「集中力」質問 10「出席状況」のポイントが全学に比べて低い。毎年の課題ではあるが、学生に授業に集中させる方策が必要である。

分析結果を踏まえた改善方策： 集中力と出席状況が低いのは、学生の「やる気」が低いということで

ある。国際経済学科単独の授業の場合は、受講学生数はそれほど多くはないので、一方通行ではなく、双方向型の授業が可能なケースがある。双方向型にすることによって、授業中の集中力は高まると思われる。授業中の私語、居眠り、携帯電話などについては、学科教員が共通意識をもって注意していかなければならない。また、欠席 3 回以上の学生については教員間で情報共有をしているが、中には 5 回までは休めると考えている学生もいるので、意識を改革していかなければならない。

【6】 教員へのフィードバックについて

3 月の学科会議において学科の評価結果を共有し、授業の質向上に向けてディスカッションを行う予定である。

【7】 学生へのフィードバックについて

各教員が主に試験中やセレッソを通じて学生にフィードバックをしている。後期に関しては、集計結果を早くいただくことができたので、多くの授業で最後の授業でフィードバックすることができた。

【8】 学科教員からの提案、意見

各教員より提出された授業アンケート実施報告書（添付）より、有用な提案や提起された問題を以下に要約する。

＜意見・提案＞

(1) 引続き”双方向型””参加型”の授業を目指す。また、少し内容を軽減し、毎回提出を求める（出席カード兼）ワークシートの記入時間を確保し、授業内容の理解および興味の喚起に努めたい。
(2) 「知識の深まり」の結果が低いことについて、講義内容と重複する部分があることが影響していると考えられるため、他科目のシラバスを確認して内容重複を避ける対策が必要であると考えている。
(3) 質問受付の窓口としてのオフィスアワーを周知し、より質問がしやすい環境を作る。
(4) 基礎的国語力と集中力の欠如が学習成果の進展に向けての大きな阻害要因となっている。全学的な対応が必要と考えている。
(5) 授業中の対話や、課題提出を通じて理解と関心を深めさす。また、そのために映像等を取り入れた多面的な講義を行う。

【9】 総 括

アンケートの回答率は前期 48.7%、後期 51.1%と全学平均から比べても低い状況にある。回答率は教員によって格差があるため、回答率の低い教員には、アンケートと授業改善の重要性を理解してもらい、授業中のアンケート回答の徹底を促すことが必要である。ただし、ほとんど全員が出席している授業中にアンケート調査を実施したものの、前期に比べ大幅に回答率が低下した科目もあるとの報告を受けている。こうしたアンケートは学生にとって回数が多いため、慣れっこになっており、適当に回答するケースも見受けられる。そのため回答率が低くなったり高評価を得ているケースも多い。また、回答率の低い科目に関しては、モチベーションの高い学生のみが回答している場合があるので、客観的な評

価ができない。しかし、自由記述欄に記入している学生もいるので、そうした声を大事に拾い上げ、授業改善に役立てたい。

③　経済学部税務会計学科

平成 31 年 3 月 4 日

大学教育センター
大塚　豊　センター長　殿

経済部税務会計科
学科長　　小林　正和

【1】　実施期間　前期：平成 30 年 6 月 25 日（月）～平成 30 年 7 月 14 日（土）
後期：平成 30 年 12 月 17 日（月）～平成 31 年 1 月 12 日（土）

【2】　対象科目の選定

本学に勤務する教員（非常勤講師を含む）1 人当たり前期・後期のいずれも 2 科目（原則、実習、演習を除く）のアンケートを実施する方針に従い、税務会計学科では前期 19 科目、後期 17 科目について調査を行った。

【3】　アンケート調査内容

アンケート調査の設問項目は、教員の授業評価に関する 7 項目、学生自身の学習点検に関する 7 項目、合計 14 項目について調査した。各設問に対する回答は、設問項目を強く肯定する回答から強く否定する回答までの 5 つの選択肢より選択することとした。

【4】　調査結果の集計

アンケート調査および集計は Cerezo を利用して行った。

【5】　調査結果に対する点検

◇「授業評価アンケート」について

評価結果の分析：

＜前期＞

- 「質問 7 講義の満足度」では、全学（4.20）、経済学部（4.23）と比較して、税務会計学科は、4.11 と満足度が若干低いと考える。
- 「質問 1～7 の平均」は、全学（4.46）、経済学部（4.43）と比較して、税務会計学科は、4.35 と若干低いと考える。

＜後期＞

- 「質問 7 講義の満足度」では、全学（4.27）、経済学部（4.29）と比較して、税務会計学科は、4.37 と満足度が高くなっている。
- 「質問 1～7 の平均」は、全学（4.49）、経済学部（4.48）と比較して、税務会計学科は、4.56 と高くなっている。
- 前期と比べて後期は評価科目の結果が全学、学部と比較して高く、各教員が改善を行った結果良くなったのではないかと考える。

◇「学生の自己点検」について

点検結果の分析：

＜前期＞

・ 「質問 8～14 の平均」は、全学（3.71）、経済学部（3.75）と比較して、税務会計学科は、3.69 と若干低い。

＜後期＞

・ 「質問 8～14 の平均」は、全学（3.71）、経済学部（3.76）と比較して、税務会計学科は、3.80 と高いと考える。
・ 前期と比べて後期は評価科目の結果が全学、学部と比較して高く、各教員が改善を行った結果良くなったのではないかと考える。

分析結果を踏まえた改善方策：

・ 前期と比べて後期は、「授業評価アンケート」と「学生の自己点検」のどちらも評価科目が全学、学部と比較して高くなっている。各先生が前期で評価が低かった項目や講義内容を見直ししたため、後期では良くなったのではないかと考える。
・ このように評価を行い、全学、学部で比較することで、どこが良くて、どこが足りないのか各自理解できたと考える。
・ 改善方策としては、①事前学習を学生に課することで、講義に取り組み姿勢が生まれる、②ただ単に教えるのではなく、学生に質問をしたり、学生の興味を引くような内容の講義にすること、等が挙げられるのではないかと考える。

【6】 教員へのフィードバックについて

前期、後期とも教員へのフィードバックは、メールで各教員へ提出し、各先生から締切内に結果報告書を受け取っている。全員締切内に提出を行った。

【7】 学生へのフィードバックについて

前期、後期とも各教員が、授業時間内、定期試験内、セレッソで学生へのフィードバックを行っている。

【8】 学科教員からの提案、意見

各教員より提出された授業アンケート実施報告書より、有用な提案や提起された問題を以下に要約する。

＜提案＞

(1) 31 年度の講義では、本年のプリントから市販教科書をベースにする講義に変更する。これにより学習に必要十分な情報量を上積みできる。そのことで自己研鑽に期待する。
(2) 予習・復習時間を増加させるために、具体的に課題を出すようにしたい。
(3) 小テストの解説を工夫することで、自宅での関連学習への取り組みを促進させるように努めたい。
(4) 事前学習をすることにより、問題意識をもって授業に臨むことができるのみならず、積極的に質

問することにもつながると考えられるので、新年度、事前学習を取り入れる方針である。

(5) 予習復習の時間が少ないため、必要性を折に触れて喚起する。質問はあるがしていない者が多いので、教員から質問を増やし、学生に質問の仕方を学ばせる。

(6) 中間試験の実施やレポート提出などにより関連学習の時間を増やすとともに、授業後のリアクションペーパー記入の際に疑問点を記す項目を設けるなどして質問を促す。

(7) 授業ごとの予習・復習内容をレジュメ及びパワーポイントなどに明記し、関連学習を促進する。

＜意見＞

(1) 簿記という勉強は大学から携わる科目で、とても難しく感じましたが、授業を通して理解ができました。日商簿記 2 級を目標に頑張ります。

(2) 簿記ですが、一番最初に授業からある程度の知識がないと解けない問題がいきなり出てきたので、もう少し基礎的なところをやってほしいです。

(3) 簿記講義で、詳しく説明してくれてありがとうございます。

(4) 販売管理論で、いつも考えて授業を進めてくださり有難うございます。

【9】 総　括

前期と比べて後期は、「授業評価アンケート」と「学生の自己点検」のどちらも評価科目が全学、学部と比較して高くなっている。これは各教員が前期の評価を受けて改善を行った結果良くなったのではないかと考える。今後もこれらの評価科目について、さらに改善を行い、より良い講義を実施していきたいと考える。

④　人間文化学部心理学科

平成 31 年 3 月 14 日

大学教育センター
大塚　豊　センター長　殿

人間文化学部心理学科
学科長　　日下部　典子

平成 30 年度「学生による授業評価アンケート」の集計結果を踏まえ、本学科の授業とその成果について点検したので報告いたします。

【1】　実施期間　前期：平成 30 年 6 月 25 日（月）～平成 30 年 7 月 14 日（土）
後期：平成 30 年 12 月 17 日（月）～平成 31 年 1 月 12 日（土）

【2】　対象科目の選定

本学に勤務する教員（非常勤講師を含む）1 人当たり前期・後期のいずれも 2 科目（原則、実習、演習を除く）のアンケートを実施する方針に従い、心理学科では前期 14 科目、後期 12 科目について調査を行った。

【3】　アンケート調査内容

アンケート調査の設問項目は、教員の授業評価に関する 7 項目、学生自身の学習点検に関する 7 項目、合計 14 項目について調査した。各設問に対する回答は、設問項目を強く肯定する回答から強く否定する回答までの 5 つの選択肢より選択することとした。

【4】　調査結果の集計

アンケート調査および集計は Cerezo を利用して行った。

【5】　調査結果に対する点検

◇「授業評価アンケート」について

評価結果の分析：心理学科のアンケート結果数値は、ほとんどの項目で全学の平均値を上回っており、高評価である。

◇「学生の自己点検」について

点検結果の分析：「関連学習」「意欲の高まり」「学習の成果」等の学科平均値は全学平均値より高く、特に「質問への積極性」は高かったが、「集中力」と「出席状況」の学科平均値は全学平均値より低い結果であった。

分析結果を踏まえた改善方策：全学平均値を下回った項目のうち出席状況については、欠席が重なり試験資格喪失、あるいは試験結果につながる問題であり、今後留年生対策とあわせて、学科会議で改善

を検討していきたい。

【6】　教員へのフィードバックについて

教員へは結果をファイルでフィードバックした。

【7】　学生へのフィードバックについて

各教員が授業時間、テスト時間、あるいは cerezo を通じて、結果をフィードバックした。

【8】　学科教員からの提案、意見

各教員より提出された授業アンケート実施報告書（添付）より、有用な提案や提起された問題を以下に要約する。

＜意見・提案＞

(1) ICT の積極利用（授業中のパパパコメント導入、Google Forms 活用等)、CLAFT 教室利用等
(2) 災害被災者の心理について資料提示と合わせて記述する課題を与えたところ、みな熱心に取り組んでいた。抽象的な課題ではなく、身近な問題を考える。学生自身の興味関心に応じた課題の出し方を工夫する。
(3) グループワークの時間を設け、疑問点・論点をグループ内で整理することで、教員に質問しやすくする。

【9】　総　括

心理学科は全体として、ほとんどの科目で全学平均値と同等あるいは上回っており、大きな課題はないと思われる。しかし、質問への積極性、関連学習時間等の数値が低いことは多くの教員が課題と考えており、今後も学科会議、学科 FD 等で向上する工夫を討議していく必要がある。また、出席状況は本学科の留年率、退学率に直結する問題の一つであるため、早急に対応を検討していくことが喫緊の課題である。

⑤　人間文化学部人間文化学科

平成 31 年 3 月 15 日

大学教育センター
大塚　豊　センター長　殿

人間文化学部人間文化学科
学科長　　重迫　隆司

平成 30 年度「学生による授業評価アンケート」の集計結果を踏まえ、本学科の授業とその成果について点検したので報告いたします。

【1】　実施期間　前期：平成 30 年 6 月 25 日（月）～平成 30 年 7 月 14 日（土）
後期：平成 30 年 12 月 17 日（月）～平成 31 年 1 月 12 日（土）

【2】　対象科目の選定

本学に勤務する教員（非常勤講師を含む）1 人当たり前期・後期のいずれも 2 科目（原則、実習、演習を除く）のアンケートを実施する方針に従い、人間文化学科では前期 26 科目、後期 28 科目について調査を行った。

【3】　アンケート調査内容

アンケート調査の設問項目は、教員の授業評価に関する 7 項目、学生自身の学習点検に関する 7 項目、合計 14 項目について調査した。各設問に対する回答は、設問項目を強く肯定する回答から強く否定する回答までの 5 つの選択肢より選択することとした。

【4】　調査結果の集計

アンケート調査および集計は Cerezo を利用して行った。

【5】　調査結果に対する点検

◇「授業評価アンケート」について

評価結果の分析：全教員が授業の工夫、改善を継続していることがよくわかる。

◇「学生の自己点検」について

点検結果の分析：教員の意図を理解していると思われる学生もいるが、さらに準備学修や発展学修を促す必要がある。

分析結果を踏まえた改善方策：講義内で学生にもっと回答をお願いする。

【6】　教員へのフィードバックについて

学科会議にて意見交換を行っている。

【7】　学生へのフィードバックについて

講義内、定期試験、セレッソ等によりフィードバックを行なった。

【8】　学科教員からの提案、意見

各教員より提出された授業アンケート実施報告書（添付）より、有用な提案や提起された問題を以下に要約する。

特になし。

【9】　総　括

教員は授業を工夫し、その思いは学生にも届いていると思われる。学生のさらなる回答と学修意欲の喚起が課題であろう。

⑥　人間文化学部メディア・映像学科

平成 31 年 3 月 30 日

大学教育センター
大塚　豊　センター長　殿

人間文化部メディア・映像科
学科長　　中嶋 健明

平成 30 年度「学生による授業評価アンケート」の集計結果を踏まえ、本学科の授業とその成果について点検したので報告いたします。

【1】　実施期間　前期：平成 30 年 6 月 25 日（月）～平成 30 年 7 月 14 日（土）
後期：平成 30 年 12 月 17 日（月）～平成 31 年 1 月 12 日（土）

【2】　対象科目の選定

本学に勤務する教員（非常勤講師を含む）1 人当たり前期・後期のいずれも 2 科目（原則、実習、演習を除く）のアンケートを実施する方針に従い、メディア・映像学科では前期 19 科目、後期 13 科目について調査を行った。

【3】　アンケート調査内容

アンケート調査の設問項目は、教員の授業評価に関する 7 項目、学生自身の学習点検に関する 7 項目、合計 14 項目について調査した。各設問に対する回答は、設問項目を強く肯定する回答から強く否定する回答までの 5 つの選択肢より選択することとした。

【4】　調査結果の集計

アンケート調査および集計は Cerezo を利用して行った。

【5】　調査結果に対する点検

◇「授業評価アンケート」について

評価結果の分析：教員の授業評価に関する 7 項目は、教員の授業技術的設問と講義内容の妥当性を問う設問で構成されている。7項目の平均は平均4.55であり、 総合的には授業技術と講義内容は妥当な水準となっている。総合的満足度を問う設問 7 は 4.33であり、授業技術等に較べて多少低い値であるが妥当な水準と考えられる。ただし、教員間の差は大きく、3.80 ～4.83となっている。

分析結果を踏まえた改善方策：学科の授業技術について、学生は標準以上の評価をしているが、授業間で差は大きくなっている。授業技術について研修を行うなどの対策が必要と考えられる。このような対策によって総合的な満足度は更に向上すると考えられる。

◇「学生の自己点検」について

点検結果の分析： 学生自身の学習点検に関する 7 項目の平均値は 3.78 であった。学生自身が自戒を込めて真摯に質問 1 から質問 7 よりも低めに回答した結果とも考えられる。ただし、関連学習については 2.22 と昨年度より伸びたとは言え非常に低い数値となっており、準備学修が不十分であると考えられる。学科専門科目には実習を含む演習系の科目も多く、事前の準備の難しいものもあり、この結果からだけでは学生の意欲を読み取ることはできない。また平成 28 年度から始めたノート PC 必携化によって、授業時間外でも学習可能な環境になったが、学生にはその自覚が余り無いという事が伺われる。

分析結果を踏まえた改善方策：学生が学習の必要性を実感し、自ら学ぶ態度を身につける必要がある。この課題を達成することは至難の業である。まずは、非常に低い数値となっている関連学習について、事前学習の方法等を具体的に指示し、実施状況を定期的に確認するなどして、学習する習慣付けを行うことから始める必要がある。今年度よりシラバスにも事前学習の内容と時間数を記入した。この事によって、学生の自覚が促された可能性もあって、昨年度よりの０.２７と、ごく僅かだが改善されている。ノートPC必携化によって環境が大きく変化していることの自覚を促し、授業時間外（学内･学外含め）での学習の進め方などをシラバスに沿って、更に強くアドバイスする必要があるだろう。

【6】 教員へのフィードバックについて

アンケート集計結果は、学科教員全員（非常勤も含む）に対して全ての集計結果をフィードバックしている。対象科目担当教員には、それを基に授業アンケート実施報告書の提出を求め、提出率は 100%であった。

【7】 学生へのフィードバックについて

学生に対するフィードバックは Cerezo、または講義中、定期試験実施時、または関連科目の講義中に当該授業科目担当教員が行った。その詳細を提出された報告書に記載している。

【8】 学科教員からの提案、意見

各教員より提出された授業アンケート実施報告書（添付）より、有用な提案や提起された問題を以下に要約する。

＜意見・提案＞

(1) カリキュラムの改革を進めており、これまでの授業形態を見直し、今年度より新たな科目（演習系科目）が設定され、内容について今年度更に改善を行っていることから、学習効果に期待している。
(2) 演習系科目の増加（集約）によって、事前学習が減少してしまわないような指導が必要である。

【9】 総 括

・ 授業評価アンケートでは概ね高い評価を得ており、点検を怠らず現状を維持することが望ましいと

言える。ただし、評価に大きな幅のあることに注意する必要がある。

- 学生の関連学習に関しては昨年度 1.95 から今年度 2.22 と僅かに上昇した。
- シラバスに事前学習の内容ばかりでなく時間数を記した結果だと考えられる。
- 更に時間確保を誘導する指導方法を検討し、改善を促すことが課題である。

⑦　工学部スマートシステム学科

平成 31 年 3 月 13 日

大学教育センター
大塚　豊　センター長　殿

工部スマートシステム学科
学科長　　仲嶋　一

平成 30 年度「学生による授業評価アンケート」の集計結果を踏まえ、本学科の授業とその成果について点検したので報告いたします。

【1】　実施期間　前期：平成 30 年 6 月 25 日（火）～7 月 23 日（月）
後期：平成 30 年 12 月 17 日（月）～平成 31 年 1 月 12 日（土）
（十分な回答数が得られず、期間を平成 31 年 1 月 30 日（水）まで延長して実施）

【2】　対象科目の選定

本学に勤務する教員（非常勤講師を含む）1 人当たり前期・後期のいずれも 2 科目（原則、実習、演習を除く）のアンケートを実施する方針に従い、スマートシステム学科では前期 18 科目、後期 15 科目について調査を行った。

【3】　アンケート調査内容

アンケート調査の設問項目は、教員の授業評価に関する 7 項目、学生自身の学習点検に関する 7 項目、合計 14 項目について調査した。各設問に対する回答は、設問項目を強く肯定する回答から強く否定する回答までの 5 つの選択肢からの選択である。

【4】　調査結果の集計

アンケート調査および集計は Cerezo を利用して行った。

【5】　調査結果に対する点検

◇「授業評価アンケート」について

評価結果の分析：教員の授業評価に関する 7 項目は、教員の授業技術に関わる設問と講義内容の妥当性を問う設問で構成されている。前期の 7 項目の平均は 4.30 であり、残念ながら工学部平均の 4.37、全学平均の 4.46 に対し低いポイントとなった。本学科のポイントが若干に低下した上に、全学のポイントが上昇したことによる相対的な低下である。工学部、全学平均に対して特に差の大きな項目は、計画性と質問への誠意であり、工学部、全学平均とも約 0.2 ポイント下回っている。計画性に関しては、学修の状態に合わせた臨機応変な授業も必要な場合があるので一概には言えないと考える。また、質問への誠意に関しては質問への積極性のポイントが低く、これが関係している可能性がある。また、近年、入学生の学力レベルが低下してきており、授業内容が判らない事が授業評価の低下につながっている可能性もあり、精査が必要である。一方、後期の調査では期間延長を行ったため、最終的なアンケート総

数に対する学年平均は配布された全体集計に記載された値とは異なる。このため、正確な比較評価とはならないが、前期とほぼ同様の傾向を示している。

分析結果を踏まえた改善方策：本学科教員の授業技術について、ほぼ標準の評価と考えるが、質問への対応に関しては、一層の改善努力を試みる予定である。

◇「学生の自己点検」について

点検結果の分析：前期における設問 8～14 の集計結果は 3.55 であり、工学部平均の 3.61、全学平均の 3.71 を下回った。昨年度は学科平均 3.74 であり、工学部及び全学の昨年の平均がそれぞれ 3.67、3.66 とあまり変わっていないのに対して、約 0.2 ポイントの低下となっている。特に差異の大きかった項目は意欲の高まりである。後期に関しては、学科平均 3.62 に対し、工学部、全学の平均がそれぞれ、3.66、3.71 となっており、下回ってはいるもののほぼ平均の水準と言える。

分析結果を踏まえた改善方策：学生が単位取得で満足するのでなく、より詳しく学修したいという気持ちとなる講義のあり方についてさらに研鑽を積んでいく。また、現在使用している CAD 及び PC が長く更新されてなく、それらの能力と機能が一昔前のものとなっている。企業が大卒を採用する理由の一つとして、新卒生に「先端技術を知っている・扱える」ことを期待しこれを企業に迎えたいこともあることを鑑みると、現在進行中である ICT 環境整備の着実な進捗が望まれる。

【6】　教員へのフィードバックについて

アンケート集計結果は、学科教員全員に対して全ての集計結果をフィードバックしている。対象科目担当教員には、それを基に授業アンケート実施報告書の提出を求め、提出率は 100%であった。学生に対するフィードバックは各期終了までに科目ごとに行った。

【7】　学生へのフィードバックについて

学生に対するフィードバックは講義中に、または定期試験実施時に授業科目担当教員が行った。また、その折に追加の意見聴取も行っている。

【8】　学科教員からの提案、意見

各教員より提出された授業アンケート実施報告書に基づき 3 月 7 日に学科内 FD としての意見交換を行った。提案や提起された問題を以下に要約する。

＜意見・提案＞

冬季休業からアンケート締め切りまで 1 週間と短期間であったことも一因と思われるが、当初非常に回答率が低く、当初の締切り時点で回答の無かった科目や 1 件しか回答のない科目も存在した。また、自由記述の回答数も過去と比べて減っており、学生のアンケートに対する姿勢がおざなりになってきている可能性がある。そうであればアンケートの集計結果の信頼性にも影響を与えるので、注意が必要と考える。

【9】　総　括

年度を追うごとに評価結果が上昇し、昨年度は全学平均を上回ったが、本年度は全学平均、学部平均が上昇し学科平均がそれらより低くなる結果となった。絶対値として高いポイントレベルでの相対的な差異であり、大幅な低下の兆候は見られないことから、緊急の対策を講じる必要性は無いと考える。しかしながら、特に平均との差異の大きい箇所については、継続的な改善努力が必要と考える。

⑧　工学部建築学科

平成 31 年 3 月 11 日

大学教育センター
大塚　豊　センター長　殿

工部建築科
学科長　　大島　秀明

平成 30 年度「学生による授業評価アンケート」の集計結果を踏まえ、本学科の授業とその成果について点検したので報告いたします。

【1】　実施期間　前期：平成 30 年 6 月 25 日（月）～平成 30 年 7 月 14 日（土）
後期：平成 30 年 12 月 17 日（月）～平成 31 年 1 月 12 日（土）

【2】　対象科目の選定

本学に勤務する教員（非常勤講師を含む）1 人当たり前期・後期のいずれも 2 科目（原則、実習、演習を除く）のアンケートを実施する方針に従い、建築学科では前期 22 科目、後期 21 科目について調査を行った。

【3】　アンケート調査内容

アンケート調査の設問項目は、教員の授業評価に関する 7 項目、学生自身の学習点検に関する 7 項目、合計 14 項目について調査した。各設問に対する回答は、設問項目を強く肯定する回答から強く否定する回答までの 5 つの選択肢より選択することとした。

【4】　調査結果の集計

アンケート調査および集計は Cerezo を利用して行った。

【5】　調査結果に対する点検

◇「授業評価アンケート」について

評価結果の分析：教員の授業評価に関する 7 項目は、教員の授業技術的設問と講義内容の妥当性を問う設問で構成されている。7 項目の学科平均値は前期が 4.42、後期が 4.55 であり、後期はともに全学平均、学部平均値を上回り、前期は学部平均を上回っている。昨年度の比較では、前期後期とも昨年度を上回り、特に後期は高い平均値となっている。項目別に見ると、前期の「質問への誠意」（4.37）が全学平均（4.50）よりやや下回ったが、他の項目はほぼ全学と同程度であった。後期については、「計画性」の平均値が、全学及び学部平均値を 0.1 ポイント程度上回っている。

◇「学生の自己点検」について

点検結果の分析：質問 8 から 14 までの 7 項目の学科平均値は、前期が 3.67、後期が 3.69 であり、学部平均値、全学平均値とほぼ同程度であった。また昨年度の平均値（前期（3.70）、後期（3.67））とほ

ぼ同程度であった。項目別に見ると、前期については、「集中力」と「出席状況」が全学平均値より 0.2 ポイント以下回ったが、「知識と深まり」と「意欲の深まり」については全学平均値を 0.1 ポイント程度上回った。後期についても、「集中力」と「出席状況」が全学平均値より 0.2 ポイント以上下回ったが、「知識の深まり」、「質問への積極性」について全学及び学部平均を上回った。特に、「質問への積極性」の平均値（3.46）は全学平均値、学部平均値と比較しても高い値であった。

分析結果を踏まえた改善方策：教員の授業評価に関する項目として、昨年度同様に講義の改善方策については、座学系授業において演習形式及び例題の取り入れる工夫、具体的事例や最近の事例の紹介、Cerezo の積極的活用等を継続して検討したい。昨年度、学生の能動的学習意欲向上のために「質問への対応」に対する改善方策として、質問しやすい雰囲気、授業中の質問コーナーを設けること等を検討し提案したが、今年度の結果からやや改善の効果が伺えるため、来年度も継続して改善を行いたい。学生の自己点検に関する項目として、他の項目と比較して相対的に低い「集中力」と「出席状況」に関しては、座学系科目は演習形式の採用、演習科目は授業時間が 2 コマと長時間になるので、特に複数教員による授業の場合はグループ別による指導方法、1 コマごとの講評の実施等を行い、メリハリをつけた授業を検討したい。また、「出席状況」については、授業担当者だけではなく、クラス担任との連携体制をとりながら改善につなげたい。

【6】　教員へのフィードバックについて

アンケート集計結果は、対象科目担当教員に対して、それを基に授業アンケート実施報告書の提出を求め、提出率は 100%であった。

【7】　学生へのフィードバックについて

学生に対するフィードバックは講義最終回までに、当該授業科目担当教員が行った。その詳細を提出された報告書に記載している。

【8】　学科教員からの提案、意見

各教員より提出された授業アンケート実施報告書（添付）より、有用な提案や提起された問題を以下に要約する。

＜意見・提案＞

(1)　自分たちで制作した椅子を実際に使ってみて、他の椅子との違いなどについて考える。
(2)　学生による英語プレゼンテーションの回数を増やすなど課題分量を増やす。
(3)　授業以外での学習習慣をつけさせる。
(4)　優秀作品の紹介や講評などで学生の意欲を高める工夫をする。
(5)　より積極的な CAD の利活用に結びつく情報の提供をセレッソなどの ICT 環境を利用する。
(6)　一方的な授業展開にならないようにし、事前や事後の課題を出すなど授業に積極的に参加できるようにする。

【9】　総　括

教員の授業評価に関する項目については、前期、後期の平均をみると、全学及び学部平均をやや上回っている。回答率は、必修科目、選択科目による差はあるが、学科平均が前期 74.3%（昨年 69%）、後期 60.9%（昨年 58%）であり、全学平均値、学部平均値を大きく上回り、昨年度よりやや高い回答率となった。しかし、後期の回答率は依然として低い数値であり、50%以下の科目数は、前期が 2 科目、後期が 10 科目と後期の回答率が低く、30%未満の科目も 2 科目あり、後期の回答率の改善について学科内で検討したい。

教員の授業評価に関する評価については、前期、後期共に極端に低い科目はなく、昨年同様に教員による授業改善が行われていると判断できる。学生の自己点検に関する評価については、学科平均より 0.5 ポイント低い科目が 1 科目みられたが、全体的にはほぼ平均値前後となっている。また、当学科の場合、文系入試を経て入学する学生も受講するため、数式等を扱うエンジニアリング系科目と他の科目との評価の差が予測されるが。評価結果からはそれらの科目に大きな差は無く、教員による授業改善が行われていると考えられる。

以上、今回の結果を踏まえ、報告書に記載されている各教員の貴重な提案を学科内で共有し、今後の授業改善に取り組みたい。

⑨　工学部情報工学科

平成 31 年 3 月 14 日

大学教育センター
大塚　豊　センター長　殿

工学部　情報工科
学科長　　山之上　卓

平成 30 年度「学生による授業評価アンケート」の集計結果を踏まえ、本学科の授業とその成果について点検したので報告いたします。

【1】　実施期間　前期：平成 30 年 6 月 25 日（月）～平成 30 年 7 月 14 日（土）
後期：平成 30 年 12 月 17 日（月）～平成 31 年 1 月 12 日（土）

【2】　対象科目の選定

本学に勤務する教員（非常勤講師を含む）1 人当たり前期・後期のいずれも 2 科目（原則、実習、演習を除く）のアンケートを実施する方針に従い、情報工学科では前期 17 科目、後期 17 科目について調査を行った。

【3】　アンケート調査内容

アンケート調査の設問項目は、教員の授業評価に関する 7 項目、学生自身の学習点検に関する 7 項目、合計 14 項目について調査した。各設問に対する回答は、設問項目を強く肯定する回答から強く否定する回答までの 5 つの選択肢より選択することとした。

【4】　調査結果の集計

アンケート調査および集計は Cerezo を利用して行った。

【5】　調査結果に対する点検

◇「授業評価アンケート」について

評価結果の分析：教員の授業評価に関する 7 項目は、教員の授業技術的設問と講義内容の妥当性を問う設問で構成されている。7 項目の通年の平均は 4.43 であり、工学学平均の 4.43 と同じで、基準値 3.5 を大きく上回っており、本学科教員の板書、話法、計画性等の授業技術は十分に高いレベルを有していると判断できる。昨年度の 7 項目の通年の平均である、4.37 も上回った。総合的満足度を問う設問 8 は 4.14 と、工学部平均 4.16 と比べて若干下回った。標準値 3.5 を上回るものの、授業技術等に較べて低い値であった。しかしながら、昨年の 4.06 より良くなっており、教員の改善の努力が現れている。

分析結果を踏まえた改善方策：本学科教員の授業技術について、学生は標準値以上の評価をしているが、論理的思考を必要とする科目の評価が相対的に低い。また、本学科が指標としている資格試験の基本情報技術者試験で出題される分野は総じて論理的思考を必要とする科目である。昨年度に引き続き、教務

委員を中心に、カリキュラム見直しを検討する。また、昨年の報告でも記載したが、学生と教える側のインタラクションが多い授業の満足度が高い傾向がある。この結果を踏まえて、このような授業形式を増やして行く。

◇「学生の自己点検」について
点検結果の分析：この 7 項目は、学生の授業への取り組み方の設問と授業への意欲を問う設問で構成されている。集計結果については、工学部平均の 3.64 を若干下回る 3.60 であった。昨年の 3.60 と同様であった。学修の成果でも、工学部平均 4.04 に対して、学科平均は 3.99 とやや下回っている。この部分については、昨年の 3.98 に対して若干改善している。

分析結果を踏まえた改善方策：特に、学生の「授業への準備」の項目が劣っている。この項目はなかなか向上していない。昨年実施した、セレッソ等を活用し、受動的な講義に留まらず、準備学修の成果を学生が発表をするようなアクティブラーニングを増やしていくことを継続することで改善したい。

【6】　教員へのフィードバックについて
1 月 22 日にアンケート結果を各教員に配布し、その結果に基づく報告書が 2 月 28 日までに提出された。また、集計を元に、3 月 5 日に学科内の FD を行い、Good Practice の情報共有や今後の改善方針に関して議論を行った。

【7】　学生へのフィードバックについて
2/4 までに各授業でアンケート結果の開示と、学生からの意見に対する回答が行われた。

【8】　学科教員からの提案、意見
各教員より提出された授業アンケート実施報告書（添付）より、有用な提案や提起された問題を以下に要約する。

＜意見・提案＞
(1)　学生の集中力が保てるのは、短い時間であるが、BYOD を使った授業を行うことにより、授業手法を適宜変えることが可能になり、集中力を保てるようになった。
(2)　情報工学科では BYOD を前提とした授業を従来から行っていた。
(3)　BYOD で、手元で資料を見ることができる。積極的に参加している学生には効果が大きい。

【9】　総　括
昨年度までに、論理的思考を必要とする科目に対する対応が必要であることが明らかになっており、本年度も同様の傾向が表れている。昨年度から引き続き、どのような対応をすべきか教務委員を中心に検討を行うことにしている。
昨年度より、学生と教える側のインタラクションが多い授業の満足度が高い傾向があることが明らかになっているので、上級生が下級生を指導するような形態の授業を増やすことも検討する。2019 年度

より、これを目指した、工学部のみらい工学プロジェクトで SA の利用が始まる予定である。

今回のアンケート調査でも、昨年度に引き続き「授業の準備」の結果が大変悪かった。度の科目も事前学習を行わなければならないが、科目によってその量のバランスが良くない場合、事前学習を行うことができなくなる科目が発生するなどの問題が明らかになっている。

⑩　工学部機械システム工学科

平成 31 年 3 月 21 日

大学教育センター
大塚　豊　センター長　殿

工学部機械システム工学科
学科長　　内田　博志

平成 30 年度「学生による授業評価アンケート」の集計結果を踏まえ、本学科の授業とその成果について点検したので報告いたします。

【1】　実施期間　前期：平成 30 年 6 月 25 日（月）～平成 30 年 7 月 14 日（土）
後期：平成 30 年 12 月 17 日（月）～平成 31 年 1 月 12 日（土）

【2】　対象科目の選定

本学に勤務する教員（非常勤講師を含む）1 人当たり前期・後期のいずれも 2 科目（原則、実習、演習を除く）のアンケートを実施する方針に従い、機械システム工学科では前期 17 科目、後期 17 科目について調査を行った。

【3】　アンケート調査内容

アンケート調査の設問項目は、教員の授業評価に関する 7 項目、学生自身の学習点検に関する 7 項目、合計 14 項目について調査した。各設問に対する回答は、設問項目を強く肯定する回答から強く否定する回答までの 5 つの選択肢より選択することとした。

【4】　調査結果の集計

アンケート調査および集計は Cerezo を利用して行った。

【5】　調査結果に対する点検

◇「授業評価アンケート」について

評価結果の分析：概ね平均レベルであり、特に大きな問題はなかった。得点は授業に対する受講学生の率直な受け止め方を反映したものと考えられる。ただし後期において「話し方」、「講義の工夫」の点数が低くなっており、それらについて改善してゆく必要がある。

◇「学生の自己点検」について

点検結果の分析：　前後期ともに「集中力」の評価が低く、そのことが直接的・間接的に　「知識の深まり」（前期）、「意欲の高まり」（後期）の点数の低さにつながっていると考えられる。授業に対する受講生の興味・関心を高めるための方策が必要である。

分析結果を踏まえた改善方策：　「学科教員からの提案、意見」で述べるように、当該科目と機械工学全

体、学科の他の科目、資格取得、日常の身近なものとの関連についての説明を加えたり、授業のアクティブ・ラーニング化、ICT 化を進めるなど、複合的な方策を通じて授業に対する受講生の興味・関心を高める。また座席指定など、授業に集中できる環境づくりも併せて検討する。

【6】 教員へのフィードバックについて

最終集計結果を学科教員に配信した。各教員は集計結果に基づいて来年度以降の授業実施方法に関する改善案を検討し、授業アンケート実施報告書に記載した。

【7】 学生へのフィードバックについて

授業実施期間中に実施可能な科目は各授業時間中に口頭でフィードバックを行い、その他の科目は定期試験時間の冒頭に口頭で、あるいは Cerezo などを介してフィードバックを行った。

【8】 学科教員からの提案、意見

各教員より提出された授業アンケート実施報告書（添付）より、有用な提案や提起された問題を以下に要約する。

＜意見・提案＞

(1) 学習意欲を高めるため、当該科目と機械工学全体、学科の他の科目、資格取得、日常の身近なものとの関連などについての説明を講義に取り入れる。
(2) 難易度の高い授業科目における予備学修を促す観点から、ICT 活用やアクティブラーニング化の方策を検討する。
(3) 質問への積極性を高めるため、特に質問がない場合でも教員から声をかける等、質問しやすい雰囲気づくりを行う。
(4) 履修者の少ない授業において後方座席に着席する学生が、講義が聞き取りにくいとしている可能性があることから、授業における座席指定を検討する。

【9】 総　括

授業評価アンケートは、学科の授業を学生がどのように受け止めているかを総合的に把握し、改善策を立ててゆくため、今後も積極的に活用してゆく。今年度は特定の講義科目についてアンケートを実施する方式に戻り、他の科目、特に本学科で比較的多い実験・実習科目については、授業評価アンケートを通じた点検ができなくなったことから、それら科目については学科固有の方法での授業評価を検討してゆきたい。

⑪　生命工学部生物工学科

平成 31 年 3 月 1 日

大学教育センター
大塚　豊　センター長　殿

生命工部生物工科
学科長　　久冨　泰資

平成 30 年度「学生による授業評価アンケート」の集計結果を踏まえ、本学科の授業とその成果について点検したので報告いたします。

【1】　実施期間　前期：平成 30 年 6 月 25 日（月）～平成 30 年 7 月 14 日（土）
後期：平成 30 年 12 月 17 日（月）～平成 31 年 1 月 12 日（土）

【2】　対象科目の選定

本学に勤務する教員（非常勤講師を含む）1 人当たり前期・後期のいずれも 2 科目（原則、実習、演習を除く）のアンケートを実施する方針に従い、生物工学科では前期 18 科目、後期 21 科目について調査を行った。

【3】　アンケート調査内容

アンケート調査の設問項目は、教員の授業評価に関する 7 項目、学生自身の学習点検に関する 7 項目、合計 14 項目について調査した。各設問に対する回答は、設問項目を強く肯定する回答から強く否定する回答までの 5 つの選択肢より選択することとした。

【4】　調査結果の集計

アンケート調査および集計は Cerezo を利用して行った。

【5】　調査結果に対する点検

◇「授業評価アンケート」について

評価結果の分析：授業準備、話し方、計画性、授業時間、講義の工夫、難易の適切性、講義の満足度において、学科平均がいずれも 4.00 を越えており、授業の技術においては問題ないと考えられる。

分析結果を踏まえた改善方策：講義の満足度をさらに上げるような方策を講じていきたい。

◇「学生の自己点検」について

点検結果の分析：出席状況、知識の深まり、学修の成果に関しては、学科平均が 4.00 以上であり、学生の授業への取り組みは良好であると考える。しかしながら、関連学習に関しては、学科の平均が 2.00 を下回っており、授業の予習復習が乏しいと考えられる。

分析結果を踏まえた改善方策：学生が学習の必要性を実感し、自ら学ぶ態度を身につける必要がある。この課題を達成することは至難の業であるが、PBL や SGD 等の新しい教育方法を取り入れることも有効策の一つと考えられる。

【6】　教員へのフィードバックについて

アンケート集計結果は、学科教員に対して集計結果をフィードバックしている。対象科目担当教員には、それを基に授業アンケート実施報告書の提出を求め、提出率は 100%であった。

【7】　学生へのフィードバックについて

学生に対するフィードバックは授業の最終回または定期試験時およびセレッソにて教員ごとに行った。その詳細は提出された報告書に記載されている。

【8】　学科教員からの提案、意見

授業評価アンケートの内容やシステムについての提案や意見は特になかった。

【9】　総　括

学生の自発的な学修を促すような授業の組み立てを模索していく必要がある。このようなことを通して、講義の満足度の向上につなげていきたい。生物工学科では、カリキュラムの変更やシラバスの作成において十分に討議しているが、より実質的な議論を展開することが必要であろう。平成 31 年度のシラバス作成においては、学科内で徹底的な点検を実施した。

⑫　生命工学部生命栄姜科学科

平成 31 年 3 月 5 日

大学教育センター
大塚　豊　センター長　殿

生命工学部生命栄養科学科
学科長　　菊田　安至

平成 30 年度「学生による授業評価アンケート」の集計結果を踏まえ、本学科の授業とその成果について点検したので報告いたします。

【1】　実実施期間　前期：平成 30 年 6 月 25 日（月）～平成 30 年 7 月 14 日（土）
後期：平成 30 年 12 月 17 日（月）～平成 31 年 1 月 12 日（土）

【2】　対象科目の選定

本学に勤務する教員（非常勤講師を含む）1 人当たり前期・後期のいずれも 2 科目（原則、実習、演習を除く）のアンケートを実施する方針に従い、生命栄養科学科では前期 25 科目、後期 19 科目について調査を行った。

【3】　アンケート調査内容

アンケート調査の設問項目は、教員の授業評価に関する 7 項目、学生自身の学習点検に関する 7 項目、合計 14 項目について調査した。各設問に対する回答は、設問項目を強く肯定する回答から強く否定する回答までの 5 つの選択肢より選択することとした。

【4】　調査結果の集計

アンケート調査および集計は Cerezo を利用して行った。

【5】　調査結果に対する点検

◇「授業評価アンケート」について

評価結果の分析:教員の授業評価に関する 7 項目のすべてで、学科の平均値が学部の平均値を下回った。昨年度と比べても悪化した項目が多く、授業に改善の余地がある。個々の教員の評価に対する改善策は報告書に記載されている通りである。

◇「学生の自己点検」について

点検結果の分析 : 学生の態度等に関する後半の 7 項目では、「集中力」「出席状況」は学部平均以上、「関連学習」が学部平均と同じ、残り 4 項目は学部平均を下回った。「質問への積極性」「学修の成果」はこれまでも低値であり、特に「質問への積極性」でその傾向が著しい。学生の授業に対する姿勢・モチベーションが毎回の課題となっており、改善が必要である。

分析結果を踏まえた改善方策：教員の授業評価に関する項目のすべてで低値であったことから、授業方法との改善が必須である。低値である理由の一つに教員間の評価のバラツキがある。全般的に授業の評価の低い、または極めて評価の低い教員が複数名いて、その他の教員は平均かまたはそれ以上の評価であった。評価が低い教員が担当する授業の改善を求めた。
授業に臨む学生の積極性が不足して学修成果に結びつきにくい傾向がこれまでと同じく見られた。栄養士・管理栄養士資格を目指す学科であり、目標は明確であるにもかかわらず、学修の動機づけが不十分なことが改めて示された。31 年度より初年次教育から 3 年次の臨地実習、4 年次の国家試験に至る過程を整理して 4 年間を通してのキャリア形成支援を強化する。

【6】　教員へのフィードバックについて

アンケート集計結果は、学科の各教員に対して、各個人と学科の集計結果をフィードバックしている。対象科目担当教員には、それを基に授業アンケート実施報告書の提出を求め、提出率は 100%であった。授業評価が低い教員に授業の改善を求めた。

【7】　学生へのフィードバックについて

学生へのフィードバックはすべてのアンケート結果に対して実施され、主に授業ならびに期末試験の中で口頭で行った。一部で、フィードバックのコメントを Cerezo で示したものもある。

【8】　学科教員からの提案、意見

各教員より提出された授業アンケート実施報告書（添付）より、有用な提案や提起された問題を以下に要約する。

＜意見・提案＞

(1) 学修意欲の低い学生が多く授業中の集中力を維持する方法、家庭学習を増やす方法についての改善案が多くあった。
(2) 授業でのプリントの使い方に工夫をしていた。丁寧なプリントが逆効果になる例もある。

【9】　総　括

アンケート結果は、ばらつきはあるものの全学の平均値より低い傾向があり、授業の進め方などに改善点が多い。また、教員の創意・工夫が必要である。

本学科では、管理栄養士資格を目指す学生の指導にあたっているが、学生の理解レベルと国家資格試験のレベルにはギャップがあり、講義内容や難易度の設定が難しい。さらに、資格取得に対するモチベーションのばらつきも大きい。モチベーションについては、学科のキャリア教育の見直しを進めていて、卒業まで一貫した指導体制を強化する。

⑬　生命工学部海洋生物科学科

平成 31 年 3 月 7 日

大学教育センター
大塚　豊　センター長　殿

生命工学部　海洋生物科学科
学科長　　三輪　泰彦

平成 30 年度「学生による授業評価アンケート」の集計結果を踏まえ、本学科の授業とその成果について点検したので報告いたします。

【1】　実施期間　前期：平成 30 年 6 月 25 日（月）～平成 30 年 7 月 14 日（土）
後期：平成 30 年 12 月 17 日（月）～平成 31 年 1 月 12 日（土）

【2】　対象科目の選定

本学に勤務する教員（非常勤講師を含む）1 人当たり前期・後期のいずれも 2 科目（原則、実習、演習を除く）のアンケートを実施する方針に従い、海洋生物科学科では前期 21 科目、後期 24 科目について調査を行った。

【3】　アンケート調査内容

アンケート調査の設問項目は、教員の授業評価に関する 7 項目、学生自身の学習点検に関する 7 項目、合計 14 項目について調査した。各設問に対する回答は、設問項目を強く肯定する回答から強く否定する回答までの 5 つの選択肢より選択することとした。

【4】　調査結果の集計

アンケート調査および集計は Cerezo を利用して行った。

【5】　調査結果に対する点検

◇「授業評価アンケート」について

評価結果の分析：教員の授業技術に関する 7 項目の学科平均値は、前期科目では 4.58 であり昨年度の 4.41 を 0.17 ポイント上回ったとともに今年度の全学平均値（4.46）並びに学部平均値（4.52）を上回った。また後期科目では 4.50 であり昨年度の 4.37 を 0.13 ポイント上回ったとともに今年度の学部平均値（4.46）を上回り、全学平均値（4.49）より 0.01 ポイント高かった。これらの項目については前後期ともに標準値（3.5）を上回っており、本学科教員の授業技術に概ね問題はないと判断している。講義の満足度を問う設問 7 の平均値は、前期科目では 4.42 であり昨年度の 4.24 から 0.18 ポイント上昇し、今年度の全学平均値（4.20）よりも 0.22 ポイント高い値であった。また後期科目でも 4.32 と昨年度の 4.24 から 0.08 ポイント上昇し、今年度の全学平均値（4.27）を 0.05 ポイント上回った。昨年度と比べて講義の満足度に改善がみられたことは学科教員の授業改善の努力が反映された結果と捉えている。
上に述べたように学科全体としては継続的な改善傾向が見られているが、依然として、担当授業におい

て講義の満足度が他の教員の担当授業と比べて低い教員がみられた。これらの教員からは教員個人の報告書において改善策がそれぞれ示されているが、学科長からも授業の内容や方法についてさらなる工夫を求めた。

◇「学生の自己点検」について

点検結果の分析：自己点検に関する 7 項目の学科平均値は、前期科目では 3.78 であり昨年度の 3.67 を 0.11 ポイント上回ったとともに、標準値（3.5）、全学平均値（3.71）、並びに学部平均値（3.70）をいずれも上回った。後期科目では 3.71 であり、やはり昨年度の 3.66 を 0.05 ポイント上回った。またこの値は全学平均値（3.71）と同じであり、標準値（3.5）及び学部平均値（3.67）より高かった。学生の自己点検に関する項目についても、昨年度と比べて値が高くなったことは学科教員の授業改善の努力が反映された結果と捉えている。

分析結果を踏まえた改善方策： レポート作成を課した科目や毎講義時に発表を義務付けた科目などでは「関連学習」の項目で他の科目よりも値が高くなる傾向が見られた。また毎講義時に確認テストを行った「化学 I」ではポイントが低くなりがちな基礎的科目であるにも関わらず、「学修成果」の項目で全学平均を上回る値が得られた。他の科目においても、上記のような方法で授業時間外の学修を誘導することにより取り組み意欲や成果の改善を図ることが可能であると考えている。また学生の自己点検の平均値を前期と後期を比較すると、昨年度同様に前期の方が高くなる傾向であった。これは前後期の科目の差異によることも考えられるが、学生の学修意欲（モチベーション）の低下が原因としてあげられる。そこで教育懇談会や担任を通じて学生の指導を行っていくことが必要である。

【6】 教員へのフィードバックについて

アンケート集計結果については、学科教員全員に対して全ての集計結果をフィードバックしている。対象科目担当教員には、それぞれの科目について授業アンケート実施報告書の提出を求め、提出率は 100%であった。

【7】 学生へのフィードバックについて

学生に対するフィードバックは講義最終回、または定期試験実施時にあるいは Cerezo を利用して当該授業科目担当教員が行い、その詳細は提出された報告書に記載されている。

【8】 学科教員からの提案、意見

各教員より提出された授業アンケート実施報告書（添付）より、有用な提案や提起された問題を以下に要約する。

＜意見・提案＞

(1) 学生が質問をしやすいように授業時間の最後に質問の時間を設けるようにしたい。
(2) 学生に授業で学んだ知識が今後の学科の教育・研究や将来の仕事においてどのように関連し、役立つのかということを明確に示すようにしたい。

(3) 発表形式や対話形式の導入により、学生たちの発言機会を増やすようにしたい。
(4) セレッソで事前にテキストを配布し、次週の内容等に触れ、ポイントについて予習をするように伝える。
(5) 講義中にも学生との対話を増やすなど、アクティブラーニングに心掛け、授業への参加意識を高めるようにする。
(6) セレッソを通じて課題学習の割合を増やし積極的に勉学に取り組めるようにしたい。
(7) 視聴覚教材や実物を用いて、興味を持つきっかけを増やす工夫を検討する。
(8) 関連事項の最新のニュース等を取り入れ、感心を持ってもらうように努力したい.

【9】 総 括

本学科の授業に関するアンケート結果においては昨年度、今年度と継続して改善がみられているが、今後も各授業の方法・内容に一層の工夫を加えていく努力を継続したい。

⑭　薬学部薬学科

平成 31 年 3 月 17 日

大学教育センター
大塚　豊　センター長　殿

薬学部薬学科
学科長　　町支　臣成

平成 30 年度「学生による授業評価アンケート」の集計結果を踏まえ、本学科の授業とその成果について点検したので報告いたします。

【1】　実施期間　前期：平成 30 年 6 月 25 日（月）～7 月 14 日（土）
後期：平成 30 年 12 月 17 日（月）～1 月 12 日（土）

【2】　対象科目の選定

本学に勤務する教員（非常勤講師を含む）1 人当たり前期・後期のいずれも 2 科目（原則、実習、演習を除く）のアンケートを実施する方針に従い、薬学科では前期 52 科目、後期 33 科目について調査を行った。

【3】　アンケート調査内容

アンケート調査の設問項目は、教員の授業評価に関する 7 項目、学生自身の学習点検に関する 7 項目、合計 14 項目について調査した。各設問に対する回答は、設問項目を強く肯定する回答から強く否定する回答までの 5 つの選択肢より選択することとした。

【4】　調査結果の集計

アンケート調査および集計は Cerezo を利用して行った。

【5】　調査結果に対する点検

◇「授業評価アンケート」について

評価結果の分析：前期授業評価では、教員の授業評価に関する 7 項目のうち全学平均を上回っているものは 3 項目（授業準備、計画性、授業時間）だけであった（授業準備：全学 4.57、薬学 4.60、話し方：全学 4.36、薬学 4.35、計画性：全学 4.55、薬学 4.64、授業時間：全学 4.65、薬学 4.72、講義の工夫：全学 4.36、薬学 4.36、質問への誠意：全学 4.50、薬学 4.50、講義の満足度：全学 4.20、薬学 4.20）。また、後期授業評価では全学平均を上回っているものは 3 項目（授業準備、計画性、授業時間）だけであった（授業準備：全学 4.60、薬学 4.62、話し方：全学 4.43、薬学 4.41、計画性：全学 4.57、薬学 4.64、授業時間：全学 4.66、薬学 4.70、講義の工夫：全学 4.42、薬学 4.42、質問への誠意：全学 4.52、薬学 4.50、講義の満足度：全学 4.27、薬学 4.26）。全体的にはすべてが 4 点以上のため問題ないと考えるが、これらの情報を教員にフィードバックし、さらなる授業改善を促していく予定である。

◇「学生の自己点検」について

点検結果の分析：分析結果を踏まえた改善方策：前期授業評価では、学生の自己点検に関する 8 項目のうち全学平均を上回っているものは 5 項目であった（関連学習：全学 2.00、薬学 1.99、集中力：全学 3.94、薬学 4.18、出席状況：全学 4.55、薬学 4.84、知識の深まり：全学 4.16、薬学 4.21、質問への積極性：全学 3.25、薬学 2.93、意欲の高まり：全学 3.98、薬学 4.01、学習の成果：全学 4.07、薬学 4.08)。また、後期授業評価では全学平均を上回る項目は 4 項目であった（関連学習：全学 1.98、薬学 1.95、集中力：全学 3.92、薬学 4.18、出席状況：全学 4.45、薬学 4.79、知識の深まり：全学 4.19、薬学 4.20、質問への積極性：全学 3.30、薬学 2.95、意欲の高まり：全学 4.02、薬学 4.03、学修の成果：全学 4.10、薬学 4.10)。関連学習と質問への積極性が低い傾向にある。

【6】　教員へのフィードバックについて

アンケート集計結果は、学科教員全員に対してフィードバックしている。対象科目担当教員には、それをもとに授業アンケートの実施報告書の提出を求めた。

【7】　学生へのフィードバックについて

学生に対するフィードバックは、講義最終回、定期試験実施時、セレッソのいずれかにおいて実施した。詳細は各教員が提出した報告書に記載している

【8】　学科教員からの提案、意見

各教員より提出された授業アンケート実施報告書（添付）より、有用な提案や提起された問題を以下に要約する。

＜意見・提案＞

特にありません。

【9】　総　括

薬学部では質問への積極性が低い傾向にあるものの、その他の項目は概ね全学平均よりも高い傾向にあった。今後は質問への積極性を高め学習の成果をさらに伸ばす努力を続ける必要がある。

⑮　大学教育センター

平成 31 年 3 月 25 日

大学教育センター
大塚　豊　センター長　殿

大学教育センター
センター長　　大塚　豊

平成 30 年度「学生による授業評価アンケート」の集計結果を踏まえ、本センターの授業とその成果について点検したので報告いたします。

【1】　実施期間　前期：平成 30 年 6 月 25 日（月）～平成 30 年 7 月 14 日（土）
後期：平成 30 年 12 月 17 日（月）～平成 31 年 1 月 12 日（土）

【2】　対象科目の選定

前期には、本学に勤務する大学教育センター関係の教員（非常勤講師を含む）が担当した全ての科目のうち、少人数のために回答者が特定される可能性のある科目、および演習・実習科目を除いた 88 科目、後期には同様の原則に従って一部の科目を除いた 85 科目について、本学の学修支援システムであるセレッソを使って調査を行った。ちなみに、学生の大学教育センター関係の調査実施授業科目に対する回答率は、前期 66.4%、後期 61.8%であり、全学の当該の数値である前期 57.8%、後期 51.2%より 10 ポイントずつほど高かった。

【3】　アンケート調査内容

アンケート調査の設問項目は、前期・後期ともに教員の授業の進め方への評価に関する 7 項目、学生自身の学修点検に関する 7 項目、合計 14 項目について調査した。各設問に対する回答は、設問項目を強く肯定する回答から強く否定する回答までの 5 つの選択肢より選択することとした。なお、授業の計画性を見る質問 3 では「シラバスを読んでいない」、学生からの質問に対する誠意ある態度を見る質問 6 では「質問したことがない」という選択肢をそれぞれ設けて 6 つの選択肢としている。これら 2 つの設問については「シラバスを読んでいない」、「質問したことがない」という 2 選択肢には係数を付与せず、教員の授業そのものの質をより正確に評価しうるように配慮がなされた。

【4】　調査結果の集計

調査結果は情報管理者 2 名によって集計された。集計後、各回答に係数を乗じ、全回答数で除すことで、5 点満点で評価した。強く否定する回答にも係数 1 を与えているため、標準値は 3.5 となる。なお、調査結果は、大学教育センター教育開発部門から、大学教育センター長経由で配付されたものを受理した。

【5】　調査結果に対する点検

◇「授業評価アンケート」について

評価結果の分析：以下、前期と後期に適宜分けて記述する。教員の授業評価に関する 7 項目は、教員の授業技術的設問と講義内容の妥当性を問う設問で構成されている。大学教育センター関係教員のこれら 7 項目の前期の平均は 4.44 であり、後期の平均は 4.53 であった。昨年度は 8 項目の設問であり、単純な比較はできないものの、前期の 8 項目の平均値は 4.31、後期の平均値は 4.21 であったから、これらを比較すると、今年度は前期、後期ともに平均値が上昇した。ちなみに、今年度の全学の平均値を見ると、前期 4.46、後期 4.49 であり、大学教育センター関係教員は前期には全学よりわずか 0.02 ポイントながら低く、後期には逆に 0.07 ポイント高いという結果になった。項目別では、総合的満足度を問う設問 7 の数値が前期 4.16、後期 4.36 で、昨年の当該数値である前期 4.07、後期 4.25 と比べて、いずれも上昇している。総じて担当教員による授業改善の努力を認めることができる。

分析結果を踏まえた改善方策：授業技術と講義内容に関する項目は平均すると前後期ともすべて 4 ポイントを越え、とくに計画性、授業時間、質問への誠意に関しては 4.5 を超えており、十分に適切な授業が展開されていると言いうる。大学教育センターが主として担当する全学共通教育関係の科目では、外国語科目や体育、芸術分野の科目に代表されるもののように、自らの上達が体感しやすい学修において、概ね高い評価を受けている。逆に、いわゆる教養科目に属する諸科目では、大学における教養教育の意義に対する学生の理解度が関係しているとも言えるが、評価はいくぶん低くなっている。授業の工夫に関する設問の平均値は前期 4.37、後期 4.49、講義の満足度は前期 4.16、後期 4.36 と、他の項目に比べて若干低くなっている。文字どおり学生が授業に参加しうるような、適切な授業方法の検討などの点で改善の余地がある。

◇「学生の自己点検」について

点検結果の分析：アンケート後半の 7 項目の全学の平均値である前期 3.71、後期 3.71 に対して、本センター関係の授業は、前期 3.68、後期 4.12 と、後期にかなりの向上が確認できる。ちなみに、昨年度は前期 3.64、後期 3.66 であったから、今年度は前期、後期とも昨年を上回った。但し、【質問 12】の「質問への積極性：授業内容について、質問したいと思うことはありますか？また、実際に質問しますか？」への回答が前期に全学の 3.25 に対して 3.45 と高く、【質問 14】の「学修の成果：この科目であなたが得た成果を 5 段階で自己評価してください」への回答が前期に全学の 4.10 に対して 4.12 と若干高かった他は、すべての項目において全学平均を下回った。但し、本質問に対する学生からの反応の解釈については、とりわけ単純に下すことはできない。学力や学修への姿勢が一定レベル以上（中位から上位）であれば、数値の信頼性は高いであろう。一方、下位レベルの学生が母集団に含まれ、知識、意欲・関心・態度でばらつきがあれば、少し分かっても「すごく学修した」となるし、既存の知識レベルが高ければ、「もっと知りたいことがあるのに」と「学習した気があまりしない」となり、むしろ力のある学生の「学習成果」の評価は低くなる傾向も推測しうる。また教材の設定の仕方もあり、易しくすれば、学修成果の評価が高くなることもあろうし、少し分かり難いことも含めて程度を高くすれば、評価が低くなることもありうる。

分析結果を踏まえた改善方策：比較的少人数で、学生がもともと希望して所属している専門学部・学科が提供する専門教育科目に比べて、担当教員と受講学生の関係も一般的には希薄で、当該科目の授業時

のみにほぼ限られる共通教育科目担当者はハンディを負っていると言っても決して過言ではない。従って、学生が積極的に授業に取り組むように指導することは容易ではないが、学生が単に授業時間に教室で受け身的に授業を聴くのではないように指導することが必要である。そのためには、事前・事後に適切な課題を与え、その点検を小テスト、リフレクション・ペーパーなどを用いて、授業時間中に確実に行うなどの工夫を必要とする。

【6】　教員へのフィードバックについて

アンケート集計結果は、非常勤講師を含む大学教育センター関係教員全員に対して全ての集計結果をフィードバックした。非常勤講師の場合、大学のメールシステムへのアクセスが常勤者のように容易ではないことや、インターネットを使用しない非常勤講師も含まれることから、集計結果を適時、適切に各人の手元に届けること自体に大変な労力を要する。しかし、最終的には全ての教員に、全学の傾向と対比しうるデータとともに各自の授業評価の結果を知らせることができた。

【7】　学生へのフィードバックについて

学生に対するフィードバックは講義最終回、または定期試験実施時に当該授業科目担当教員が行うこととした。しかし、これについても非常勤講師に関しては連絡などに手間取ることもあり、授業や定期試験実施の期間内に学生へのフィードバックができなかった者も生じたようであり、その場合には、セレッソ上に掲載することで学生へのフィードバックを行うことを要請した。この結果に基づき、対象科目担当教員には授業アンケート実施報告書の提出を求めた。非常勤講師については、授業がすでに終了していて連絡がつけにくいケースも多々あったが、最終的に全ての大学教育センター関係の共通教育担当教員からフィードバック報告書が提出された。

【8】　大学教育センター関係教員からの意見・提案

各教員より提出された授業アンケート結果の学生へのフィードバック報告書より、主として授業改善に関わる有用な提案や提起された問題を以下に抜粋し要約する。

＜意見・提案＞

1．学修への動機づけ、意欲・関心の喚起について

○　まずは、受講生全員が講義に集中する環境を作ること、そして何をどう理解したのかを学生自身が確認する機会を設け、質問する機会を上手く設けることだと思います。加えて、毎回課題を出して来ましたが、確実に課題をやって来るように、課題を提出させ、評価の対象にしたいと考えております。

○　講評会の時に自身の作品について発表する機会を設けた。作品制作に関わる気づきを自らの視点で客観的に捉えて述べることができていた。授業を通して美術に関わる理解を深めることができたと考える。

○　英語という教養科目に興味を持たせるために、まずは楽しい授業をしないといけない。学生のコメントに、授業が楽しいというようなコメントはあるが、満足せずに、これまで以上の努力が必要だと考える。今後は、質問の返答など、学生とのコミュニケーションの機会をさらに活用して、

学生の本音を聞き、授業の改善につなげたい。また、授業の難易度の調整と学生全員の気持ちを考え、よりよい授業ができるよう、これまで以上に努力していく。

○ ユニットごとに、質問を受け付ける具体的なアプローチを考えたいと思う。例えば、用紙を配ってそこに匿名で質問を書いてもらうといった方法や、グループ分けをして質問をまとめて発表させる、など、

○ グループごとの話し合いが活発に行われ、討議が深まっていくようにするためには、机間巡視をしながら話し合いのポイントを示し、グループごとにアドバイスするようにしていきたい。教員も時には話し合いに参加することが必要であろう。

○ 「学修の成果」の結果への対応として、意欲のある学生が、図解などのわかりやすい説明で、「わかる」「読める」という感覚を持てるようにするのと同時に、意欲や興味が低い学生に対しても、テキストの内容や視聴覚教材を吟味して選ぶことにより、より意欲や興味を喚起できるようにしたい。

○ 身近な小道具を用いた説明、演示実験等を取り入れた視覚的な授業展開をさらに拡充させていく等、講義内容を不断に修正していきたい。

2．きめ細かな丁寧な指導について

○ もっと愛情を込めて、もっと親切に教える。

○ 学生が無意識的に予習・復習でき、一方で教員にとっても競争的にならないような、両者 WinWin になれるような方策がないかを Cerezo などを活用して考えたい。

○ グループ活動で受講者皆が参加できる授業を作りたいと思います。言語を勉強するには受講人数が多い点もあり、今回は講義中心にしましたが、グループ活動によりグループ内のコミュニケーションを倍加する方法で授業を進行するつもりです。

○ 机間巡視を積極的に行い、学生の理解度を頻繁にはかるとともに、質問しやすい雰囲気作りを心がける。さらに、授業が一方通行型にならないように積極的に演習を取り入れるとともに、適切な課題を与えることにより学生の自己学修時間確保に努める。

○ 授業後に必ず出席票に不明点を記入させたことによって、次回の授業で学生が疑問に思ったことに回答して、よりポイントを押さえながら授業を進めた。

○ テストの回数を増やすことを検討したい。

3．施設・設備や教授陣について

○ 教員が使おうと考えている資料が、設備が不十分なため使えないという事態が多発している。また、報告者が担当している英語科目において、常勤の教員数が明らかに少ない。これでは、常勤教員の負担が増えるばかりで、全体を見渡して考えることができない。各教員の要望に応える姿勢すら見せず、問題を放置しておくと、最終的に学生の不利益につながるのではないだろうか。

4．アンケートの内容・方法について

○ アンケートは授業回数の最後近辺でとるのが適切だと考える。

【9】　総　括

全学共通教育を担当する大学教育センターは、専任教員の他、多数の非常勤講師による授業を提供しており、授業評価アンケートの実施では、とくに後者との連絡調整、フィードバック報告書の回収など手間暇のかかる課題が少なくない。にもかかわらず、今回のアンケート調査では、非常勤を含む対象となった全教員について、予め選定した担当科目の授業評価を滞りなく実施することができ、教員による授業の実態把握と学生の学修の進展状況に関して貴重な情報が得られた。総じて、各教員はそれぞれ担当科目の授業に真剣に取り組んでおり、例年どおり良好なレベルが保持されていることが分かった。全体として、大学教育センター関係者のアンケートへの回答率は前期 66.4%、後期 61.8%と、全学の回答率に比べ、いずれも約 10%高い数値であるが、全体として、学生の間にアンケート疲れの傾向が見られるように思われる。学生が感じる負担感をどう軽減するかが課題である。また、スマホからのアクセスによる回答で紙媒体に比べて容易になったことが、却ってアンケートに取り組む真剣さを欠き、惰性に流れる授業評価になっていないか、引き続き検討すべき課題である。

⑯　共同利用センター

平成 31 年 3 月 27 日

大学教育センター
大塚　豊　センター長　殿

科共同利用センター
センター長　鶴崎　健一

平成 30 年度「学生による授業評価アンケート」の集計結果を踏まえ、本学科の授業とその成果について点検したので報告いたします。

【1】　実施期間　前期：平成 30 年 6 月 25 日（月）～平成 30 年 7 月 14 日（土）
後期：平成 30 年 12 月 17 日（月）～平成 31 年 1 月 12 日（土）

【2】　対象科目の選定

本学に勤務する教員（非常勤講師を含む）1 人当たり前期・後期のいずれも 2 科目（原則、実習、演習を除く）のアンケートを実施する方針に従い、共同利用センターでは前期 3 科目（4 時間分）、後期 3 科目（4 時間分）について調査を行った。

【3】　アンケート調査内容

アンケート調査の設問項目は、教員の授業評価に関する 7 項目、学生自身の学習点検に関する 7 項目、合計 14 項目について調査した。各設問に対する回答は、設問項目を強く肯定する回答から強く否定する回答までの 5 つの選択肢より選択することとした。

【4】　調査結果の集計

アンケート調査および集計は Cerezo を利用して行った。

【5】　調査結果に対する点検

◇「授業評価アンケート」について

評価結果の分析：前期後期とも、全般的には全学並の評価か若干上回る評価であった。また、昨年度に比較しても改善傾向にあった。しかしながら、授業中に受講生に回答を促したものの、回答率は 5 割程度に留まった。全学平均とほぼ同じではあるが、学生の意思を探るためにも回答率を高める必要がある。

◇「学生の自己点検」について

点検結果の分析：「関連学習」の時間は若干、全学平均よりも下回ったが、それ以外は全学平均並みか若干上回る評価であり、また、全体的には昨年に比べ良い評価であった。

分析結果を踏まえた改善方策：各教員からの報告書にもあるように、時事的な要素を取り入れるなど興味関心を少しでも引き出す取り組みや、適切な課題の提示による「関連学習」の増加のための工夫を

各教員に促したい。

【6】　教員へのフィードバックについて

アンケート集計結果を各教員個別にフィードバックした。

【7】　学生へのフィードバックについて

授業時間内（主に最終回）、または Cerezo を利用して、各教員がフィードバックした。特に前期については災害の影響のため、授業時間内でのフィードバックが困難であった。

【8】　学科教員からの提案、意見

各教員より提出された授業アンケート実施報告書（添付）より、有用な提案や提起された問題を以下に要約する。

＜意見・提案＞

(1)　科学にあまり馴染みのない学生でも分かるような内容になるようパワーポイントの更なる改善、セレッソを活用した学生参加型の授業の工夫などを行なっていきたい。

(2)　最近の学生の傾向として、課題を提出しない、未完成の状態で提出する等、課題として評価できないものが多くなっている。厳しく課題提出の内容をチェックする必要がある。

(3)　関連学習」を効果的に行えるよう、学生に過重な負担にならないように工夫しながら、自宅学習用の課題の提示を工夫し、「意欲の高まり」や「学習の成果」を少しでも高めるようにしたい。

【9】　総　括

共同利用センターは、センター独自の授業科目を開講しておらず共通教育科目や学科の専門科目の一部を担当している、また、授業内容が教員間で大きく異なるため、本センター全体としての評価は難しい。一方で、教員の勤めとして、学生のための効果的な授業展開は必要である。各教員が問題意識を持って授業を担当していることはそれぞれの報告書にも記載されているので、FD などを通じて教員としての資質を高める努力を続けたい。

7. 平成 30 年度（前期）授業評価アンケート実施科目一覧

学部	学科	教員名	職名	授業科目名	講義番号	曜日	時限	受講者数
経済学部	経済学科	石丸　敬二	准教授	プログラミング基礎	E06CMS2151	木	3時限	62
経済学部	経済学科	石丸　敬二	准教授	情報処理基礎	G02INL110n	水	3時限	47
経済学部	経済学科	上迫　明	准教授	企業法Ⅰ	E06CMS2350	水	2時限	85
経済学部	経済学科	上迫　明	准教授	情報倫理	E06CMS1101	水	3時限	87
経済学部	経済学科	北浦　孝	教授	スポーツ生理学	EE6SPM1300	木	1時限	32
経済学部	経済学科	北浦　孝	教授	保健体育科教育法Ⅱ	QC7TTC2550	月	2時限	23
経済学部	経済学科	高阪　勇毅	講師	金融システム	EE6GME2352	水	3時限	252
経済学部	経済学科	高阪　勇毅	講師	コーポレートファイナンス	EA6ABA2350	木	4時限	84
経済学部	経済学科	高羅　ひとみ	講師	ミクロ経済学	E05MBS1101	火/木	1時限/4時限	50
経済学部	経済学科	高羅　ひとみ	講師	租税論	EE6GME2251	水	2時限	77
経済学部	経済学科	中村　和裕	助教	現代スポーツ論Ⅰ	EE6SPM1101	火	4時限	76
経済学部	経済学科	中村　和裕	助教	スポーツ理論Ⅰ	EE6SPM1201	木	4時限	84
経済学部	経済学科	野田　光太郎	講師	コーチ学Ⅰ	EE6SPM2401	木	1時限	69
経済学部	経済学科	野田　光太郎	講師	スポーツ経済学Ⅰ	EE6SPM2101	木	4時限	119
経済学部	経済学科	早川　達二	教授	日本経済論（昭和期）	EE6GME3201	火	1時限	208
経済学部	経済学科	早川　達二	教授	マクロ経済学	E05MBS1151	月/水	3時限/1時限	93
経済学部	経済学科	春名　章二	教授	経済入門	EE5MBS1100	水	2時限	98
経済学部	経済学科	春名　章二	教授	ミクロ経済学	E05MBS1102	火/金	4時限/3時限	120
経済学部	経済学科	平田　宏二	教授	地方財政論基礎	EE6GME3521	金	3時限	155
経済学部	経済学科	藤本　倫史	講師	スポーツ経営学	EE6SPM3251	木	2時限	84
経済学部	経済学科	藤本　倫史	講師	スポーツ社会学	EE6SPM3352	水	1時限	76
経済学部	経済学科	三川　敦	教授	経済数学	E05MBS1453	木	2時限	35
経済学部	経済学科	三川　敦	教授	経済数学	E05MBS1451	火	2時限	61
経済学部	経済学科	吉田　卓史	准教授	体育（１）	G03AHS144m	水	2時限	38
経済学部	経済学科	吉田　卓史	准教授	スポーツマネジメント論	EE6SPM2201	火	4時限	78
経済学部	経済学科	李　森	教授	社会保障論	EE6GME3401	水	2時限	96
経済学部	経済学科	李　森	教授	労働経済論Ⅰ	EE6GME3441	月	2時限	96
経済学部	経済学科	岡本　隼輔	非常勤講師	経済統計学Ⅰ	EE6GME2101	火	2時限	116
経済学部	経済学科	岡本　隼輔	非常勤講師	計量経済学	EE6GME3601	火	3時限	35
経済学部	経済学科	勝矢　倫生	非常勤講師	日本経済史	EE6GME2301	金	2時限	153
経済学部	経済学科	新谷　士朗	非常勤講師	体育（１）	G03AHS144c	火	2時限	40
経済学部	経済学科	新谷　士朗	非常勤講師	スポーツ心理学	EE6SPM3450	金	4時限	73
経済学部	経済学科	大和証券	非常勤講師	証券市場論	EE6GME3842	水	4時限	31
経済学部	経済学科	田邉　一洋	非常勤講師	スポーツとメディア	EE6SPM3400	金	1時限	71
経済学部	経済学科	畑本　佳恵	非常勤講師	情報処理基礎	G02INL110o	水	4時限	64
経済学部	経済学科	畑本　佳恵	非常勤講師	情報処理基礎	G02INL110p	木	4時限	47
経済学部	経済学科	門田　新一郎	非常勤講師	学校保健論	EE6SPM1350	金	5時限	33
経済学部	経済学科	若松　直幸	非常勤講師	経済学史	EE6GME3760	金	4時限	8
経済学部	経済学科	若松　直幸	非常勤講師	ミクロ経済政策	EE6GME3281	金	5時限	59
経済学部	国際経済学科	足立　浩一	教授	専門英語	G02ENG350e	月	5時限	23
経済学部	国際経済学科	足立　浩一	教授	マーケティング論Ⅰ	EE6ACM2202	水	2時限	53
経済学部	国際経済学科	尾田　温俊	教授	ＥＵ経済論Ⅰ	EE6IEC3252	水	2時限	50
経済学部	国際経済学科	尾田　温俊	教授	経済学（１）	G03SSL1400	月	1時限	66
経済学部	国際経済学科	尾田　温俊	教授	経済学演習Ⅰ	E06CMS310f	火	3時限	4
経済学部	国際経済学科	中村　博	准教授	英語マスターⅠ	EI6IEC1301	月	2時限	15
経済学部	国際経済学科	中村　博	准教授	国際学	EI6IEC2630	月	3時限	41
経済学部	国際経済学科	鍋島　正次郎	准教授	備後地場産業論	EA6ABA3962	火	3時限	27
経済学部	国際経済学科	鍋島　正次郎	准教授	地域経済論	EE6IEC2151	金	1時限	190
経済学部	国際経済学科	萩野　覚	教授	マクロ経済学	E05MBS1152	月/火	4時限/2時限	63
経済学部	国際経済学科	萩野　覚	教授	英語で学ぶ国際経済Ⅰ	EI6IEC2721	火	4時限	32
経済学部	国際経済学科	Bisset　Ian　James	准教授	ビジネス英語Ⅰ	EI6IEC1201	木	1時限	58
経済学部	国際経済学科	Bisset　Ian　James	准教授	国際金融論	EE6IEC3202	月	2時限	48
経済学部	国際経済学科	冨士　彰夫	教授	アメリカ経済論Ⅰ	EI6IEC2180	木	1時限	125
経済学部	国際経済学科	藤本　浩由	講師	オープンマクロ経済学	EE6IEC3150	水	1時限	152

経済学部	国際経済学科	藤本　浩由	講師	貿易概論	EE6IEC3102	木	1時限	124
経済学部	国際経済学科	劉　曙麗	講師	中国経済論Ⅰ	EE6IEC2301	木	3時限	156
経済学部	国際経済学科	劉　曙麗	講師	アジア経済論	EI6IEC3451	水	2時限	34
経済学部	国際経済学科	平山　亮	客員教授	アジアビジネス事情Ⅰ	EE6IEC3350	金	3時限	26
経済学部	国際経済学科	平山　亮	客員教授	アジア直接投資論Ⅰ	EI6IEC3601	木	3時限	37
経済学部	国際経済学科	向井　洋	客員教授	金融から見える世界Ⅰ	EE6IEC2401	水	5時限	42
経済学部	税務会計学科	泉　潤慈	教授	税法概論Ⅰ	EA6ABA2761	月	3時限	58
経済学部	税務会計学科	泉　潤慈	教授	所得税法	EA6ABA3901	月	2時限	38
経済学部	税務会計学科	大上　麻海	助教	経営組織論Ⅰ	EE6ACM3201	木	3時限	42
経済学部	税務会計学科	大上　麻海	助教	人的資源管理	EA6ABA3350	水	3時限	7
経済学部	税務会計学科	大城　朝子	講師	経営学Ⅰ	EE6ACM2101	木	2時限	243
経済学部	税務会計学科	大城　朝子	講師	経営戦略論Ⅰ	EE6ACM3101	水	3時限	40
経済学部	税務会計学科	許　霽	教授	監査論Ⅰ	EA6ABA3803	火	2時限	36
経済学部	税務会計学科	許　霽	教授	基礎簿記Ⅰ	E05MBS1203	金	2時限	164
経済学部	税務会計学科	小林　正和	教授	プレゼンテーション	E06CMS2101	木	1時限	13
経済学部	税務会計学科	小林　正和	教授	販売管理論Ⅰ	EA6ABA2500	火	4時限	58
経済学部	税務会計学科	関下　弘樹	講師	会計学総論Ⅰ	EA6ABA1101	木	1時限	69
経済学部	税務会計学科	関下　弘樹	講師	基礎簿記Ⅰ	E05MBS1201	月	2時限	143
経済学部	税務会計学科	張　楓	准教授	地域調査Ⅱ	EA6ABA2972	月	4,5時限	25
経済学部	税務会計学科	張　楓	准教授	経営史	EA6ABA2400	木	3時限	23
経済学部	税務会計学科	荒木　純子	非常勤講師	基礎簿記Ⅱ	E05MBS1255	月	4時限	48
経済学部	税務会計学科	池下　泰宏	非常勤講師	税務会計Ⅰ	EA6ABA3701	金	2時限	24
経済学部	税務会計学科	津守　貴之	非常勤講師	流通システム	EA6ABA2450	木	1時限	12
人間文化学部	人間文化学科	青木　美保	教授	日本語表現法１	G02JNE1153	火	2時限	56
人間文化学部	人間文化学科	青木　美保	教授	日本近現代文学研究１	HA6LIT2160	火	3時限	19
人間文化学部	人間文化学科	市瀬　信子	併任教授	中国近世文化研究１	HA6LIT3260	金	4時限	7
人間文化学部	人間文化学科	小原　友行	教授	人文地理（１）	G03HIC1300	水	2時限	102
人間文化学部	人間文化学科	小原　友行	教授	自然地理（１）	G03NAS1750	火	4時限	65
人間文化学部	人間文化学科	重迫　隆司	教授	現代芸術とサブカルチャー論	HA6HIC2340	金	2時限	37
人間文化学部	人間文化学科	重迫　隆司	教授	日英比較文化１	HA6ETH2400	水	3時限	43
人間文化学部	人間文化学科	白　雨田	非常勤講師	東アジアの歴史と文化１	HA6HIC2160	金	4時限	52
人間文化学部	人間文化学科	白　雨田	非常勤講師	中国語表現法１	HA6ETH2160	金	3時限	28
人間文化学部	人間文化学科	原　千史	教授	ヨーロッパの社会と思想１	HA6ETH3470	月	3時限	15
人間文化学部	人間文化学科	原　千史	教授	ドイツ語表現法１	HA6ETH2220	水	2時限	14
人間文化学部	人間文化学科	藤川　功和	非常勤講師	日本の中世文学１	HA6LIT3420	火	3時限	22
人間文化学部	人間文化学科	藤本　真理子	非常勤講師	日本語の歴史１	HA6ETH3530	火	4,5時限	8
人間文化学部	人間文化学科	古川　瓔子	講師	民法Ⅰ	E06CMS2250	火	2時限	87
人間文化学部	人間文化学科	古川　瓔子	講師	法学概論（１）	G03SSL1200	金	3時限	154
人間文化学部	人間文化学科	柳川　真由美	講師	日本近世の政治と文化１	HA6HIC3220	水	2時限	23
人間文化学部	人間文化学科	柳川　真由美	講師	日本史（１）	G03HIC1105	月	4時限	151
人間文化学部	人間文化学科	脇　忠幸	准教授	日本語表現法１	G02JNE1152	火	2時限	67
人間文化学部	人間文化学科	脇　忠幸	准教授	日本語学概論１	HA6ETH2100	火	4時限	54
人間文化学部	人間文化学科	佐藤　昭嗣	非常勤講師	日本古代の社会と文化１	HA6HIC3160	木	1時限	23
人間文化学部	人間文化学科	佐藤　和博	非常勤講師	文化企画実習Ⅱ	HA6RPE2100	水	4時限	42
人間文化学部	人間文化学科	田野　慎二	非常勤講師	日本王朝文学研究１	HA6LIT2100	木	1時限	22
人間文化学部	人間文化学科	津口　在五	非常勤講師	ヨーロッパ美術史１	HA6HIC2280	火	3時限	37
人間文化学部	人間文化学科	村上　亮	講師	生活文化史	H05BFS1250	金	2時限	105
人間文化学部	人間文化学科	村上　亮	講師	世界史（１）	G03HIC1200	水	1時限	150
人間文化学部	人間文化学科	貝嶋　崇	非常勤講師	イギリス文化入門	HA5BDS1350	他	その他	9
人間文化学部	心理学科	青野　篤子	教授	社会心理学	HP6MAS2300	金	2時限	140
人間文化学部	心理学科	青野　篤子	教授	専門英語	G02ENG350h	火	3時限	42
人間文化学部	心理学科	赤澤　淳子	教授	生涯発達心理学	HP6MAS3600	木	2時限	50
人間文化学部	心理学科	金平　希	助教	障害者心理学	HP6MAS2450	月	4時限	53
人間文化学部	心理学科	谷口　敏淳	准教授	健康心理学	HP6MAS2700	火	1時限	63
人間文化学部	心理学科	野寺　綾	准教授	社会調査法	HP6MAS2350	火	2時限	60
人間文化学部	心理学科	野寺　綾	准教授	心理統計法Ⅰ	HP6MAS2150	月	2時限	125
人間文化学部	心理学科	平　伸二	教授	生理心理学	HP6MAS3650	水	1時限	54
人間文化学部	心理学科	平　伸二	教授	心理学概論	H05BFS1101	木	1時限	83
人間文化学部	心理学科	松本　明生	准教授	心と健康	G03THC1200	火	1時限	189
人間文化学部	心理学科	宮﨑　由樹	講師	認知心理学	HP6MAS3550	月	1時限	54

人間文化学部	心理学科	山崎　理央	准教授	臨床心理学	HP6MAS2250	水	3時限	63
人間文化学部	心理学科	栗延　孟	非常勤講師	福祉心理学	HP6ADS3250	他	その他	75
人間文化学部	心理学科	山田　健吾	非常勤講師	関係行政論	HP6RLS3350	他	その他	53
人間文化学部	メディア・映像学科	阿部　純	講師	メディア文化論	G03HIC1650	木	4時限	120
人間文化学部	メディア・映像学科	阿部　純	講師	メディアと調査	HM6FUR2100	木	3時限	28
人間文化学部	メディア・映像学科	田中　聡	准教授	通信工学	TA6EEC3100	木	1時限	4
人間文化学部	メディア・映像学科	田中　聡	准教授	電波工学	TA6EEC3150	木	3時限	10
人間文化学部	メディア・映像学科	田中　始男	教授	メディアと調査	HM6FUR2100	木	3時限	28
人間文化学部	メディア・映像学科	田中　始男	教授	情報セキュリティ	HM6RAR3150	月	3時限	20
人間文化学部	メディア・映像学科	筒本　和広	教授	情報処理基礎	G02INL110b	月	2時限	55
人間文化学部	メディア・映像学科	筒本　和広	教授	情報処理基礎	G02INL110k	金	4時限	39
人間文化学部	メディア・映像学科	筒本　和広	教授	情報処理基礎	G02INL110s	木	4時限	62
人間文化学部	メディア・映像学科	安田　暁	教授	メディアデザイン論	HM6FSU1250	金	2時限	40
人間文化学部	メディア・映像学科	安田　暁	教授	色彩論	H05BFS1200	月	1時限	144
人間文化学部	メディア・映像学科	安田　暁	教授	写真論	HM6EPR2300	火	2時限	21
人間文化学部	メディア・映像学科	大谷　治	非常勤講師	メディア応用実習	HM6EPR3350	火/木	4,5時限/4,5時限	25
人間文化学部	メディア・映像学科	佐野　政美	非常勤講師	メディア応用実習	HM6EPR3350	火/木	4,5時限/4,5時限	25
人間文化学部	メディア・映像学科	大塚　勉	非常勤講師	グラフィックデザイン	HM6EPR2100	木	1,2時限	31
人間文化学部	メディア・映像学科	渡辺　浩司	准教授	ゲームメディア論	HM6FUR2150	月	4時限	31
人間文化学部	メディア・映像学科	内垣戸　貴之	准教授	メディア表現入門	HM5BDS1150	木	1時限	40
人間文化学部	メディア・映像学科	井ノ上　美恵子	非常勤講師	マスメディア論	HM6FSU1100	火	2,3時限	48
人間文化学部	メディア・映像学科	田中　聡登	非常勤講師	広告制作	HM6EPR3100	水	3,4時限	23
人間文化学部	メディア・映像学科	山本　光秀	非常勤講師	サウンドデザイン	HM6EPR3150	水	3,4時限	23
人間文化学部	メディア・映像学科	渡辺　敏恵	非常勤講師	アナウンス	HM6EPS1100	金	3時限	35
工学部	スマートシステム学科	安保　悦朗	非常勤講師	工業科教育法	QC7TTC3330	木	4時限	5
工学部	スマートシステム学科	安保　悦朗	非常勤講師	職業指導	QC7TTC3601	木	5時限	5
工学部	スマートシステム学科	沖　俊任	准教授	ＣＡＥ	TA6COM3100	木	5時限	9
工学部	スマートシステム学科	沖　俊任	准教授	ものづくり加工法	TA6COM2100	金	1時限	21
工学部	スマートシステム学科	香川　直己	教授	回路理論Ⅱ	TA6EEC2150	月	2時限	17
工学部	スマートシステム学科	香川　直己	教授	電子基礎	TA6EEC1100	火	1時限	15
工学部	スマートシステム学科	伍賀　正典	准教授	ロボット応用	TA6CSE4100	月	2時限	6
工学部	スマートシステム学科	伍賀　正典	准教授	教養ゼミ（教養講座を含む）	G01FYE110m	月	3時限	17
工学部	スマートシステム学科	菅原　聡	准教授	デジタルシステム	TA6EEC2250	木	4時限	23
工学部	スマートシステム学科	菅原　聡	准教授	電気磁気学Ⅱ	TA6EEC2100	木	3時限	18
工学部	スマートシステム学科	関田　隆一	准教授	みらい工学プロジェクト	T06PBL1107	月	5時限	11
工学部	スマートシステム学科	関田　隆一	准教授	物理学Ⅰ	TG5FUS1200	水	1時限	63
工学部	スマートシステム学科	仲嶋　一	教授	基礎電気工学	LM5PHS2100	木	3時限	60
工学部	スマートシステム学科	仲嶋　一	教授	電子物理	TA6EEC2200	木	2時限	21
工学部	スマートシステム学科	三谷　康夫	教授	計測工学	TA6CSE2150	水	2時限	21
工学部	スマートシステム学科	三谷　康夫	教授	工業数学Ⅰ	TA5FUS1200	火	2時限	22
工学部	スマートシステム学科	宮内　克之	教授	防災工学	TG6SSE2100	火	1時限	106
工学部	スマートシステム学科	宮内　克之	教授	地域防災基礎	G03RST1250	水	4時限	231
工学部	建築学科	伊澤　康一	講師	専門英語	G02ENG350k	木	3時限	51
工学部	建築学科	伊澤　康一	講師	建築環境工学Ⅰ	TK6FUA2400	木	4時限	85
工学部	建築学科	大島　秀明	教授	建築設計演習Ⅰ	TK6ARC3350	月	3,4時限	27
工学部	建築学科	大島　秀明	教授	都市計画	TK6COM3200	水	1時限	65
工学部	建築学科	酒井　要	助教	ＣＡＤ演習Ⅰ	TK6COM2150	金	3,4時限	70
工学部	建築学科	酒井　要	助教	ＣＧ演習	TK6COM3100	火	1,2時限	47
工学部	建築学科	佐々木　伸子	准教授	住宅計画	TK6FUA1250	月	2時限	82
工学部	建築学科	佐藤　圭一	教授	日本建築史	TK6COM2501	月	2時限	83
工学部	建築学科	佐藤　圭一	教授	近代建築史	TK6COM3300	水	2時限	23
工学部	建築学科	田辺　和康	教授	地学	LB5ERS1900	木	1時限	60
工学部	建築学科	田辺　和康	教授	測量学及び実習	TK6COM3750	金	1,2時限	25
工学部	建築学科	都祭　弘幸	教授	建築構造Ⅱ	TK6ARE3300	木	1時限	36
工学部	建築学科	都祭　弘幸	教授	静定力学Ⅱ	TK6FUA2451	金	2時限	91
工学部	建築学科	藤原　美樹	准教授	建築計画Ⅰ	TK6FUA2300	月	1時限	104
工学部	建築学科	藤原　美樹	准教授	デザイン論	TK5FUS1250	水	2時限	77
工学部	建築学科	宮地　功	教授	建築製図演習Ⅰ	TK6FUA1160	月	3,4時限	82
工学部	建築学科	宮地　功	教授	建築積算	TK6COM4150	水	2時限	40
工学部	建築学科	宮地　功	教授	設計製図演習Ⅲ	TK6FUA2100	火	3,4時限	66

工学部	建築学科	山田　明	准教授	建築材料	TK6FUA2600	木	3時限	85
工学部	建築学科	山田　明	准教授	構造・力学入門	TK6FUA1300	金	2時限	83
工学部	建築学科	秋岡　昌彦	非常勤講師	造形演習Ⅱ	TK5FUS2100	木	1,2時限	22
工学部	建築学科	島田　美和子	非常勤講師	生活デザイン演習Ⅳ	TK6LED3150	水	3,4時限	13
工学部	情報工学科	池岡　宏	講師	みらい工学プロジェクト	T06PBL1109	月	5時限	17
工学部	情報工学科	池岡　宏	講師	コンピュータグラフィックス	TI6APP2200	木	2時限	41
工学部	情報工学科	占部　逸正	教授	基礎数学Ⅰ	TI5FUS1100	木	4時限	25
工学部	情報工学科	占部　逸正	教授	論理回路	TI6HAR2100	月	3時限	47
工学部	情報工学科	尾関　孝史	教授	情報工学入門(情報化社会と倫理)	TI6COM1100	火	3時限	57
工学部	情報工学科	尾関　孝史	教授	プログラミング応用	TI6SOF2100	木	3時限	40
工学部	情報工学科	金子　邦彦	教授	コンピューターサイエンス	TI6COM1150	金	2時限	51
工学部	情報工学科	金子　邦彦	教授	アセンブラ	TI6HAR3100	金	4時限	36
工学部	情報工学科	新谷　敏朗	准教授	データ構造とアルゴリズム	TI6SOF2150	金	4時限	45
工学部	情報工学科	新谷　敏朗	准教授	ゲームプログラミング	TI6SOF3150	月	2時限	9
工学部	情報工学科	中道　上	准教授	みらい工学プロジェクト	T06PBL1103	月	5時限	19
工学部	情報工学科	中道　上	准教授	安全情報システム	TI6SSE3150	火	1時限	67
工学部	情報工学科	宮崎　光二	准教授	コンピュータネットワーク	TI6NET2100	水	2時限	40
工学部	情報工学科	宮崎　光二	准教授	Ｊａｖａ入門	TI6SOF3250	月	4時限	37
工学部	情報工学科	森田　翔太	助教	情報処理技術Ⅱ	TI6COM3100	月	3時限	9
工学部	情報工学科	森田　翔太	助教	Ｗｅｂプログラミング	TI6NET3100	水	1時限	25
工学部	情報工学科	山之上　卓	教授	専門英語	G02ENG350I	金	2時限	35
工学部	機械システム工学科	内田　博志	教授	エンジンデザイン	TG6MSB3100	金	3時限	24
工学部	機械システム工学科	内田　博志	教授	エンジンシステム	TG6MSA3300	月	3時限	29
工学部	機械システム工学科	加藤　昌彦	教授	要素設計学	TG6MSA2200	木	2時限	32
工学部	機械システム工学科	加藤　昌彦	教授	自動車力学	TG6AME3150	木	3時限	17
工学部	機械システム工学科	木村　純壮	教授	工業数学Ⅱ	TG5FUS2100	金	4時限	14
工学部	機械システム工学科	木村　純壮	教授	制御システム設計	TG6MSA3250	金	2時限	20
工学部	機械システム工学科	小林　正明	講師	自動車整備工学	TG6CMT3150	火	2時限	9
工学部	機械システム工学科	小林　正明	講師	計測工学	TG6MSA2800	水	1時限	18
工学部	機械システム工学科	坂口　勝次	教授	熱力学	TG6MSA2500	月	3時限	46
工学部	機械システム工学科	坂口　勝次	教授	エンジンデザイン	TG6MSB3100	金	3時限	24
工学部	機械システム工学科	関根　康史	准教授	機械設計製図基礎	TG6MSA1150	火	5時限	29
工学部	機械システム工学科	関根　康史	准教授	メカニカルデザイン	TG6MSB3150	火	3時限	28
工学部	機械システム工学科	中東　潤	准教授	デジタルデザイン	TG6MSB2100	月	4時限	39
工学部	機械システム工学科	中東　潤	准教授	機能材料学	TG6MSA2400	火	4時限	25
工学部	機械システム工学科	真鍋　圭司	教授	工業力学	TG6MSA2100	水	3時限	43
工学部	機械システム工学科	真鍋　圭司	教授	数学Ⅰ	TG5FUS1100	金	3時限	29
工学部	機械システム工学科	靍﨑　展	客員教授	流体工学	TG6MSA2450	金	3時限	42
生命工学部	生物工学科	磯﨑　哲夫	非常勤講師	理科教育法研究	QC7TTC3840	火	4時限	12
生命工学部	生物工学科	磯﨑　哲夫	非常勤講師	理科教育法	QC7TTC3810	火	3時限	12
生命工学部	生物工学科	岩本　博行	教授	食品化学	LB6BII2300	木	2時限	40
生命工学部	生物工学科	岩本　博行	教授	化学Ⅰ	LB5CHE1600	月/金	1時限/2時限	41
生命工学部	生物工学科	太田　雅也	教授	構造生化学	LB5BCH2700	月	1時限	51
生命工学部	生物工学科	太田　雅也	教授	環境分析学	LB6ABI3850	火/木	1時限/2時限	57
生命工学部	生物工学科	秦野　琢之	教授	微生物培養工学	LB6ABI3200	月	2時限	55
生命工学部	生物工学科	秦野　琢之	教授	微生物育種学	LB6BII2200	火/金	2時限/2時限	46
生命工学部	生物工学科	原口　博行	教授	生物学Ⅰ	LB5BIO1400	月	2時限	49
生命工学部	生物工学科	原口　博行	教授	植物栄養生理学	LB6BII2500	水	2時限	46
生命工学部	生物工学科	久冨　泰資	教授	分子生物学	LB6BII2100	火/金	2時限/2時限	49
生命工学部	生物工学科	久冨　泰資	教授	多様性生物学	LB6BII4800	月	1時限	14
生命工学部	生物工学科	広岡　和丈	准教授	バイオ演習Ⅱ	LB5PRA2900	月	2時限	43
生命工学部	生物工学科	広岡　和丈	准教授	化学Ⅱ	LB5CHE1620	月/金	1時限/2時限	44
生命工学部	生物工学科	松崎　浩明	教授	生物学Ⅱ	LB5BIO1100	水	1時限	49
生命工学部	生物工学科	山口　泰典	教授	動物資源学	LB6BII2400	火	1時限	40
生命工学部	生物工学科	山口　泰典	教授	動物機能利用学	LB6ABI3400	金	1時限	53
生命工学部	生物工学科	山本　覚	教授	代謝生化学	LB5BCH3700	火/木	1時限/2時限	55
生命工学部	生物工学科	山本　覚	教授	動物生理学	LB6BII2420	金	1時限	48
生命工学部	生物工学科	吉﨑　隆之	講師	機能生化学	LB5BCH3720	火	2時限	28
生命工学部	生命栄養科学科	石井　香代子	教授	食と健康	G03AHS1561	火	3,4時限	12
生命工学部	生命栄養科学科	石井　香代子	教授	給食マネジメントⅡ	LN6FSM3101	金	2時限	42

生命工学部	生命栄養科学科	井ノ内　直良	教授	有機化学	LN5CHE1150	金	2時限	30
生命工学部	生命栄養科学科	井ノ内　直良	教授	専門英語	G02ENG350o	水	2時限	40
生命工学部	生命栄養科学科	菊田　安至	教授	分子生物学	LN5BMD2100	水	1時限	40
生命工学部	生命栄養科学科	菊田　安至	教授	生体機能学	LN5BMD3101	月	1時限	43
生命工学部	生命栄養科学科	久保田　みどり	准教授	臨床栄養学Ⅱ	LN6CLN3251	木	2時限	43
生命工学部	生命栄養科学科	久保田　みどり	准教授	栄養カウンセリング論	LN6NLC4100	月	2時限	38
生命工学部	生命栄養科学科	近藤　寛子	助教	フードコーディネート論	LN6FPS3750	火	2時限	7
生命工学部	生命栄養科学科	近藤　寛子	助教	調理学実習Ⅱ	LN5FOH2400	他	その他	36
生命工学部	生命栄養科学科	柴田　紗知	助教	応用栄養学Ⅰ	LN6APN2100	木	2時限	37
生命工学部	生命栄養科学科	柴田　紗知	助教	応用栄養学実習	LN6APN2250	他	その他	37
生命工学部	生命栄養科学科	田中　信一郎	教授	疾患学総論	LN5BMD2200	月	2時限	39
生命工学部	生命栄養科学科	田中　信一郎	教授	健康管理概論	LN5SHE1100	水	2時限	26
生命工学部	生命栄養科学科	中﨑　千尋	助教	フードスペシャリスト論	LN6FPS3700	木	2時限	7
生命工学部	生命栄養科学科	中﨑　千尋	助教	地域公衆栄養学	LN6PHN3101	月	2時限	42
生命工学部	生命栄養科学科	西　彰子	准教授	栄養教育論実習	LN6NUE3201	他	その他	42
生命工学部	生命栄養科学科	西　彰子	准教授	栄養教育論Ⅱ	LN6NUE3101	火	2時限	42
生命工学部	生命栄養科学科	村上　泰子	准教授	応用栄養学Ⅱ	LN6APN2150	金	1時限	40
生命工学部	生命栄養科学科	村上　泰子	准教授	臨床栄養学実習Ⅱ	LN6CLN3351	他	その他	43
生命工学部	生命栄養科学科	山本　英二	教授	食品の製造と保存	LN5FOH3101	木	1時限	43
生命工学部	生命栄養科学科	山本　英二	教授	基礎化学	LN5CHE1100	月	1時限	33
生命工学部	生命栄養科学科	岡部　真智子	併任教授	社会福祉概論	LN5SHE2200	水	2時限	41
生命工学部	生命栄養科学科	髙橋　知佐子	非常勤講師	地域公衆栄養学	LN6PHN3101	月	2時限	42
生命工学部	生命栄養科学科	福田　伸治	非常勤講師	食品衛生学	LN5FOH2150	木	1時限	38
生命工学部	生命栄養科学科	渡邊　浩志	客員教授	解剖生理学Ⅱ	LN5BMD2150	火	2時限	38
生命工学部	海洋生物科学科	有瀧　真人	教授	増養殖学	LM6RUD3102	水	1時限	65
生命工学部	海洋生物科学科	有瀧　真人	教授	魚類解剖学	LM6MCS2250	金	2時限	109
生命工学部	海洋生物科学科	北口　博隆	准教授	沿岸域の環境と生物	LM6FIE3102	水	2時限	85
生命工学部	海洋生物科学科	北口　博隆	准教授	暮らしと微生物	LM5BIO2150	火	1時限	104
生命工学部	海洋生物科学科	倉掛　昌裕	教授	微生物発酵と食品	LM6MFS3151	火	1時限	50
生命工学部	海洋生物科学科	倉掛　昌裕	教授	食品衛生学	LB6BII3300	金	2時限	109
生命工学部	海洋生物科学科	阪本　憲司	准教授	生物学Ⅱ	LM5BIO1151	火	1時限	112
生命工学部	海洋生物科学科	阪本　憲司	准教授	魚学概論	LM6MCS1100	水	1時限	114
生命工学部	海洋生物科学科	髙田　浩二	教授	水族館論	LM6AQS3252	月	3時限	76
生命工学部	海洋生物科学科	髙田　浩二	教授	博物館概論	LM6AQS3201	月	4時限	77
生命工学部	海洋生物科学科	高村　克美	教授	動物組織学	LM6MCS2300	水	1時限	101
生命工学部	海洋生物科学科	高村　克美	教授	生物学Ⅰ	LM5BIO1100	金	2時限	109
生命工学部	海洋生物科学科	水上　雅晴	講師	観賞魚の飼育と繁殖	LM6AQS3102	月	1時限	66
生命工学部	海洋生物科学科	水上　雅晴	講師	魚類生理学	LM6MCS2200	金	1時限	120
生命工学部	海洋生物科学科	満谷　淳	教授	専門英語	G02ENG350p	木	1時限	19
生命工学部	海洋生物科学科	満谷　淳	教授	化学Ⅰ	LM5CHE1101	月	2時限	59
生命工学部	海洋生物科学科	南　卓志	教授	沿岸域の水産業	LM6FIE3202	金	1時限	67
生命工学部	海洋生物科学科	南　卓志	教授	遺伝資源の利用と管理	LM6RUD4103	火	1時限	20
生命工学部	海洋生物科学科	三輪　泰彦	教授	生化学	LM5CHE2100	月	2時限	102
生命工学部	海洋生物科学科	三輪　泰彦	教授	バイオテクノロジー入門	LB6OTS1900	金	1時限	21
生命工学部	海洋生物科学科	山岸　幸正	准教授	生物学Ⅰ	LM5BIO1100	金	2時限	109
生命工学部	海洋生物科学科	山岸　幸正	准教授	フィールド調査法	LM6FIE3152	火	2時限	50
生命工学部	海洋生物科学科	渡辺　伸一	准教授	フィールド調査法	LM6FIE3152	火	2時限	50
生命工学部	海洋生物科学科	渡辺　伸一	准教授	生物統計学	LM5BIO2100	水	2時限	77
薬学部	薬学科	赤﨑　健司	教授	社会・集団と健康	PP6HLS4151	木	1時限	136
薬学部	薬学科	赤﨑　健司	教授	実感する化学	G03NAS1550	木	3時限	54
薬学部	薬学科	石津　隆	教授	医薬品管理	PP6LAS4101	金	1時限	144
薬学部	薬学科	石津　隆	教授	薬学の基礎となる化学A	PP5MBS1340	木	2時限	128
薬学部	薬学科	井上　敦子	教授	生体機能の調節Ⅱ	PP6CLP2140	金	3時限	141
薬学部	薬学科	井上　敦子	教授	循環器系・腎疾患の薬・病態・治療	PP6CLP3100	水	2時限	154
薬学部	薬学科	井上　裕文	教授	薬局方収載の試験法	PP6PHY3151	水	1時限	141
薬学部	薬学科	井上　裕文	教授	基礎分析化学A	PP5MBS1260	月	2時限	129
薬学部	薬学科	江藤　精二	教授	悪性腫瘍の薬・病態・治療	PP6CLP4180	火	1時限	142
薬学部	薬学科	江藤　精二	教授	ファーマシューテイカルケア総合演習	PP6PET6300	他	その他	140
薬学部	薬学科	大西　正俊	講師	生体機能の調節Ⅱ	PP6CLP2140	金	3時限	141
薬学部	薬学科	大西　正俊	講師	循環器系・腎疾患の薬・病態・治療	PP6CLP3100	水	2時限	154

薬学部	薬学科	岡村　信幸	教授	薬になる動植鉱物	PP6CHE2351	火	2時限	134
薬学部	薬学科	岡村　信幸	教授	漢方医学概説	PP6CLP1100	水	2時限	132
薬学部	薬学科	片山　博和	教授	ＤＤＳ	PP6CLP4500	他	その他	9
薬学部	薬学科	金尾　義治	教授	薬学英語Ⅱ	G02ENG3990	木	2時限	7
薬学部	薬学科	金尾　義治	教授	薬物の臓器への到達と消失	PP6CLP3620	火	1時限	146
薬学部	薬学科	上敷領　淳	准教授	生体エネルギー代謝	PP6BIO2100	木	2時限	142
薬学部	薬学科	上敷領　淳	准教授	疾病の予防	PP6HLS4101	木	3時限	141
薬学部	薬学科	木平　孝高	講師	統合型症例検討演習	PP6CLP4280	月/火	3,4,5時限/3,4,5時限	133
薬学部	薬学科	木平　孝高	講師	テーラーメイド薬物治療	PP6CLP4780	他	その他	10
薬学部	薬学科	小嶋　英二朗	教授	機器分析学	PP6PHY2200	木	1時限	133
薬学部	薬学科	小嶋　英二朗	教授	基礎分析化学Ａ	PP5MBS1260	月	2時限	129
薬学部	薬学科	五郎丸　剛	准教授	患者情報	PP6CLP4740	他	その他	9
薬学部	薬学科	五郎丸　剛	准教授	医薬品の安定供給と社会保障制度	PP6LAS4150	月	2時限	144
薬学部	薬学科	今　重之	教授	免疫・炎症・アレルギー疾患の薬物治療	PP6CLP4100	月	1時限	141
薬学部	薬学科	今　重之	教授	感染症の薬物治療	PP6CLP4300	木	2時限	132
薬学部	薬学科	坂根　洋	講師	社会・集団と健康	PP6HLS4151	木	1時限	136
薬学部	薬学科	坂根　洋	講師	化学物質の生体への影響	PP6HLS3100	月	1時限	148
薬学部	薬学科	佐藤　英治	教授	基礎病態解析学	PP6CLP4580	他	その他	10
薬学部	薬学科	佐藤　英治	教授	医療の担い手の心構え	PP6CLP4860	他	その他	10
薬学部	薬学科	白川　真	講師	物質の状態	PP6PHY2100	金	1時限	135
薬学部	薬学科	白川　真	講師	薬学の基礎としての数学Ａ	PP5MBS1180	月	1時限	127
薬学部	薬学科	杉原　成美	教授	化学物質の生体への影響	PP6HLS3100	月	1時限	148
薬学部	薬学科	杉原　成美	教授	疾病の予防	PP6HLS4101	木	3時限	141
薬学部	薬学科	瀬尾　誠	講師	実感する化学	G03NAS1550	木	3時限	54
薬学部	薬学科	瀬尾　誠	講師	セルフメディケーション（１）	G03AHS1720	金	1時限	40
薬学部	薬学科	髙山　健人	助教	薬になる動植鉱物	PP6CHE2351	火	2時限	134
薬学部	薬学科	田中　哲郎	教授	テーラーメイド薬物治療	PP6CLP4780	他	その他	19
薬学部	薬学科	田淵　紀彦	准教授	免疫のしくみ	PP6BIO3200	金	2時限	143
薬学部	薬学科	田淵　紀彦	准教授	病原微生物と感染症	PP6BIO3150	火	2時限	143
薬学部	薬学科	田村　豊	教授	人体の成り立ちと機能ⅠＡ	PP5MBS1420	木	1時限	135
薬学部	薬学科	田村　豊	教授	薬の効くメカニズム	PP6CLP2100	水	1時限	139
薬学部	薬学科	町支　臣成	教授	基礎有機化学Ⅰ	PP6CHE1100	火	2時限	133
薬学部	薬学科	町支　臣成	教授	ターゲット分子の合成	PP6CHE3102	木	4時限	153
薬学部	薬学科	堤　広之	講師	情報処理基礎	G02INL110x	金	5時限	43
薬学部	薬学科	堤　広之	講師	物質の基本概念	G03NAS1600	水	1時限	127
薬学部	薬学科	鶴田　泰人	教授	薬局方収載の試験法	PP6PHY3151	水	1時限	141
薬学部	薬学科	鶴田　泰人	教授	機器分析学	PP6PHY2200	木	1時限	133
薬学部	薬学科	冨田　久夫	教授	化学反応速度	PP6PHY3100	木	3時限	147
薬学部	薬学科	冨田　久夫	教授	物質の状態	PP6PHY2100	金	1時限	135
薬学部	薬学科	長崎　信浩	教授	生命倫理	PP5MBS3101	金	4,5時限	145
薬学部	薬学科	長崎　信浩	教授	悪性腫瘍の薬・病態・治療	PP6CLP4180	火	1時限	132
薬学部	薬学科	中村　徹也	助教	実習Ⅴ	PP6PET3300	月/火	3,4,5時限/3,4,5時限	133
薬学部	薬学科	西山　卓志	助教	情報処理基礎	G02INL110w	金	4時限	42
薬学部	薬学科	西山　卓志	助教	医薬品の化学構造と性質	PP6CHE4100	水	2時限	129
薬学部	薬学科	秦　季之	教授	物質の構造と相互作用	PP6PHY2150	火	1時限	131
薬学部	薬学科	秦　季之	教授	化学反応速度	PP6PHY3100	木	3時限	147
薬学部	薬学科	稗田　雄三	助教	実感する化学	G03NAS1550	木	3時限	54
薬学部	薬学科	広瀬　雅一	講師	生命倫理	PP5MBS3101	金	4,5時限	145
薬学部	薬学科	広瀬　雅一	講師	ファーマシューテイカルケア総合演習	PP6PET6300	他	その他	140
薬学部	薬学科	藤岡　晴人	教授	有機化学Ⅰ	PP6CHE2100	月	1時限	130
薬学部	薬学科	藤岡　晴人	教授	ターゲット分子の合成	PP6CHE3102	木	4時限	153
薬学部	薬学科	前原　昭次	講師	薬物の宝庫としての天然物	PP6CHE3151	金	1時限	144
薬学部	薬学科	前原　昭次	講師	物質の基本概念	G03NAS1600	水	1時限	127
薬学部	薬学科	松岡　浩史	講師	バイオ・細胞医薬品	PP6CLP4340	金	2時限	47
薬学部	薬学科	松岡　浩史	講師	ゲノム情報と創薬	PP6BIO2150	月	2時限	144
薬学部	薬学科	松田　幸久	講師	統計解析と臨床研究	PP6CLP4220	火	2時限	133
薬学部	薬学科	道原　明宏	教授	バイオ・細胞医薬品	PP6CLP4340	金	2時限	47
薬学部	薬学科	道原　明宏	教授	ゲノム情報と創薬	PP6BIO2150	月	2時限	144
薬学部	薬学科	本屋敷　敏雄	准教授	生体エネルギー代謝	PP6BIO2100	木	2時限	142
薬学部	薬学科	本屋敷　敏雄	准教授	生体調節分子	PP6BIO3100	月	2時限	133

薬学部	薬学科	森田　哲生	教授	生体調節分子	PP6BIO3100	月	2時限	133
薬学部	薬学科	森田　哲生	教授	CAQ1（代謝系・呼吸器系疾患の薬・病態・治療）	ZZCAQ1	その他	その他	6
薬学部	薬学科	山下　純	准教授	社会・集団と健康	PP6HLS4151	木	1時限	136
薬学部	薬学科	渡邊　正知	准教授	生体機能の調節Ⅱ	PP6CLP2140	金	3時限	141
薬学部	薬学科	渡邊　正知	准教授	中枢神経系疾患の薬・病態・治療Ⅱ	PP6CLP4140	水	1時限	145
薬学部	薬学科	吉富　博則	客員教授	薬物動態の解析Ⅱ	PP6CLP4460	他	その他	8
大学教育センター	大学教育センター	上村　崇	併任教授	人権論	QC7TTC2300	他	その他	80
大学教育センター	大学教育センター	上村　崇	併任教授	倫理学（1）	G03THC1300	火	4時限	25
大学教育センター	大学教育センター	大塚　豊	教授	教育課程論	QC7TTC2100	木	5時限	78
大学教育センター	大学教育センター	大塚　豊	教授	特別活動の指導法	QC7TTC2450	木	5時限	77
大学教育センター	大学教育センター	柴原　直樹	非常勤講師	博物館経営論	QC7CUC3200	水/他	4時限/その他	34
大学教育センター	大学教育センター	柴原　直樹	非常勤講師	日本史（1）	G03HIC1103	金	3時限	191
大学教育センター	大学教育センター	竹盛　浩二	准教授	日本語表現法	G02JNE110n	金	3時限	37
大学教育センター	大学教育センター	竹盛　浩二	准教授	日本語表現法	G02JNE110p	金	4時限	43
大学教育センター	大学教育センター	西村　正登	非常勤講師	教育原理	QC7TTC1100	金	5時限	108
大学教育センター	大学教育センター	崔　眞英	非常勤講師	韓国語（Ⅰ）	G02KOR1109	木	2時限	34
大学教育センター	大学教育センター	小野　太幹	准教授	数理科学	G03NAS1102	火	4時限	18
大学教育センター	大学教育センター	小野　太幹	准教授	数理科学	G03NAS1101	火	3時限	59
大学教育センター	大学教育センター	地主　弘幸	教授	物理の世界	G03NAS1251	水	3時限	67
大学教育センター	大学教育センター	地主　弘幸	教授	物理の世界	G03NAS1252	木	3時限	25
大学教育センター	大学教育センター	Tang　Warren	助教	英語Ⅰ	G02ENG110j	木	2時限	42
大学教育センター	大学教育センター	Tang　Warren	助教	英語Ⅰ	G02ENG110t	金	4時限	46
大学教育センター	大学教育センター	津田　将行	講師	キャリアデザインⅡ	G04CAE2102	金	5時限	25
大学教育センター	大学教育センター	津田　将行	講師	キャリアデザインⅠ	G04CAE1103	木	5時限	178
大学教育センター	大学教育センター	中尾　佳行	教授	英語Ⅰ	G02ENG110b	火	4時限	40
大学教育センター	大学教育センター	中尾　佳行	教授	英語Ⅲ	G02ENG210k	火	3時限	42
大学教育センター	大学教育センター	前田　吉広	講師	キャリアデザインⅠ	G04CAE1102	月	5時限	166
大学教育センター	大学教育センター	前田　吉広	講師	インターネット・リテラシ入門	G03NAS1850	水	2時限	66
大学教育センター	大学教育センター	劉　国彬	准教授	中国語（Ⅰ）	G02CHI110b	火	4時限	55
大学教育センター	大学教育センター	劉　国彬	准教授	中国語（Ⅰ）	G02CHI110e	木	2時限	49
大学教育センター	大学教育センター	Lowes　Jason	講師	英語Ⅲ	G02ENG210q	金	2時限	29
大学教育センター	大学教育センター	Lowes　Jason	講師	英語Ⅲ	G02ENG210e	火	2時限	29
大学教育センター	大学教育センター	若松　正晃	講師	英語Ⅰ	G02ENG110m	木	2時限	20
大学教育センター	大学教育センター	若松　正晃	講師	英語Ⅲ	G02ENG210t	金	2時限	34
大学教育センター	大学教育センター	Huntsman　Benjamin,Miller	非常勤講師	英語Ⅲ	G02ENG210o	火	3時限	44
大学教育センター	大学教育センター	Huntsman　Benjamin,Miller	非常勤講師	英語Ⅰ	G02ENG110a	火	4時限	38
大学教育センター	大学教育センター	Louis　Ajazi Browne	非常勤講師	英語Ⅲ	G02ENG210y	金	3時限	34
大学教育センター	大学教育センター	Louis　Ajazi Browne	非常勤講師	英語Ⅰ	G02ENG110w	金	4時限	46
大学教育センター	大学教育センター	Maillard　de La Morandais,Gurvan	非常勤講師	フランス語（Ⅰ）	G02FRE1101	火	3時限	44
大学教育センター	大学教育センター	Maillard　de La Morandais,Gurvan	非常勤講師	フランス語（Ⅰ）	G02FRE1103	火	4時限	52
大学教育センター	大学教育センター	Willems　Grant	非常勤講師	英語Ⅲ	G02ENG210w	金	3時限	37
大学教育センター	大学教育センター	Willems　Grant	非常勤講師	英語Ⅰ	G02ENG110v	金	4時限	45
大学教育センター	大学教育センター	赤松　頌也	非常勤講師	フランス語（Ⅰ）	G02FRE1102	木	2時限	36
大学教育センター	大学教育センター	赤松　頌也	非常勤講師	フランス語（Ⅰ）	G02FRE1104	木	3時限	41
大学教育センター	大学教育センター	新井　純美	非常勤講師	英語Ⅰ	G02ENG110c	火	4時限	43
大学教育センター	大学教育センター	新井　純美	非常勤講師	英語Ⅲ	G02ENG210l	火	3時限	37
大学教育センター	大学教育センター	崔　嵋汀	非常勤講師	韓国語（Ⅰ）	G02KOR1103	火	4時限	57
大学教育センター	大学教育センター	崔　嵋汀	非常勤講師	韓国語（Ⅰ）	G02KOR1107	木	3時限	54
大学教育センター	大学教育センター	齋藤　拓海	非常勤講師	日本史（1）	G03HIC1102	水	3時限	95
大学教育センター	大学教育センター	齋藤　拓海	非常勤講師	日本史（1）	G03HIC1101	水	2時限	46
大学教育センター	大学教育センター	周　躍	非常勤講師	英語Ⅰ	G02ENG110h	木	2時限	40
大学教育センター	大学教育センター	周　躍	非常勤講師	英語Ⅲ	G02ENG210p	火	3時限	42
大学教育センター	大学教育センター	滕　艷	非常勤講師	中国語（Ⅰ）	G02CHI110k	火	4時限	18
大学教育センター	大学教育センター	滕　艷	非常勤講師	中国語（Ⅰ）	G02CHI110j	火	3時限	11
大学教育センター	大学教育センター	神野　靖子	非常勤講師	音楽	G03AHS1241	火	2時限	24
大学教育センター	大学教育センター	末葭　敏久	非常勤講師	中国語（Ⅰ）	G02CHI110d	火	4時限	38
大学教育センター	大学教育センター	末葭　敏久	非常勤講師	中国文化入門	HA5BDS1250	木	3時限	23
大学教育センター	大学教育センター	菅波　眞吾	非常勤講師	剣道（1）	G03AHS1361	金	2時限	17
大学教育センター	大学教育センター	鈴木　ヘザー	非常勤講師	英語Ⅰ	G02ENG110i	木	2時限	39
大学教育センター	大学教育センター	鈴木　ヘザー	非常勤講師	英語Ⅰ	G02ENG110s	金	4時限	37

大学教育センター	大学教育センター	操　智	非常勤講師	中国語（Ⅰ）	G02CHI110i	木	2時限	18
大学教育センター	大学教育センター	外林　省二	非常勤講師	書道	G03AHS1121	火	3時限	28
大学教育センター	大学教育センター	外林　省二	非常勤講師	書道	G03AHS1123	火	4時限	6
大学教育センター	大学教育センター	高垣　裕子	非常勤講師	英語Ⅲ	G02ENG210g	火	2時限	39
大学教育センター	大学教育センター	田中　宏和	併任教授	憲法	G03SSL1151	金	1時限	61
大学教育センター	大学教育センター	田中　宏和	併任教授	市民生活と法	G03SSL1101	金	2時限	43
大学教育センター	大学教育センター	谷川　充美	非常勤講師	日本語表現法	G02JNE110d	月	3時限	23
大学教育センター	大学教育センター	谷川　充美	非常勤講師	日本語表現法１	G02JNE1151	月	4時限	35
大学教育センター	大学教育センター	張　治清	非常勤講師	中国語（Ⅰ）	G02CHI110g	木	2時限	45
大学教育センター	大学教育センター	張　治清	非常勤講師	中国語（Ⅰ）	G02CHI110h	木	3時限	11
大学教育センター	大学教育センター	帖佐　幸樹	非常勤講師	日本語表現法	G02JNE110e	月	3時限	22
大学教育センター	大学教育センター	帖佐　幸樹	非常勤講師	日本語表現法	G02JNE110h	月	4時限	25
大学教育センター	大学教育センター	中川　篤	非常勤講師	英語Ⅲ	G02ENG210i	火	2時限	53
大学教育センター	大学教育センター	中川　篤	非常勤講師	英語Ⅲ	G02ENG210m	火	3時限	42
大学教育センター	大学教育センター	中越　信和	客員教授	自然と人間	G03NAS1453	木	2時限	85
大学教育センター	大学教育センター	西野　友一朗	非常勤講師	英語Ⅲ	G02ENG210b	木	4時限	44
大学教育センター	大学教育センター	西野　友一朗	非常勤講師	英語Ⅰ	G02ENG110l	木	2時限	43
大学教育センター	大学教育センター	橋野　仁史	非常勤講師	絵画	G03AHS1161	金	2時限	21
大学教育センター	大学教育センター	平田　仁胤	非常勤講師	哲学（１）	G03THC1100	木	1時限	79
大学教育センター	大学教育センター	平山　直樹	非常勤講師	英語Ⅲ	G02ENG210x	金	3時限	33
大学教育センター	大学教育センター	藤井　晶子	非常勤講師	日本語表現法	G02JNE110c	月	2時限	66
大学教育センター	大学教育センター	藤井　晶子	非常勤講師	日本語表現法	G02JNE110g	月	4時限	27
大学教育センター	大学教育センター	藤本　明成	非常勤講師	陶芸	G03AHS120g	木	4時限	30
大学教育センター	大学教育センター	藤本　明成	非常勤講師	陶芸	G03AHS120a	水	3時限	30
大学教育センター	大学教育センター	前村　晃子	非常勤講師	ドイツ語（Ⅰ）	G02GER1102	木	3時限	29
大学教育センター	大学教育センター	前村　晃子	非常勤講師	ドイツ語（Ⅰ）	G02GER1101	木	2時限	55
大学教育センター	大学教育センター	溝淵　裕	非常勤講師	憲法	G03SSL1152	金	1時限	60
大学教育センター	大学教育センター	宮岡　弥生	非常勤講師	日本語表現法	G02JNE110m	金	4時限	17
大学教育センター	大学教育センター	宮岡　弥生	非常勤講師	日本語表現法	G02JNE110k	金	3時限	51
大学教育センター	大学教育センター	宮田　朋恵	非常勤講師	日本語表現法	G02JNE110f	月	4時限	67
大学教育センター	大学教育センター	宮田　朋恵	非常勤講師	日本語表現法	G02JNE110b	月	2時限	69
大学教育センター	大学教育センター	森岡　悦子	非常勤講師	英語Ⅰ	G02ENG110k	木	2時限	43
大学教育センター	大学教育センター	森岡　悦子	非常勤講師	英語Ⅰ	G02ENG110u	金	4時限	47
大学教育センター	大学教育センター	山本　賢太郎	非常勤講師	囲碁から学ぶ人間学（１）	G03AHS1800	火	4時限	36
国際センター	国際センター	趙　建紅	准教授	日本語（３）（留学生用科目）	G02JNI1200	水	3時限	15
国際センター	国際センター	趙　建紅	准教授	日本語（１）（留学生用科目）	G02JNI1100	火	3時限	16
共同利用センター	共同利用センター	瀬島　紀夫	講師	情報処理基礎	G02INL110g	木	4時限	41
共同利用センター	共同利用センター	瀬島　紀夫	講師	情報処理基礎	G02INL110e	火	3時限	43
共同利用センター	共同利用センター	鶴崎　健一	教授	自然と人間	G03NAS1452	火	2時限	175
共同利用センター	共同利用センター	鶴崎　健一	教授	暮らしとバイオ	G03NAS1351	水	2時限	121
共同利用センター	共同利用センター	鶴崎　健一	教授	自然と人間	G03NAS1451	火	1時限	72
IR室	IR室	片桐　重和	助教	情報処理基礎	G02INL110u	月	2時限	51

8. 平成 30 年度（後期）授業評価アンケート実施科目一覧

学部	学科	教員名	職名	授業科目名	講義番号	曜日	時限	受講者数
経済学部	経済学科	石丸　敬二	准教授	情報処理技法	E05MBS1303	水	3時限	53
経済学部	経済学科	石丸　敬二	准教授	情報処理技法	E05MBS1302	水	2時限	42
経済学部	経済学科	北浦　孝	教授	保健体育科教育法Ⅲ	QC7TTC3750	水	2時限	10
経済学部	経済学科	北浦　孝	教授	保健体育科教育法Ⅳ	QC7TTC3780	月	2時限	14
経済学部	経済学科	高阪　勇毅	講師	金融論	EE6GME2402	水	3時限	180
経済学部	経済学科	高阪　勇毅	講師	金融論特講	EE6GME3801	木	4時限	32
経済学部	経済学科	高羅　ひとみ	講師	財政学	EE6GME2201	水	2時限	117
経済学部	経済学科	高羅　ひとみ	講師	ミクロ経済学	E05MBS1103	火/木	2時限	59
経済学部	経済学科	中村　和裕	助教	現代スポーツ論Ⅱ	EE6SPM1151	火	4時限	109
経済学部	経済学科	中村　和裕	助教	生涯スポーツ論	EE6SPM2250	木	1時限	71
経済学部	経済学科	野田　光太郎	講師	経営入門	EE5MBS1150	金	1時限	173
経済学部	経済学科	早川　達二	教授	日本経済論（平成期）	EE6GME3251	火	1時限	169
経済学部	経済学科	早川　達二	教授	マクロ経済学	E05MBS1153	月/水	3時限/1時限	94
経済学部	経済学科	春名　章二	教授	産業組織論	EE6GME3641	水	2時限	103
経済学部	経済学科	春名　章二	教授	ミクロ経済学	E05MBS1104	火/金	4時限/3時限	109
経済学部	経済学科	平田　宏二	教授	現代社会と経済	G03SSL1300	水	1時限	244
経済学部	経済学科	平田　宏二	教授	地方財政論	EE6GME3561	金	3時限	113
経済学部	経済学科	藤本　倫史	講師	スポーツ経済学Ⅱ	EE6SPM2151	木	4時限	89
経済学部	経済学科	藤本　倫史	講師	スポーツＮＰＯ論	EE6SPM3301	木	1時限	68
経済学部	経済学科	三川　敦	教授	経済数学	E05MBS1454	木	3時限	32
経済学部	経済学科	吉田　卓史	准教授	コーチ学Ⅱ	EE6SPM2450	木	3時限	62
経済学部	経済学科	吉田　卓史	准教授	スポーツ理論Ⅱ	EE6SPM1202	火	3時限	109
経済学部	経済学科	李　森	教授	労働経済論Ⅱ	EE6GME3481	月	2時限	92
経済学部	経済学科	岡本　隼輔	非常勤講師	環境経済学	EE6GME3361	火	4時限	59
経済学部	経済学科	岡本　隼輔	非常勤講師	経済統計学Ⅱ	EE6GME2151	火	2時限	44
経済学部	経済学科	鳥谷部　茂	非常勤講師	市民生活と法	G03SSL1102	金	3時限	85
経済学部	経済学科	野村證券	非常勤講師	資本市場論	EE6GME2452	水	4時限	179
経済学部	経済学科	畑本　佳恵	非常勤講師	情報処理技法	E05MBS1305	木	4時限	70
経済学部	経済学科	畑本　佳恵	非常勤講師	情報処理技法	E05MBS1301	火	4時限	56
経済学部	国際経済学科	足立　浩一	教授	マーケティング論Ⅱ	EA6ABA2251	水	2時限	41
経済学部	国際経済学科	足立　浩一	教授	アジア・太平洋経済論	EI6IEC3501	水	3時限	34
経済学部	国際経済学科	尾田　温俊	教授	経済学（２）	G03SSL1450	月	1時限	70
経済学部	国際経済学科	尾田　温俊	教授	ＥＵ経済論Ⅱ	EE6IEC3302	水	2時限	46
経済学部	国際経済学科	中村　博	准教授	英語マスターⅡ	EI6IEC1352	月	2時限	24
経済学部	国際経済学科	中村　博	准教授	国際政治学	EI6IEC3801	月	3時限	44
経済学部	国際経済学科	鍋島　正次郎	准教授	中南米経済論	EI6IEC3551	火	3時限	38
経済学部	国際経済学科	萩野　覚	教授	英語で学ぶ国際経済Ⅱ	EI6IEC2751	火	4時限	29
経済学部	国際経済学科	萩野　覚	教授	マクロ経済学	E05MBS1154	月/火	4時限/2時限	75
経済学部	国際経済学科	Bisset　Ian　James	准教授	英語ゼミナールⅡ	EI6IEC1151	木	1時限	37
経済学部	国際経済学科	冨士　彰夫	教授	アメリカ経済論Ⅱ	EI6IEC2211	木	1時限	88
経済学部	国際経済学科	藤本　浩由	講師	国際機関論	EI6IEC3151	水	1時限	61
経済学部	国際経済学科	藤本　浩由	講師	国際貿易論	EI6IEC3251	木	1時限	47
経済学部	国際経済学科	劉　曙麗	講師	中国経済論Ⅱ	EE6IEC2352	木	3時限	106
経済学部	国際経済学科	平山　亮	客員教授	アジア直接投資論Ⅱ	EI6IEC3651	木	3時限	33
経済学部	国際経済学科	平山　亮	客員教授	アジアビジネス事情Ⅱ	EI6IEC3751	金	3時限	20
経済学部	国際経済学科	向井　洋	客員教授	金融から見える世界Ⅱ	EE6IEC2451	水	5時限	68
経済学部	税務会計学科	泉　潤慈	教授	税法概論Ⅱ	EA6ABA2791	月	3時限	51
経済学部	税務会計学科	泉　潤慈	教授	法人税法	EA6ABA3931	月	2時限	49
経済学部	税務会計学科	大上　麻海	助教	生産システム	EA6ABA2300	水	3時限	27
経済学部	税務会計学科	大上　麻海	助教	経営組織論Ⅱ	EA6ABA3301	木	3時限	36
経済学部	税務会計学科	大城　朝子	講師	経営学Ⅱ	EE6ACM2151	木	2時限	231
経済学部	税務会計学科	大城　朝子	講師	経営戦略論Ⅱ	EE6ACM3151	水	3時限	38
経済学部	税務会計学科	上迫　明	准教授	企業法Ⅱ	E06CMS2400	水	2時限	110
経済学部	税務会計学科	許　霽	教授	基礎簿記Ⅱ	E05MBS1253	金	2時限	172

経済学部	税務会計学科	許　霽	教授	国際会計論Ⅱ	EA6ABA3651	火	1時限	19
経済学部	税務会計学科	小林　正和	教授	プレゼンテーション	E06CMS2102	木	1時限	12
経済学部	税務会計学科	小林　正和	教授	販売管理論Ⅱ	EA6ABA2550	火	4時限	57
経済学部	税務会計学科	関下　弘樹	講師	基礎簿記Ⅱ	E05MBS1251	月	2時限	144
経済学部	税務会計学科	関下　弘樹	講師	会計学総論Ⅱ	EA6ABA1151	木	1時限	60
経済学部	税務会計学科	張　楓	准教授	地域調査Ⅰ	EA6ABA1201	月	4時限/5時限	30
経済学部	税務会計学科	張　楓	准教授	備後経済論Ⅱ	EA6ABA2912	木	4時限	93
経済学部	税務会計学科	荒木　純子	非常勤講師	基礎簿記Ⅰ	E05MBS1205	月	4時限	29
経済学部	税務会計学科	池下　泰宏	非常勤講師	税務会計Ⅱ	EA6ABA3751	金	2時限	24
人間文化学部	人間文化学科	青木　美保	教授	日本近現代文学研究２	HA6LIT2190	火	3時限	18
人間文化学部	人間文化学科	青木　美保	教授	日本語表現法２	HA5BDS1100	火	2時限	57
人間文化学部	人間文化学科	市瀬　信子	併任教授	中国近世文化研究２	HA6LIT3280	金	4時限	7
人間文化学部	人間文化学科	小原　友行	教授	人文地理（２）	G03HIC1350	水	2時限	109
人間文化学部	人間文化学科	小原　友行	教授	地誌	G03HIC1400	火	3時限	176
人間文化学部	人間文化学科	重迫　隆司	教授	アメリカ文化入門	H05MBS1230	金	4時限	81
人間文化学部	人間文化学科	重迫　隆司	教授	日英比較文化２	HA6ETH2430	水	3時限	38
人間文化学部	人間文化学科	原　千史	教授	ドイツ語表現法２	HA6ETH2250	水	2時限	17
人間文化学部	人間文化学科	原　千史	教授	ドイツ語（Ⅱ）	G02GER1153	火	4時限	44
人間文化学部	人間文化学科	古川　瓔子	講師	法学概論（２）	G03SSL1250	金	3時限	71
人間文化学部	人間文化学科	古川　瓔子	講師	民法Ⅱ	E06CMS2300	火	2時限	134
人間文化学部	人間文化学科	村上　亮	講師	世界史（２）	G03HIC1250	水	1時限	103
人間文化学部	人間文化学科	村上　亮	講師	ヨーロッパの歴史と文化２	HA6HIC2250	木	3時限	59
人間文化学部	人間文化学科	柳川　真由美	講師	日本史（２）	G03HIC1155	月	5時限	73
人間文化学部	人間文化学科	柳川　真由美	講師	日本近世の政治と文化２	HA6HIC3250	水	2時限	14
人間文化学部	人間文化学科	脇　忠幸	准教授	文化リテラシー入門	HA6RPE1102	水	2時限	22
人間文化学部	人間文化学科	脇　忠幸	准教授	日本語学概論２	HA6ETH2130	火	4時限	36
人間文化学部	人間文化学科	新本　万里子	非常勤講師	文化人類学	H05MBS1130	木	4時限	70
人間文化学部	人間文化学科	新本　万里子	非常勤講師	日本民俗論	G03HIC1700	木	5時限	35
人間文化学部	人間文化学科	佐藤　昭嗣	非常勤講師	日本古代の社会と文化２	HA6HIC3190	木	1時限	26
人間文化学部	人間文化学科	佐藤　和博	非常勤講師	文化企画実習Ⅰ	HA6RPE1130	水	4時限	57
人間文化学部	人間文化学科	田野　慎二	非常勤講師	日本王朝文学研究２	HA6LIT2130	木	1時限	24
人間文化学部	人間文化学科	津口　在五	非常勤講師	ヨーロッパ美術史２	HA6HIC2310	火	3時限	32
人間文化学部	人間文化学科	白　雨田	非常勤講師	東アジアの歴史と文化２	HA6HIC2190	金	4時限	49
人間文化学部	人間文化学科	白　雨田	非常勤講師	中国語表現法２	HA6ETH2190	金	3時限	24
人間文化学部	人間文化学科	藤川　功和	非常勤講師	日本の中世文学２	HA6LIT3440	火	1時限	8
人間文化学部	人間文化学科	山崎　桂子	非常勤講師	日本文化入門	H05MBS1190	金	3時限	87
人間文化学部	人間文化学科	山崎　桂子	非常勤講師	日本文学史２	HA6LIT2430	金	2時限	12
人間文化学部	心理学科	青野　篤子	教授	ジェンダーの心理学	G03THC1400	金	3時限	82
人間文化学部	心理学科	赤澤　淳子	教授	発達心理学	QC7TTC1502	火	2時限	71
人間文化学部	心理学科	金平　希	助教	地域とボランティア	H05BFS1301	月	2時限	88
人間文化学部	心理学科	日下部　典子	教授	カウンセリング論	HP6MAS2400	金	2時限	64
人間文化学部	心理学科	谷口　敏淳	准教授	応用行動分析学	HP6MAS3700	火	1時限	60
人間文化学部	心理学科	野寺　綾	准教授	心理学研究法	HP5BDS1250	水	2時限	75
人間文化学部	心理学科	野寺　綾	准教授	教育心理学概論	HP6MAS3850	火	2時限	55
人間文化学部	心理学科	平　伸二	教授	犯罪心理学	HP6MAS2750	月	2時限	62
人間文化学部	心理学科	宮﨑　由樹	講師	産業心理学	HP6MAS3950	水	2時限	52
人間文化学部	心理学科	宮﨑　由樹	講師	心理学統計法２	HP5BDS1200	月	1時限	116
人間文化学部	心理学科	山崎　理央	准教授	パーソナリティと適応	H05MBS1450	水	1時限	6
人間文化学部	心理学科	三宅　幹子	非常勤講師	生徒指導	QC7TTC2350	他	その他	124
人間文化学部	メディア・映像学科	田中　始男	教授	メディア実践（調査）	HM6EPR2400	火	5時限	54
人間文化学部	メディア・映像学科	内垣戸　貴之	准教授	ｅラーニング論	HM6FUR2300	火	4時限	32
人間文化学部	メディア・映像学科	内垣戸　貴之	准教授	映像文化入門	HM5BDS1250	木	1時限	41
人間文化学部	メディア・映像学科	阿部　純	講師	情報社会とコミュニケーション	HM5BDS1200	火	3時限	31
人間文化学部	メディア・映像学科	阿部　純	講師	映像文化入門	HM5BDS1250	木	1時限	41
人間文化学部	メディア・映像学科	筒本　和広	教授	情報処理応用	H05BFS1352	木	4時限	63
人間文化学部	メディア・映像学科	筒本　和広	教授	情報処理応用	H05BFS1353	金	4時限	38
人間文化学部	メディア・映像学科	筒本　和広	教授	情報処理応用	H05BFS1351	月	2時限	58
人間文化学部	メディア・映像学科	中嶋　健明	教授	映画論	HM6FUR2200	木	1時限/2時限	32
人間文化学部	メディア・映像学科	中嶋　健明	教授	ＣＧ表現論	HM6RAR3200	火	1時限	13
人間文化学部	メディア・映像学科	渡辺　浩司	准教授	情報ネットワーク	TI6NET1100	月	3時限	97

人間文化学部	メディア・映像学科	渡辺　浩司	准教授	マルチメディア論	HM6FUR2250	火	1時限	58
人間文化学部	メディア・映像学科	村上　博郁	非常勤講師	地域メディア論	HM6RAR3250	水	4時限	10
工学部	スマートシステム学科	沖　俊任	准教授	メカトロニクス	TA6CSE3250	木	3時限	8
工学部	スマートシステム学科	沖　俊任	准教授	設計製図	TA6COM2450	月	1時限	20
工学部	スマートシステム学科	香川　直己	教授	組込みプログラミング	TA6EEC2300	木/他	3時限/その他	7
工学部	スマートシステム学科	香川　直己	教授	回路理論Ⅰ	TA6EEC1200	水	2時限	24
工学部	スマートシステム学科	伍賀　正典	准教授	プログラミング基礎	TA6COM2250	月	2時限	39
工学部	スマートシステム学科	菅原　聡	准教授	電気磁気学Ⅰ	TA6EEC1150	木	3時限	33
工学部	スマートシステム学科	菅原　聡	准教授	アナログシステム	TA6EEC2450	金	1時限	23
工学部	スマートシステム学科	関田　隆一	准教授	安全工学	TI6SSE3300	火	2時限	34
工学部	スマートシステム学科	関田　隆一	准教授	プロジェクトマネジメント	TI6SSE2300	木	1時限	63
工学部	スマートシステム学科	田中　聡	准教授	電気通信事業法・電波法	TA6EEC3400	水	3時限	7
工学部	スマートシステム学科	田中　聡	准教授	無線工学	TA6EEC3350	木	1時限	6
工学部	スマートシステム学科	仲嶋　一	教授	半導体工学	TA6EEC2400	水	2時限	12
工学部	スマートシステム学科	三谷　康夫	教授	確率統計	TA6EEC2350	木	4時限	19
工学部	スマートシステム学科	三谷　康夫	教授	電子制御Ⅰ	TA6CSE2200	木	2時限	21
工学部	スマートシステム学科	宮内　克之	教授	地域防災応用	G03RST1300	水	4時限	177
工学部	建築学科	伊澤　康一	講師	建築設備	TK6COM3450	金	1時限	66
工学部	建築学科	伊澤　康一	講師	建築環境工学Ⅱ	TK6COM2700	金	2時限	67
工学部	建築学科	大島　秀明	教授	設計製図演習Ⅳ	TK6FUA2150	月	3時限/4時限	65
工学部	建築学科	大島　秀明	教授	建築計画Ⅱ	TK6ARC2150	火	4時限	75
工学部	建築学科	酒井　要	助教	建築デジタルデザインⅠ	TK5FUS1211	水	1時限	41
工学部	建築学科	酒井　要	助教	ＣＡＤ演習Ⅱ	TK6COM2200	金	3時限/4時限	72
工学部	建築学科	佐々木　伸子	准教授	造形基礎	TK5FUS1310	木	3時限/4時限	82
工学部	建築学科	佐々木　伸子	准教授	建築インテリア仕上げ材料	TK6LED2300	月	2時限	64
工学部	建築学科	佐藤　圭一	教授	西洋建築史	TK6COM2551	木	1時限	32
工学部	建築学科	佐藤　圭一	教授	計画技術Ａ	TK6QEC3250	木	2時限	57
工学部	建築学科	田辺　和康	教授	環境工学	TI6SSE2250	水	1時限	114
工学部	建築学科	田辺　和康	教授	建築地盤工学	TK6COM2800	木	4時限	67
工学部	建築学科	都祭　弘幸	教授	不静定力学	TK6ARC2100	木	2時限	69
工学部	建築学科	都祭　弘幸	教授	構造技術	TK6QEC3450	木	3時限	58
工学部	建築学科	藤原　美樹	准教授	ユニバーサルデザイン論	TK6LED3350	火	1時限	37
工学部	建築学科	藤原　美樹	准教授	福祉住環境	TK6QEC1101	月	3時限	82
工学部	建築学科	宮地　功	教授	景観デザイン	TK6COM2400	火	3時限	73
工学部	建築学科	宮地　功	教授	建築デザイン論	TK6ARD3450	水	2時限	60
工学部	建築学科	山田　明	准教授	建築一般構造	TK6FUA1400	金	2時限	92
工学部	建築学科	山田　明	准教授	静定力学Ⅰ	TK6FUA1350	木	1時限	108
工学部	建築学科	後藤　亜貴	非常勤講師	生活デザイン演習Ⅲ	TK6LED3100	水	3時限/4時限	14
工学部	情報工学科	池岡　宏	講師	画像処理	TI6APP2100	木	2時限	41
工学部	情報工学科	池岡　宏	講師	プログラミング入門	TI6SOF1100	水	2時限	52
工学部	情報工学科	占部　逸正	教授	応用数学	TI5FUS2150	月	2時限	13
工学部	情報工学科	占部　逸正	教授	ヒューマンコンピュータインタラクション	T06SSE2150	金	2時限	36
工学部	情報工学科	尾関　孝史	教授	オペレーティングシステム	TI6SOF2200	月	3時限	41
工学部	情報工学科	尾関　孝史	教授	情報工学応用演習Ⅰ	TI6EXE2200	木	4時限	36
工学部	情報工学科	金子　邦彦	教授	データベースシステム	TI6SOF2250	金	3時限	40
工学部	情報工学科	金子　邦彦	教授	情報工学演習Ⅰ	TI6EXE2250	金	4時限	40
工学部	情報工学科	新谷　敏朗	准教授	オートマトンとコンパイラ	TI6SOF3200	月	3時限	8
工学部	情報工学科	新谷　敏朗	准教授	情報化社会と職業	TI6COM3150	水	3時限	31
工学部	情報工学科	中道　上	准教授	ソフトウェア工学	TI6SOF2300	月	4時限	40
工学部	情報工学科	宮崎　光二	准教授	アプリデザイン演習	TI6APP3200	木	2時限	26
工学部	情報工学科	宮崎　光二	准教授	実用ネットワーク管理	TI6NET3150	水	2時限	35
工学部	情報工学科	森田　翔太	助教	コンピュータアーキテクチャ	TI6HAR1100	金	2時限	60
工学部	情報工学科	森田　翔太	助教	情報処理技術Ⅰ	TI6COM2100	木	3時限	48
工学部	情報工学科	山之上　卓	教授	情報理論	TI6COM3200	金	3時限	23
工学部	情報工学科	山之上　卓	教授	暗号とセキュリティ	TI6NET3200	月	4時限	28
工学部	機械システム工学科	内田　博志	教授	自動車構造Ⅱ	TG6AME1150	月	4時限	11
工学部	機械システム工学科	内田　博志	教授	カーエレクトロニクス	TG6AME3300	火	4時限	14
工学部	機械システム工学科	加藤　昌彦	教授	機械力学	TG6MSA2550	月	4時限	43
工学部	機械システム工学科	加藤　昌彦	教授	強度設計学	TG6MSA2600	月	2時限	52
工学部	機械システム工学科	木村　純壮	教授	システム制御入門	TG6MSA2650	火	4時限	42

工学部	機械システム工学科	木村　純壮	教授	工業数学Ⅰ	TG5FUS1550	木	3時限	38
工学部	機械システム工学科	小林　正明	講師	交通マネジメント	TG6SSE2250	火	1時限	40
工学部	機械システム工学科	小林　正明	講師	電気工学概論	TG6MSA3350	月	3時限	38
工学部	機械システム工学科	坂口　勝次	教授	メカニカルＣＡＥ	TG6MSB3200	木	4時限	20
工学部	機械システム工学科	坂口　勝次	教授	熱エネルギー工学	TG6MSA2750	月	3時限	45
工学部	機械システム工学科	関根　康史	准教授	物理学Ⅱ	TA5FUS1350	火	1時限	42
工学部	機械システム工学科	関根　康史	准教授	ターボデジタルデザイン	TG6MSB3300	火	4時限	24
工学部	機械システム工学科	中東　潤	准教授	機械材料学	TG6MSA1250	水	1時限	37
工学部	機械システム工学科	中東　潤	准教授	機械設計技術者試験対策講座	TG6MSA3400	水/金	3時限/4時限	26
工学部	機械システム工学科	真鍋　圭司	教授	数学Ⅱ	TG5FUS1151	金	2時限	29
工学部	機械システム工学科	真鍋　圭司	教授	機械数値工学	TG6MSB2200	木	2時限	33
工学部	機械システム工学科	靏﨑　展	客員教授	流体機械システム	TG6MSA2700	金	4時限	12
生命工学部	生物工学科	岩本　博行	教授	食品の消費と流通	LM6MFS3252	金	2時限	70
生命工学部	生物工学科	岩本　博行	教授	バイオ機器分析学	LB6BII2600	月	1時限	44
生命工学部	生物工学科	太田　雅也	教授	分析化学	LB5CHE1640	木	1時限	64
生命工学部	生物工学科	太田　雅也	教授	生物有機化学	LB5BCH1700	月/水	1時限	47
生命工学部	生物工学科	佐藤　淳	准教授	環境ゲノム学	LB6ABI3800	金	2時限	39
生命工学部	生物工学科	佐藤　淳	准教授	保全生物学	LB6BII2850	火	1時限	45
生命工学部	生物工学科	秦野　琢之	教授	バイオマス・資源リサイクル	LB6ABI2800	火	2時限	43
生命工学部	生物工学科	原口　博行	教授	植物分子育種学	LB6ABI3550	火/木	1時限/2時限	40
生命工学部	生物工学科	原口　博行	教授	植物機能利用学	LB6ABI3500	火/木	1時限/2時限	54
生命工学部	生物工学科	久冨　泰資	教授	環境微生物学	LB6ABI2200	水	1時限	40
生命工学部	生物工学科	久冨　泰資	教授	基礎微生物学	LB6BII1200	金	2時限	44
生命工学部	生物工学科	広岡　和丈	准教授	バイオ英語Ⅰ	LB5ELS3950	月	2時限	59
生命工学部	生物工学科	広岡　和丈	准教授	代謝制御学	LB5BCH3740	水	2時限	14
生命工学部	生物工学科	松崎　浩明	教授	細胞生物学	LB6BII1100	月/水	1時限	46
生命工学部	生物工学科	松崎　浩明	教授	遺伝子工学	LB6BII2150	金	2時限	49
生命工学部	生物工学科	山口　泰典	教授	発生生物学	LB6BII2440	月	2時限	41
生命工学部	生物工学科	山口　泰典	教授	医療とバイオ	LB6BII3400	水	1時限	33
生命工学部	生物工学科	山本　覚	教授	酵素利用工学	LB6ABI3700	金	1時限	52
生命工学部	生物工学科	山本　覚	教授	植物栽培技術	LB6ABI2500	木	1時限	41
生命工学部	生物工学科	吉﨑　隆之	講師	醗酵生産・醸造学	LB6ABI2300	水	2時限	54
生命工学部	生物工学科	吉﨑　隆之	講師	ワイン醸造学	LB6ABI3300	木	1時限	55
生命工学部	生物工学科	磯﨑　哲夫	非常勤講師	理科教育法	QC7TTC3810	火	3時限	12
生命工学部	生命栄養科学科	石井　香代子	教授	給食マネジメント実習Ⅰ	LN6FSM2150	他	その他	39
生命工学部	生命栄養科学科	石井　香代子	教授	給食マネジメントⅠ	LN6FSM2100	木	2時限	42
生命工学部	生命栄養科学科	井ノ内　直良	教授	基礎栄養学実験	LN6BAN1150	他	その他	25
生命工学部	生命栄養科学科	井ノ内　直良	教授	食品材料学	LN5FOH1150	月	2時限	26
生命工学部	生命栄養科学科	菊田　安至	教授	公衆衛生学	LN5LIS2300	金	1時限	43
生命工学部	生命栄養科学科	菊田　安至	教授	生化学Ⅱ	LN5BMD1150	木	1時限	37
生命工学部	生命栄養科学科	久保田　みどり	准教授	栄養カウンセリング論	LN6NUE3150	月	2時限	42
生命工学部	生命栄養科学科	久保田　みどり	准教授	食料経済学	LN6FPS3500	水	2時限	20
生命工学部	生命栄養科学科	近藤　寛子	助教	調理学実習Ⅰ	LN5FOH1250	他	その他	24
生命工学部	生命栄養科学科	近藤　寛子	助教	調理学	LN5FOH1200	火	2時限	29
生命工学部	生命栄養科学科	柴田　紗知	助教	環境・スポーツ栄養学	LN6APN2200	水	2時限	45
生命工学部	生命栄養科学科	田中　信一郎	教授	病態栄養学	LN6CLN2350	月	2時限	38
生命工学部	生命栄養科学科	田中　信一郎	教授	解剖生理学Ⅰ	LN5BMD1250	水	2時限	26
生命工学部	生命栄養科学科	中﨑　千尋	助教	公衆栄養学	LN6PHN2100	火	1時限	40
生命工学部	生命栄養科学科	西　彰子	准教授	栄養教育論Ⅰ	LN6NUE2300	水	1時限	42
生命工学部	生命栄養科学科	村上　泰子	准教授	臨床栄養学Ⅲ	LN6CLN3301	月	1時限	43
生命工学部	生命栄養科学科	村上　泰子	准教授	臨床栄養学Ⅰ	LN6CLN2400	金	2時限	43
生命工学部	生命栄養科学科	山本　英二	教授	食品の調製と評価	LN5FOH2100	月	1時限	39
生命工学部	生命栄養科学科	山本　英二	教授	化学Ⅱ	LM5CHE1152	水	1時限	55
生命工学部	生命栄養科学科	髙橋　知佐子	非常勤講師	公衆栄養学	LN6PHN2100	火	1時限	40
生命工学部	海洋生物科学科	有瀧　真人	教授	魚類の飼料と栄養	LM6RUD3202	月	2時限	90
生命工学部	海洋生物科学科	有瀧　真人	教授	栽培漁業と魚介類の養殖	LM6RUD4153	火	1時限	10
生命工学部	海洋生物科学科	河原　栄二郎	教授	魚介類の疾病と予防	LM6RUD3301	金	1時限	85
生命工学部	海洋生物科学科	河原　栄二郎	教授	魚病学概論	LM6MCS2550	金	2時限	108
生命工学部	海洋生物科学科	北口　博隆	准教授	海洋環境科学	LM6MCS2600	火	1時限	108
生命工学部	海洋生物科学科	北口　博隆	准教授	化学Ⅱ	LM5CHE1151	水	1時限	50

生命工学部	海洋生物科学科	倉掛　昌裕	教授	食品の安全管理	LM6MFS3302	木	2時限	86
生命工学部	海洋生物科学科	倉掛　昌裕	教授	食品機能科学	LN6FPS3351	火	2時限	70
生命工学部	海洋生物科学科	阪本　憲司	准教授	遺伝学	LM6MCS2100	木	2時限	125
生命工学部	海洋生物科学科	阪本　憲司	准教授	魚介類の育種	LM6RUD3352	火	1時限	88
生命工学部	海洋生物科学科	髙田　浩二	教授	博物館情報・メディア論	QC7CUC3350	月	4時限	29
生命工学部	海洋生物科学科	高村　克美	教授	海洋動物発生学	LM6MCS2150	火	2時限	115
生命工学部	海洋生物科学科	高村　克美	教授	海洋動物分類学	LM6MCS1200	月	2時限	117
生命工学部	海洋生物科学科	水上　雅晴	講師	水生生物の生態と環境	LM6AQS3352	水	1時限	87
生命工学部	海洋生物科学科	満谷　淳	教授	沿岸環境の保全と再生	LM6FIE3352	火	2時限	60
生命工学部	海洋生物科学科	満谷　淳	教授	海洋生態学	LM6MCS1150	木	1時限	118
生命工学部	海洋生物科学科	南　卓志	教授	水産資源の生態	LM6RUD3252	月	1時限	88
生命工学部	海洋生物科学科	南　卓志	教授	魚類の行動と生理	LM6MCS2500	水	1時限	110
生命工学部	海洋生物科学科	三輪　泰彦	教授	水産食品の科学	LM6MCS2650	月	2時限	111
生命工学部	海洋生物科学科	三輪　泰彦	教授	基礎分子生物学	LM5BIS2100	水	2時限	102
生命工学部	海洋生物科学科	山岸　幸正	准教授	生物多様性とその保全	LM6FIE3302	水	2時限	94
生命工学部	海洋生物科学科	山岸　幸正	准教授	海洋植物分類学	LM6MCS1250	金	2時限	110
生命工学部	海洋生物科学科	渡辺　伸一	准教授	海洋動物の行動と生態	LM6FIE3252	木	1時限	66
生命工学部	海洋生物科学科	渡辺　伸一	准教授	絶滅危惧種と環境保護	LM6FIE4203	木	2時限	8
薬学部	薬学科	赤﨑　健司	教授	生命体の基本単位としての細胞	PP6BIO1200	水	1時限	128
薬学部	薬学科	赤﨑　健司	教授	生活環境と健康	PP6HLS3200	木	2時限	133
薬学部	薬学科	石津　隆	教授	生体分子の構造と化学的性質	PP6CHE3200	木	1時限	144
薬学部	薬学科	石津　隆	教授	有機化学Ⅱ	PP6CHE2200	水	2時限	134
薬学部	薬学科	井上　敦子	教授	血液・造血器系疾患の薬・病態・治療	PP6CLP2260	木	3時限	141
薬学部	薬学科	井上　裕文	教授	応用分析科学	PP6PHY3200	木	3時限	138
薬学部	薬学科	大西　正俊	講師	血液・造血器系疾患の薬・病態・治療	PP6CLP2260	木	3時限	141
薬学部	薬学科	岡村　信幸	教授	漢方薬物治療	PP6CLP1140	水	2時限	130
薬学部	薬学科	上敷領　淳	准教授	薬学入門Ⅱ	PP5MBS1140	金/土	3,4,5時限/1,2時限	124
薬学部	薬学科	片山　博和	教授	製剤とＤＤＳ	PP6CLP3420	水	1時限	145
薬学部	薬学科	片山　博和	教授	製剤とＤＤＳ	PP6CLP3425	他	その他	3
薬学部	薬学科	片山　博和	教授	製剤とＤＤＳ	PP6CLP3420	水	1時限	144
薬学部	薬学科	金尾　義治	教授	薬物動態解析	PP6CLP3300	水	2時限	142
薬学部	薬学科	上敷領　淳	准教授	セルフメディケーション（２）	G03AHS1760	金	1時限	39
薬学部	薬学科	木平　孝高	講師	生体機能の調節Ⅰ	PP6BIO1150	火	2時限	127
薬学部	薬学科	小嶋　英二朗	教授	臨床検査	PP6CLP2300	金	2時限	132
薬学部	薬学科	小嶋　英二朗	教授	分析技術の臨床応用	PP6PHY2300	月	2時限	135
薬学部	薬学科	今　重之	教授	免疫と疾患	PP6BIO3250	金	1時限	133
薬学部	薬学科	坂根　洋	講師	生命体の基本単位としての細胞	PP6BIO1200	水	1時限	128
薬学部	薬学科	佐藤　英治	教授	調剤	PP6CLP3340	火	1時限	144
薬学部	薬学科	佐藤　英治	教授	薬剤師を取り巻く法規	PP6LAS3100	木	2時限	144
薬学部	薬学科	杉原　成美	教授	セルフメディケーション（２）	G03AHS1760	金	1時限	39
薬学部	薬学科	杉原　成美	教授	食品衛生	PP6HLS3151	火	2時限	146
薬学部	薬学科	瀬尾　誠	講師	食品衛生	PP6HLS3151	火	2時限	146
薬学部	薬学科	田淵　紀彦	准教授	病原体としての微生物	PP6BIO1250	火	1時限	129
薬学部	薬学科	田淵　紀彦	准教授	薬学入門Ⅱ	PP5MBS1140	金/土	3,4,5時限/1,2時限	124
薬学部	薬学科	田村　豊	教授	末梢神経系に作用する薬	PP6CLP2180	金	1時限	148
薬学部	薬学科	田村　豊	教授	代謝系・呼吸器系疾患の薬・病態・治療	PP6CLP3220	月	4時限	145
薬学部	薬学科	田中　哲郎	教授	製剤とＤＤＳ	PP6CLP3420	水	1時限	145
薬学部	薬学科	田中　哲郎	教授	薬物動態解析	PP6CLP3300	水	2時限	142
薬学部	薬学科	町支　臣成	教授	基礎有機化学Ⅱ	PP6CHE1150	月	1時限	133
薬学部	薬学科	町支　臣成	教授	生体分子の構造と化学的性質	PP6CHE3200	木	1時限	144
薬学部	薬学科	堤　広之	講師	薬剤師を取り巻く法規	PP6LAS3100	木	2時限	144
薬学部	薬学科	堤　広之	講師	化学の基礎	G03NAS1700	木	2時限	70
薬学部	薬学科	鶴田　泰人	教授	応用分析科学	PP6PHY3200	木	3時限	138
薬学部	薬学科	鶴田　泰人	教授	分析技術の臨床応用	PP6PHY2300	月	2時限	135
薬学部	薬学科	冨田　久夫	教授	製剤の性質	PP6CLP3380	月	3時限	144
薬学部	薬学科	長崎　信浩	教授	薬学入門Ⅱ	PP5MBS1140	金/土	3,4,5時限/1,2時限	124
薬学部	薬学科	長崎　信浩	教授	調剤	PP6CLP3340	火	1時限	144
薬学部	薬学科	秦　季之	教授	物質のエネルギー	PP6PHY1100	金	2時限	129
薬学部	薬学科	稗田　雄三	助教	化学の基礎	G03NAS1700	木	2時限	70
薬学部	薬学科	広瀬　雅一	講師	薬剤師を取り巻く法規	PP6LAS3100	木	2時限	144

薬学部	薬学科	広瀬　雅一	講師	地域薬局	PP6CLP4380	金	1時限	141
薬学部	薬学科	藤岡　晴人	教授	基礎有機化学Ⅱ	PP6CHE1150	月	1時限	133
薬学部	薬学科	藤岡　晴人	教授	有機化学Ⅱ	PP6CHE2200	水	2時限	134
薬学部	薬学科	前原　昭次	講師	天然物化学	PP6CHE2250	木	4時限	133
薬学部	薬学科	松岡　浩史	講師	生命情報を担う遺伝子	PP6BIO1300	月	2時限	133
薬学部	薬学科	道原　明宏	教授	生命情報を担う遺伝子	PP6BIO1300	月	2時限	133
薬学部	薬学科	本屋敷　敏雄	准教授	分析技術の臨床応用	PP6PHY2300	月	2時限	135
薬学部	薬学科	本屋敷　敏雄	准教授	物質の構造と放射線	PP6PHY2250	火	2時限	133
薬学部	薬学科	森田　哲生	教授	生命活動を担うアミノ酸・タンパク質代謝系	PP6BIO2200	月	1時限	136
薬学部	薬学科	森田　哲生	教授	生殖器系・内分泌系疾患の薬・病態・治療	PP6CLP2220	火	1時限	132
薬学部	薬学科	山下　純	准教授	患者の視点に立った行動	PP6CLP4420	他	その他	133
薬学部	薬学科	渡邊　正知	准教授	人体の成り立ちと機能Ⅱ	PP6BIO1100	木	1時限	130
薬学部	薬学科	渡邊　正知	准教授	中枢神経系疾患の薬・病態・治療Ⅰ	PP6CLP3260	金	2時限	146
大学教育センター	大学教育センター	大塚　豊	教授	教職実践演習	QC7TTC4301	火	5時限	37
大学教育センター	大学教育センター	大塚　豊	教授	教育制度論	QC7TTC1150	木	5時限	93
大学教育センター	大学教育センター	小野　太幹	准教授	基礎数学	G03NAS1151	火	3時限	38
大学教育センター	大学教育センター	小野　太幹	准教授	基礎数学	G03NAS1154	水	3時限	38
大学教育センター	大学教育センター	地主　弘幸	教授	物理学	LM5PHS1100	木	3時限	27
大学教育センター	大学教育センター	地主　弘幸	教授	物理現象の基礎	G03NAS1300	水	3時限	53
大学教育センター	大学教育センター	竹盛　浩二	准教授	教職実践演習	QC7TTC4301	火	5時限	37
大学教育センター	大学教育センター	Tang　Warren	助教	英語Ⅱ	G02ENG115j	木	2時限	42
大学教育センター	大学教育センター	Tang　Warren	助教	英語Ⅳ	G02ENG215c	月	3時限	32
大学教育センター	大学教育センター	津田　将行	講師	キャリアデザインⅡ	G04CAE2103	木	3時限	13
大学教育センター	大学教育センター	中尾　佳行	教授	英語Ⅳ	G02ENG215k	火	3時限	42
大学教育センター	大学教育センター	中尾　佳行	教授	英語Ⅱ	G02ENG115b	火	4時限	39
大学教育センター	大学教育センター	前田　吉広	講師	キャリアデザインⅠ	G04CAE1106	火	5時限	179
大学教育センター	大学教育センター	前田　吉広	講師	Ｗｅｂデザイン入門	G03NAS1900	水	2時限	69
大学教育センター	大学教育センター	劉　国彬	准教授	中国語（Ⅱ）	G02CHI115e	木	2時限	50
大学教育センター	大学教育センター	劉　国彬	准教授	中国語（Ⅱ）	G02CHI115b	火	4時限	49
大学教育センター	大学教育センター	Lowes　Jason	講師	英語Ⅱ	G02ENG115n	木	2時限	19
大学教育センター	大学教育センター	Lowes　Jason	講師	英語Ⅳ	G02ENG215j	火	3時限	26
大学教育センター	大学教育センター	若松　正晃	講師	英語Ⅱ	G02ENG115x	金	4時限	23
大学教育センター	大学教育センター	若松　正晃	講師	英語Ⅱ	G02ENG115m	木	2時限	20
大学教育センター	大学教育センター	赤松　頌也	非常勤講師	フランス語（Ⅱ）	G02FRE1152	木	2時限	34
大学教育センター	大学教育センター	赤松　頌也	非常勤講師	フランス語（Ⅱ）	G02FRE1154	木	3時限	30
大学教育センター	大学教育センター	新井　純美	非常勤講師	英語Ⅳ	G02ENG215l	火	3時限	32
大学教育センター	大学教育センター	新井　純美	非常勤講師	英語Ⅱ	G02ENG115c	火	4時限	43
大学教育センター	大学教育センター	上村　崇	併任教授	ヨーロッパ思想入門２	HA6ETH2580	火	3時限	16
大学教育センター	大学教育センター	上村　崇	併任教授	倫理学（２）	G03THC1350	火	4時限	23
大学教育センター	大学教育センター	宇野　昌樹	非常勤講師	エスニシティ論	G03HIC1600	水	4時限	21
大学教育センター	大学教育センター	宇野　昌樹	非常勤講師	イスラム文化	G03HIC1550	水	3時限	61
大学教育センター	大学教育センター	梅木　璃子	非常勤講師	英語Ⅳ	G02ENG215m	火	3時限	39
大学教育センター	大学教育センター	梅木　璃子	非常勤講師	英語Ⅱ	G02ENG115e	火	4時限	40
大学教育センター	大学教育センター	崔　眞英	非常勤講師	韓国語（Ⅱ）	G02KOR1159	木	2時限	34
大学教育センター	大学教育センター	崔　嵋汀	非常勤講師	韓国語（Ⅱ）	G02KOR1151	火	3時限	46
大学教育センター	大学教育センター	崔　嵋汀	非常勤講師	韓国語（Ⅱ）	G02KOR1155	木	2時限	41
大学教育センター	大学教育センター	菊池　達也	非常勤講師	日本史（２）	G03HIC1152	水	3時限	116
大学教育センター	大学教育センター	菊池　達也	非常勤講師	日本史（２）	G03HIC1151	水	2時限	38
大学教育センター	大学教育センター	木村　真弓	非常勤講師	ダンス	G03AHS1680	木	4時限	22
大学教育センター	大学教育センター	柴原　直樹	非常勤講師	日本史（２）	G03HIC1153	金	3時限	169
大学教育センター	大学教育センター	柴原　直樹	非常勤講師	日本史（２）	G03HIC1154	金	4時限	66
大学教育センター	大学教育センター	周　躍	非常勤講師	英語Ⅱ	G02ENG115h	木	2時限	40
大学教育センター	大学教育センター	周　躍	非常勤講師	英語Ⅱ	G02ENG115d	火	4時限	41
大学教育センター	大学教育センター	神野　靖子	非常勤講師	音楽	G03AHS1243	火	2時限	18
大学教育センター	大学教育センター	末葭　敏久	非常勤講師	中国語（Ⅱ）	G02CHI115c	火	3時限	14
大学教育センター	大学教育センター	末葭　敏久	非常勤講師	中国語（Ⅱ）	G02CHI115d	火	4時限	42
大学教育センター	大学教育センター	菅波　眞吾	非常勤講師	剣道（２）	G03AHS1401	金	2時限	6
大学教育センター	大学教育センター	鈴木　ヘザー	非常勤講師	英語Ⅱ	G02ENG115s	金	4時限	35
大学教育センター	大学教育センター	鈴木　ヘザー	非常勤講師	英語Ⅱ	G02ENG115i	木	2時限	39
大学教育センター	大学教育センター	操　智	非常勤講師	中国語（Ⅱ）	G02CHI115i	木	2時限	16

大学教育センター	大学教育センター	外林　省二	非常勤講師	書道	G03AHS1125	火	3時限	23
大学教育センター	大学教育センター	高垣　裕子	非常勤講師	英語Ⅳ	G02ENG215g	火	2時限	39
大学教育センター	大学教育センター	田中　宏和	併任教授	憲法	G03SSL1154	金	2時限	76
大学教育センター	大学教育センター	谷川　充美	非常勤講師	日本語表現法	G02JNE110s	月	4時限	28
大学教育センター	大学教育センター	谷川　充美	非常勤講師	日本語表現法	G02JNE110q	月	3時限	24
大学教育センター	大学教育センター	帖佐　幸樹	非常勤講師	日本語表現法	G02JNE110t	月	4時限	28
大学教育センター	大学教育センター	帖佐　幸樹	非常勤講師	日本語表現法	G02JNE110r	月	3時限	22
大学教育センター	大学教育センター	張　治清	非常勤講師	中国語（Ⅱ）	G02CHI115h	木	3時限	7
大学教育センター	大学教育センター	張　治清	非常勤講師	中国語（Ⅱ）	G02CHI115g	木	2時限	42
大学教育センター	大学教育センター	西野　友一朗	非常勤講師	英語Ⅱ	G02ENG115l	木	2時限	42
大学教育センター	大学教育センター	西野　友一朗	非常勤講師	英語Ⅳ	G02ENG215b	木	4時限	41
大学教育センター	大学教育センター	西村　正登	非常勤講師	教育方法論	QC7TTC2150	金	3時限	25
大学教育センター	大学教育センター	橋野　仁史	非常勤講師	絵画	G03AHS1161	金	2時限	21
大学教育センター	大学教育センター	Huntsman　Benjamin,Miller	非常勤講師	英語Ⅳ	G02ENG215f	火	2時限	39
大学教育センター	大学教育センター	Huntsman　Benjamin,Miller	非常勤講師	英語Ⅱ	G02ENG115a	火	4時限	38
大学教育センター	大学教育センター	滕　艷	非常勤講師	中国語（Ⅱ）	G02CHI115j	火	3時限	15
大学教育センター	大学教育センター	滕　艷	非常勤講師	中国語（Ⅱ）	G02CHI115k	火	4時限	23
大学教育センター	大学教育センター	平田　仁胤	非常勤講師	哲学（２）	G03THC1150	金	2時限	52
大学教育センター	大学教育センター	平山　直樹	非常勤講師	英語Ⅳ	G02ENG215x	金	3時限	29
大学教育センター	大学教育センター	藤井　晶子	非常勤講師	日本語表現法２	H05BDS1300	水	4時限	82
大学教育センター	大学教育センター	藤井　晶子	非常勤講師	日本語表現法	G02JNE110u	月	4時限	32
大学教育センター	大学教育センター	藤本　明成	非常勤講師	陶芸	G03AHS120i	水	3時限	30
大学教育センター	大学教育センター	藤本　明成	非常勤講師	陶芸	G03AHS120m	木	3時限	30
大学教育センター	大学教育センター	牧　貴愛	非常勤講師	教職概論	QC7TTC1200	水	4時限	87
大学教育センター	大学教育センター	牧　貴愛	非常勤講師	道徳教育の指導法	QC7TTC2400	水	5時限	47
大学教育センター	大学教育センター	Maillard　de La Morandais,Gurvan	非常勤講師	フランス語（Ⅱ）	G02FRE1153	火	4時限	42
大学教育センター	大学教育センター	Maillard　de La Morandais,Gurvan	非常勤講師	フランス語（Ⅱ）	G02FRE1151	火	3時限	28
大学教育センター	大学教育センター	前村　晃子	非常勤講師	ドイツ語（Ⅱ）	G02GER1152	木	3時限	30
大学教育センター	大学教育センター	前村　晃子	非常勤講師	ドイツ語（Ⅱ）	G02GER1151	木	2時限	50
大学教育センター	大学教育センター	溝淵　裕	非常勤講師	憲法	G03SSL1153	金	1時限	66
大学教育センター	大学教育センター	森岡　悦子	非常勤講師	英語Ⅱ	G02ENG115u	金	4時限	44
大学教育センター	大学教育センター	森岡　悦子	非常勤講師	英語Ⅱ	G02ENG115k	木	2時限	44
大学教育センター	大学教育センター	山本　賢太郎	非常勤講師	囲碁から学ぶ人間学（２）	G03AHS1840	火	4時限	11
大学教育センター	大学教育センター	吉崎　一	非常勤講師	社会学	G03SSL1350	金	5時限	60
大学教育センター	大学教育センター	Louis　Ajazi Browne	非常勤講師	英語Ⅱ	G02ENG115w	金	4時限	45
大学教育センター	大学教育センター	Louis　Ajazi Browne	非常勤講師	英語Ⅳ	G02ENG215y	金	3時限	34
大学教育センター	大学教育センター	Willems　Grant	非常勤講師	英語Ⅱ	G02ENG115v	金	4時限	43
大学教育センター	大学教育センター	Willems　Grant	非常勤講師	英語Ⅳ	G02ENG215w	金	3時限	33
国際センター	国際センター	趙　建紅	准教授	日本語（４）（留学生用科目）	G02JNI1250	火	3時限	16
国際センター	国際センター	趙　建紅	准教授	日本語（５）（留学生用科目）	G02JNI1300	水	3時限	16
共同利用センター	共同利用センター	瀬島　紀夫	講師	情報処理応用	G02INL1151	火	3時限	19
共同利用センター	共同利用センター	瀬島　紀夫	講師	情報処理応用	G02INL1153	木	3時限	7
共同利用センター	共同利用センター	鶴崎　健一	教授	人体のしくみ	G03NAS1502	火	2時限	193
共同利用センター	共同利用センター	鶴崎　健一	教授	暮らしとバイオ	G03NAS1352	水	2時限	146
IR室	IR室	片桐　重和	助教	実用情報処理演習	TI6EXE1150	月	2時限	50
社会連携センター	社会連携センター	中村　雅樹	助教	暮らしと物つくり	G03NAS1200	木	5時限	257